

令和6年2月市議会定例会 環境経済委員会資料

第6号議案 令和6年度長崎市一般会計予算  
(文化観光部所管分)

目次	(資料頁)
[2款 総務費]	
2・1・22 世界遺産推進費	5～29
[7款 商工費]	
7・1・4 観光費	30～163
[10款 教育費]	
10・6・3 文化財保護費	164～215
10・6・4 出島復元費	216～219
[11款 災害復旧費]	
11・4・1 市有施設等災害復旧費	220～222

文化観光部  
令和6年2月

## 目 次

(予算説明書頁) (資料頁)

## [2款 総務費]

## 2・1・22 世界遺産推進費

## 1 世界遺産推進費

1 「明治日本の産業革命遺産」推進費・・・・・・・・・・ 136～137 5～9

## 2 【補助】世界遺産保存整備事業費

1 「明治日本の産業革命遺産」・・・・・・・・・・ 136～137 10～17

2 端島炭坑・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 136～137 18～24

## 3 【補助】世界遺産保存整備事業費補助金

1 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」・・・・ 138～139 25～29

## 目次

(予算説明書頁) (資料頁)

## [7款 商工費]

## 7・1・4 観光費

## 1 観光振興対策費

2 観光地域づくり推進費・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 232～233 30～69

3 MICE推進費・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 232～233 70～76

8 観光産業人材育成事業費・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 232～233 77～79

## 2 観光客誘致対策費

1 観光客誘致推進費・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 232～233 80～84

2 観光客受入環境整備費・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 232～233 85～89

3 インバウンド誘致広域連携事業費・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 232～233 90～98

## 3 夜景観光推進費

1 世界・日本新三大夜景推進費・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 232～233 99～108

## 4 イベント共催費負担金

1 長崎ランタンフェスティバル事業共催費負担金・・・・ 232～233 109～111

2 長崎帆船まつり事業共催費負担金・・・・・・・・・・・・ 232～233 112～114

## 6 観光施設管理運営費

3 出島運営費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 234～235 115～120

8 歴史民俗資料館運営費・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 234～235 121～132

## 8 【補助】観光施設整備事業費

1 出島・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 236～237 133～135

## 9 【単独】観光施設整備事業費

1 出島・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 236～237 136～139

2 べっ甲工芸館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 236～237 140～143

3 長崎歴史文化博物館・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 236～237 144～151

4 稲佐山山頂魅力向上整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 236～237 152～155

宿泊税の活用について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ - 156～163

目 次 (予算説明書頁) (資料頁)

[10款 教育費]

10・6・3 文化財保護費

1 文化財保護推進費

11 洋館活用手法等検討費 . . . . . 290～291 164～169

3 【補助】文化財保存整備事業費

1 国指定重要文化財旧長崎英国領事館 . . . . . 290～291 170～178

2 国指定重要文化財旧オルト住宅 . . . . . 290～291 179～186

4 【補助】文化財活用・防災整備事業費

1 国指定重要文化財旧長崎英国領事館 . . . . . 290～291 187～197

5 【補助】文化財保存整備事業費補助金

1 伝統的建造物群保存地区 . . . . . 290～291 198～204

6 【単独】文化財保存整備事業費

1 深堀貝塚資料館 . . . . . 290～291 205～207

7 【単独】文化財保存整備事業費補助金

1 各種文化財 . . . . . 290～291 208～215

10・6・4 出島復元費

1 出島復元推進費

2 建造物復元基本設計費 . . . . . 292～293 216～219

[11款 災害復旧費]

11・4・1 市有施設等災害復旧費

1 【単独】市有施設災害復旧費

2 過年度災害分 . . . . . 310～311 220～222

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
136～137	2 総務費	1 総務管理費	22 世界遺産 推進費	1-1	「明治日本の産業革命遺産」推進費	千円 37,925

## 1 事業概要

「明治日本の産業革命遺産」の構成資産を適切に保存管理するための調査、附属機関の会議を開催するとともに、世界遺産価値の理解促進を図るため関係自治体(8県11市※)と連携した周知啓発等を行う。

- (1) 端島モニタリング調査等 2,155千円
  - ・端島の島内のモニタリングカメラ(7台)のメンテナンス、アスベスト調査、遺構周辺の除草業務
- (2) 高島炭鉱整備活用委員会開催 3,589千円
  - ・委員10名による委員会を4回(東京3回、長崎1回)開催し、端島炭坑における保存整備に係る方針・工法検討等を協議
- (3) 周知啓発等 25,853千円
  - ・【新規】端島炭坑VR(仮想現実)コンテンツ制作 25,000千円
  - ・【新規】「世界遺産検定講座」開催 82千円
  - ・周知啓発用リーフレット(4種類、15,500部)印刷、発送 など
- (4) 世界遺産協議会負担金 2,112千円
  - ・協議会の事業費を関係自治体8県11市で按分した額を負担し、世界遺産委員会対応等を連携して実施

8県11市負担金合計 46,464千円  
 長崎市負担: 46,464千円 / 2(県と市で半分ずつ) / 11(全11市で按分) = 2,112千円
- (5) その他事務費 4,216千円
  - ・事務用消耗品費、船車券購入費 など

※ 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、山口県、岩手県、静岡県、北九州市、大牟田市、中間市、佐賀市、長崎市、荒尾市、宇城市、鹿児島市、萩市、釜石市、伊豆の国市

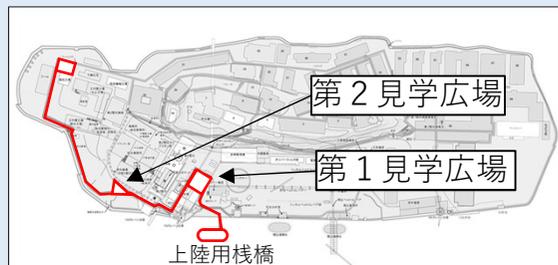
## 2 事業内容

### (1) 【新規】端島炭坑VR(仮想現実)コンテンツ制作 25,000千円

世界遺産価値の理解を促進するとともに市内に所在する他の世界遺産構成資産への訪問を促す目的で、端島見学施設やグラバー園内の世界遺産ビジターセンター等においてVRコンテンツを導入する

#### ア 炭坑操業当時の様相を体感するコンテンツ制作 16,000千円

炭坑の島として日本の近代化に貢献した長崎の炭坑が有する世界遺産価値の理解を促進するため、見学施設において、観光客がスマホやタブレットを使って、CGで再現した炭坑操業当時の石炭生産に関わる設備の風景を見ることができるコンテンツを制作する。



公開予定場所(端島炭坑)



#### イ 端島炭坑バーチャルツアーコンテンツ制作 9,000千円

世界遺産のビジターセンターであるグラバー園内の旧三菱第2ドックハウスにおいて、端島炭坑の島内全体を、グラバー園にいながらにして、コントローラーを使って自由に散策できる3Dモデルを制作する。



公開予定場所  
(グラバー園 旧第2ドックハウス)



## 2 事業内容(つづき)

### (2) 【新規】「世界遺産検定講座」開催 82千円

世界遺産の観光ガイドのスキルアップと新たな担い手の育成のため、「明治日本の産業革命遺産」の構成資産を有している自治体と連携して、「世界遺産検定講座」を開催する。また、世界遺産検定の受験会場を長崎市内に設置するとともに、長崎市独自の取組みとして、受講者に検定のテキスト等を貸与する。

**ア 連携自治体** 荒尾市、宇城市、佐賀市、北九州市及び長崎市の5自治体  
(荒尾市はR4年度から、宇城市はR5年度から「世界遺産検定講座」を開催)

#### イ 講座内容

(ア) NPO法人世界遺産アカデミーの認定講師による「世界遺産検定」の合格対策講座

(イ) 産業革命遺産の構成資産所在地の自治体職員による各構成資産に関する講座

#### ウ 開催方法

(ア) 5カ所の自治体会場をオンラインでつなぎ、全5回講座を開催

(イ) 受講者には、受検予定のテキスト及び過去問集を1冊ずつ貸与

(ウ) 定員は、原則、世界遺産検定の3級又は4級の受検を予定する20名

(エ) 12月に、受講者を対象にした世界遺産検定を長崎市で特別開催

#### エ 事業費内訳

(ア) 世界遺産検定講座にかかる講師謝礼金(連携自治体で按分) 17千円

※講師謝金 16,500円/回 × 5回 = 82,500円 82,500円 ÷ 連携 5自治体 = 16,500円(長崎市負担分)

(イ) 世界遺産検定講座にかかるテキスト等購入費 65千円

## 3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金 ※1 ※2	県支出金 ※3	地方債 ※4	その他	一般財源
千円 37,925	千円 14,252	千円 5,604	千円 14,800	千円 -	千円 3,269

※1 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

補助率 50%

※2 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)

充当率 50%

※3 指定文化財保存整備事業補助金

補助率 20%

※4 過疎対策事業債

充当率 100%(交付税措置率70%)

## 【参考1】「世界遺産検定」概要

NPO法人世界遺産アカデミーの主催により2006年に開始された検定(2014年から文部科学省が後援)で、人類共通の財産である世界遺産を通して、国際的な教養を身に付け、持続可能な社会の発展に寄与する人材の育成を目指した検定。世界遺産の全般的な知識を問われる。

検定試験は、年に4回開催されており、2022年度までに延べ35万人超が受験し、約20万人が認定(マイスター、1級、2級、3級、4級)されている。

2023年度は、公開会場試験(7月、9月、12月、3月 ただし長崎会場なし)、CBT試験(8~9月、2~3月:全国280カ所のテストセンターにて受験、長崎市内のテストセンターは万才町7-1 TBMビル地下1階)が行われている。

### (1) 認定者数の状況

	マイスター	1級	2級	3級	4級	計
長崎県	4人	21人	240人	430人	98人	793人
全国	607人	4,952人	56,279人	100,622人	23,342人	185,802人

### (2) 検定料

	マイスター	1級	2級	3級	4級
検定料	20,400円	10,900円	6,500円	5,400円	3,800円
CBT試験	—	11,800円	7,300円	6,200円	4,600円
2・3級併願	—	—	11,000円		—
3・4級併願	—	—	—	8,800円	

### (3) 現在講座を開催する自治体での実績

自治体名	講座開催実績	「世界遺産検定」認定状況
荒尾市	令和4年度 21人受講	12人認定(2級:2人、3級:9人、4級:1人)
	令和5年度 21人受講	17人受検予定(1級:1人、2級:6人、3級:9人、4級:1人)
宇城市	令和5年度 32人受講	20人受検予定(3級:20人)

## 【参考2】 R6年度「世界遺産検定講座」カリキュラム案

### ○世界遺産検定講座 「もっと明治日本の産業革命遺産を知ろう！」

【期日】 7～11月の各月1回、全5回

【時間】 13:30～15:40(130分)

【場所】 連携5自治体(荒尾市、宇城市、佐賀市、北九州市、長崎市)の各会場にてリモート開催

### ○世界遺産検定

【期日】 12月、公開会場試験を実施(長崎会場を特別に追加)

開催月	時間	内容	講師
7月	10分	開講式/概要説明	
	40分	「明治日本の産業革命遺産」の概要	「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会事務局
	20分	世界遺産検定についてのガイダンス	世界遺産検定事務局
	10分	休憩	
	60分	世界遺産検定対策講座1	世界遺産アカデミー認定講師
8月	60分	「明治日本の産業革命遺産」 各エリアの構成資産について	8エリアの世界遺産担当者
9月		第2回 萩エリア・鹿児島エリア	
10月		第3回 韮山エリア・釜石エリア	
11月		第4回 長崎エリア・佐賀エリア	
11月		第5回 三池エリア・八幡エリア	
	10分	休憩	
	60分	世界遺産検定対策講座2～5	世界遺産アカデミー認定講師
12月	50分	世界遺産検定(本番)	

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
136～137	2 総務費	1 総務管理費	22 世界遺産 推進費	2-1	【補助】世界遺産保存整備事業費 「明治日本の産業革命遺産」	千円 322,800

## 1 事業概要

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である端島炭坑を適切に保全するため、島の周囲の石積護岸及び劣化したコンクリート護岸の整備工事を実施する。  
令和7年度までの2年間の工事となるため債務負担行為を設定する。

## 2 事業内容

- ・ 端島炭坑の護岸の中から劣化度の高い2箇所について海側をコンクリートで補強する。
- ・ 令和5年度から2年間の工事となる第1期工事と、令和6年度から2年間の工事となる第2期工事を実施する。

区分	事業費	各年度事業費		
		令和5年度	令和6年度	令和7年度
第1期工事	2億4,000万円	9,600万円(40%)	1億4,400万円(60%)	
第2期工事	4億4,700万円		1億7,880万円(40%)	2億6,820万円(60%)
予算額 (今回計上)			3億2,280万円	2億6,820万円 【債務負担行為】

## 2 事業内容(つづき)

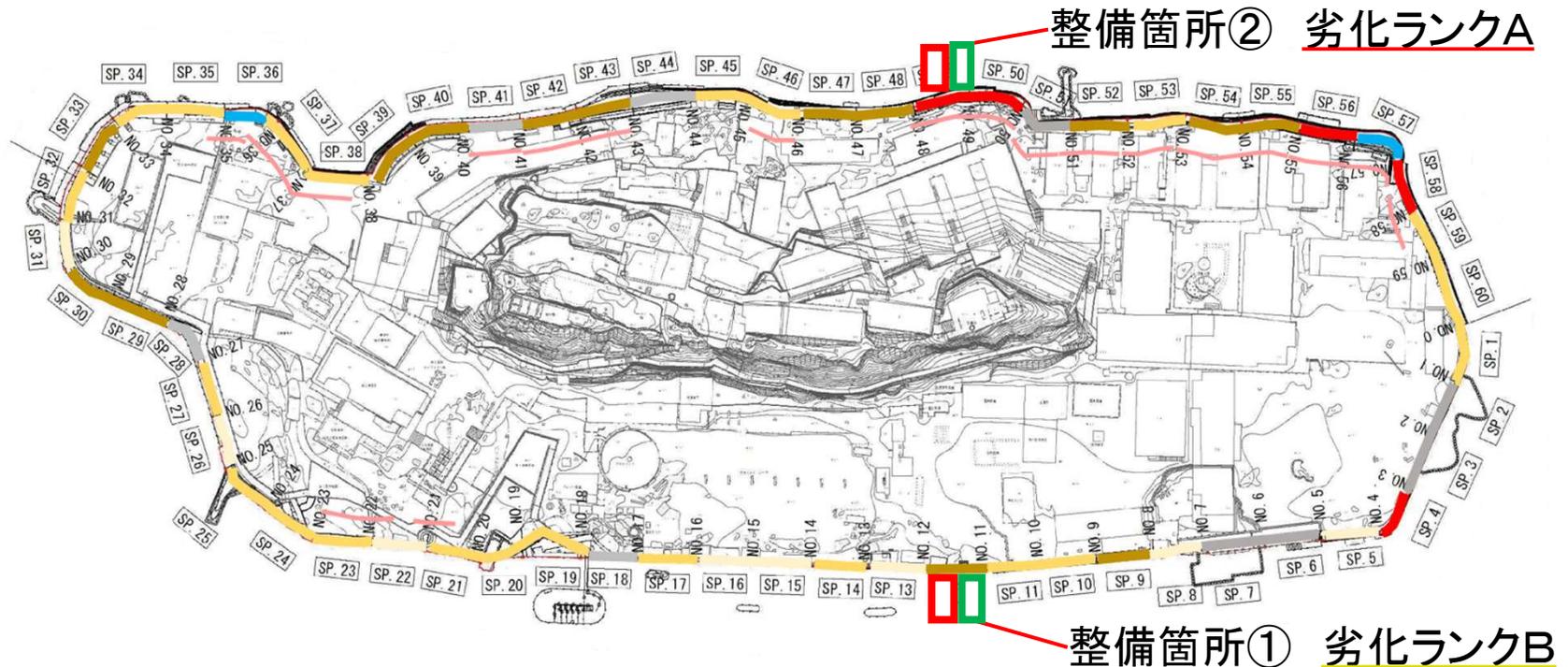
### ・ 護岸整備箇所を選定

60に分けた護岸の区間ごとに、護岸劣化状況を評価した。  
そのうち、港湾海岸・建設海岸それぞれから劣化度が高い区間を選定した。

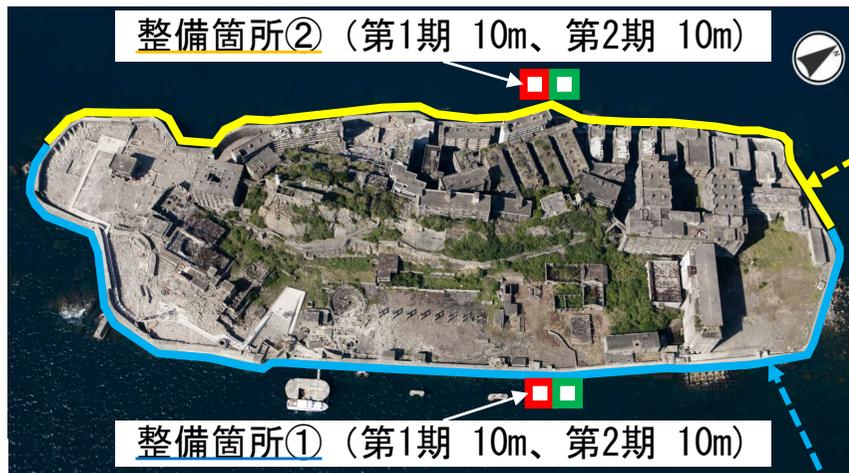
	第1期工事 (R5～R6年度) 整備箇所
	第2期工事 (R6～R7年度) 整備箇所
	明治期の石積護岸が確認されている護岸

### 保全整備劣化度の判定基準

ランク	劣化度	状態	
A	劣化度が1番高い	B1の状況に当てはまり、かつ複数の劣化が認められる箇所	
B	劣化度が2番目に高い	B 1	深さが3.0m以上の堤体基礎部の空洞化が認められ、堤体基礎部の空洞化により堤体背後の地盤の沈下が引き起こされた可能性がある箇所。
		B 2	深さ1.0m～3.0mの堤体基礎部の空洞が認められた箇所。
		B 3	深さ1.0m未満の堤体基礎部の空洞が認められた箇所。
C	劣化度が3番目に高い	堤体背後が越波などにより、洗掘されている。この洗掘により背後地盤は沈下傾向にあり、被覆コンクリート下端が浮いた状態である。	
D	劣化度が4番目に高い	上記に該当しない箇所	



## 2 事業内容(つづき)



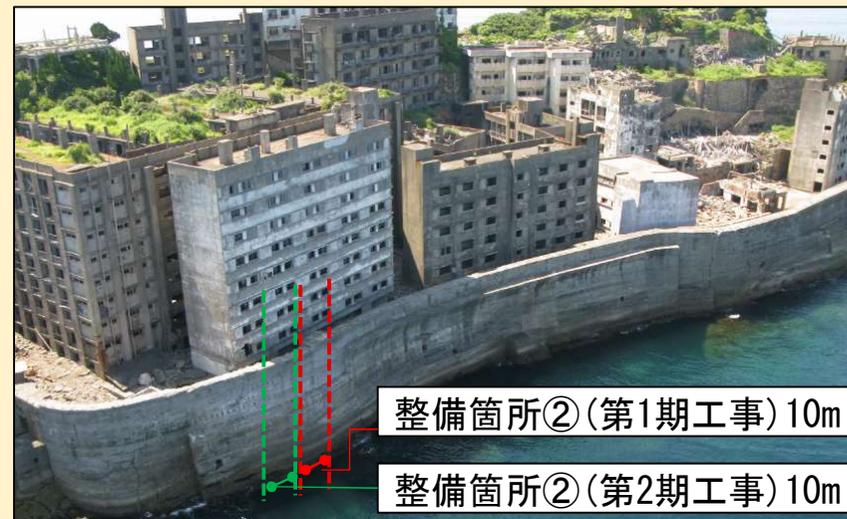
### 整備予定箇所

- 整備箇所①は、国交省港湾局管轄の港湾海岸から第1期工事10m+第2期工事10m=20mを選定
- 整備箇所②は、国土交通省水管理・国土保全局管轄の建設海岸から第1期工事10m+第2期工事10m=20mを選定

- |   |                      |
|---|----------------------|
|  | 第1期工事 (R5~R6年度) 整備箇所 |
|  | 第2期工事 (R6~R7年度) 整備箇所 |

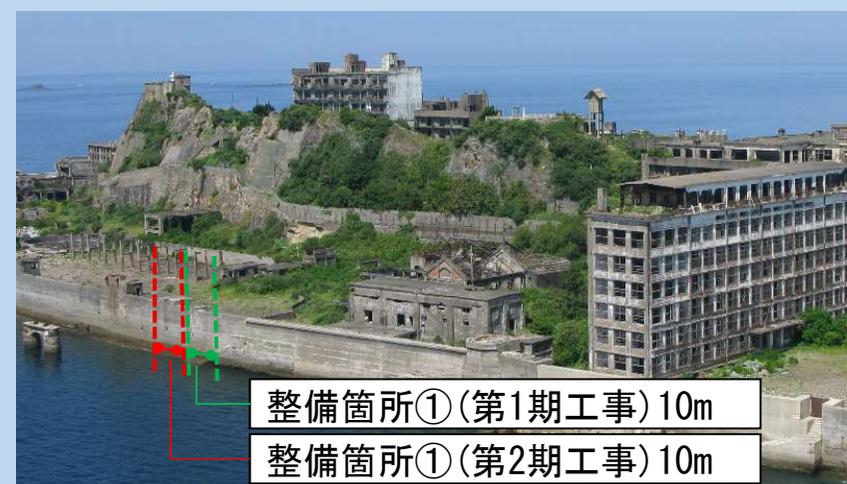
### 建設海岸(西側560m)

国土交通省  
水管理・国土保全局 管轄



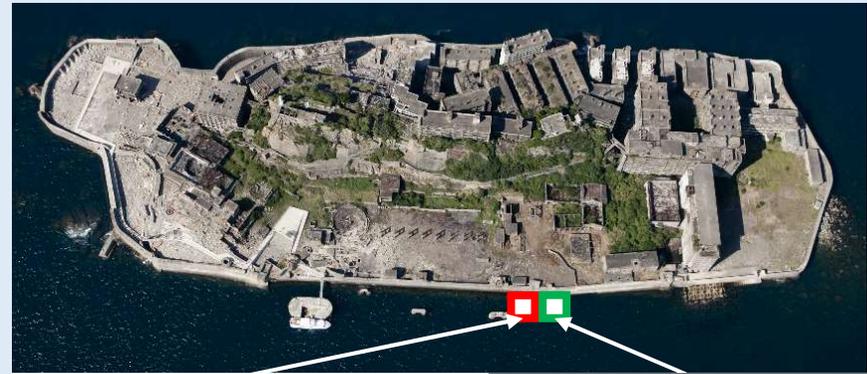
### 港湾海岸(東側590m)

国土交通省港湾局 管轄



## 2 事業内容(つづき)

### ・ 整備箇所①の工事概要



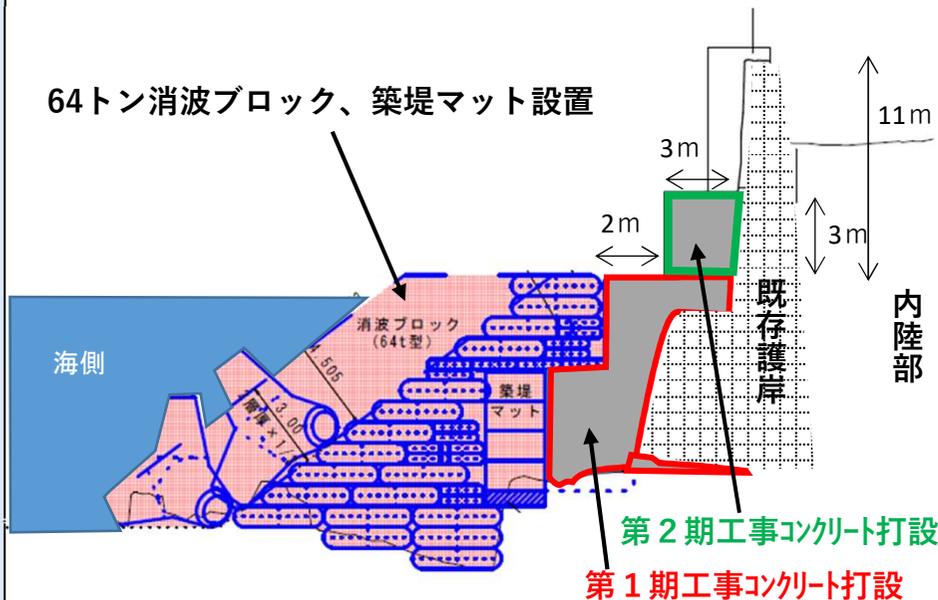
整備箇所① (第1期工事)

整備箇所(第2期工事)

#### 整備箇所① (第1期工事)

- ・ 第1期工事で海側に消波ブロック、築堤マットを設置する。
- ・ 護岸下の空洞をコンクリートで充填する。
- ・ 既存護岸海側に水面上約1mまでコンクリートを打設する。
- ・ 第2期工事で水面上3mまでコンクリートを嵩上げする。

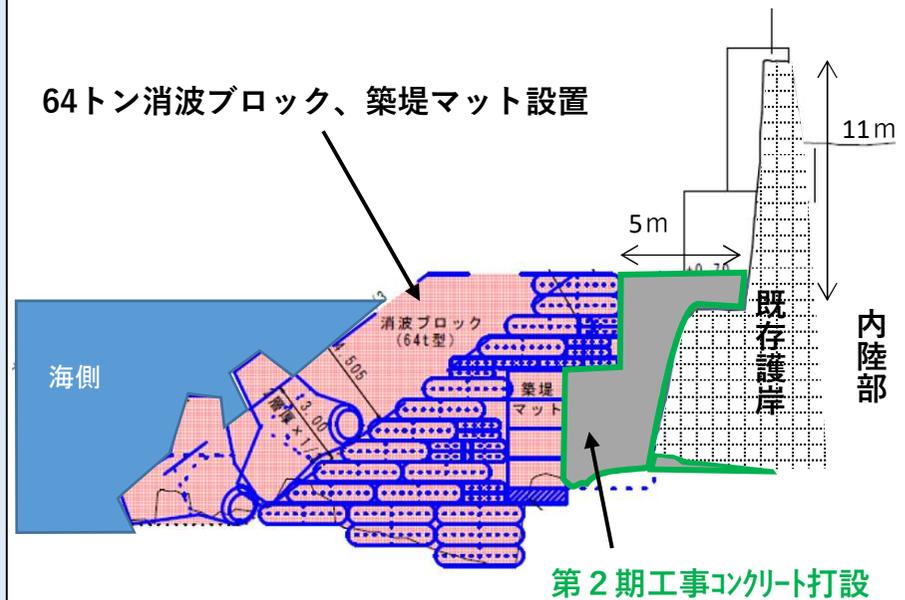
#### 64トン消波ブロック、築堤マット設置



#### 整備箇所① (第2期工事)

- ・ 海側に消波ブロック、築堤マットを設置する。
- ・ 護岸下の空洞をコンクリートで充填する。
- ・ 既存護岸海側に水面上約1mまでコンクリートを打設する。

#### 64トン消波ブロック、築堤マット設置



## 2 事業内容(つづき)

### ・整備箇所②の工事概要

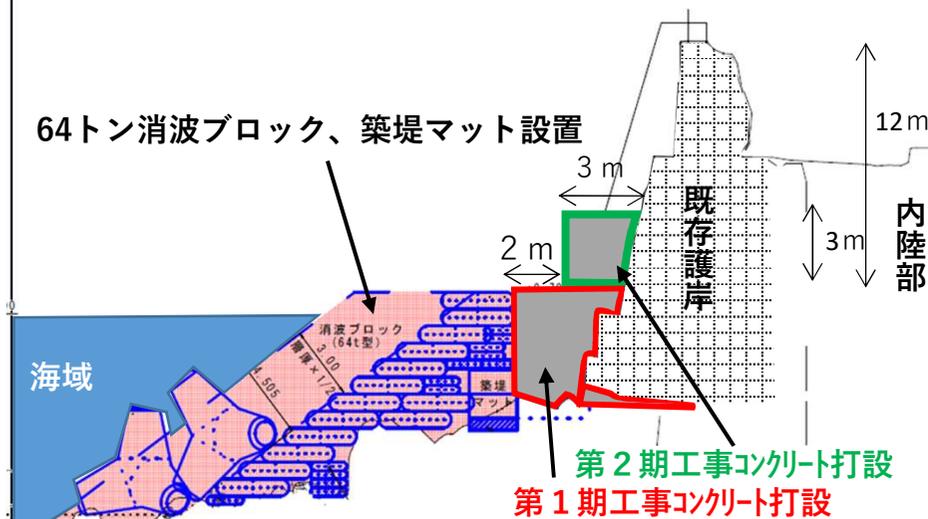
整備箇所②(第1期工事)

整備箇所②(第2期工事)



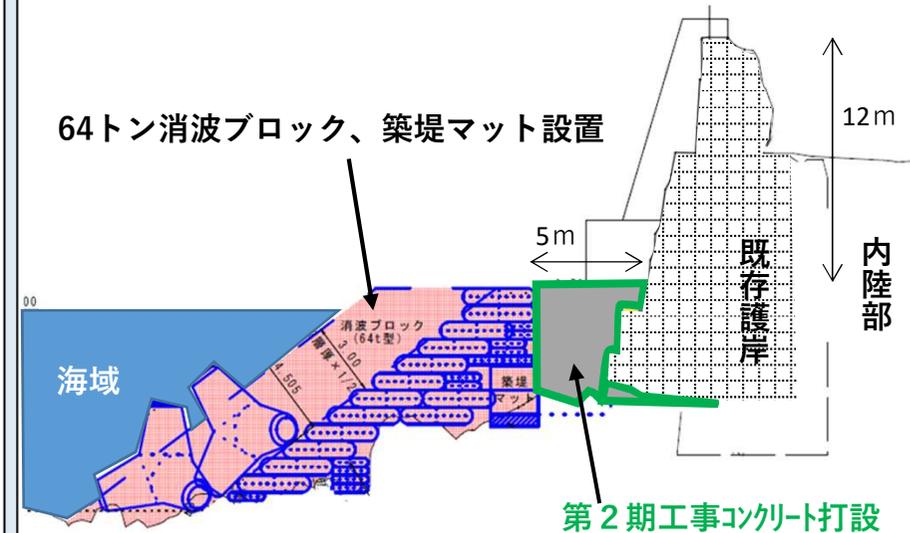
### 整備箇所②(第1期工事)

- ・第1期工事で海側に消波ブロック、築堤マツトを設置する。
- ・護岸下の空洞をコンクリートで充填する。
- ・既存護岸海側に水面上約1mまでコンクリートを打設する。
- ・第2期工事で水面上3mまでコンクリートを嵩上げする。

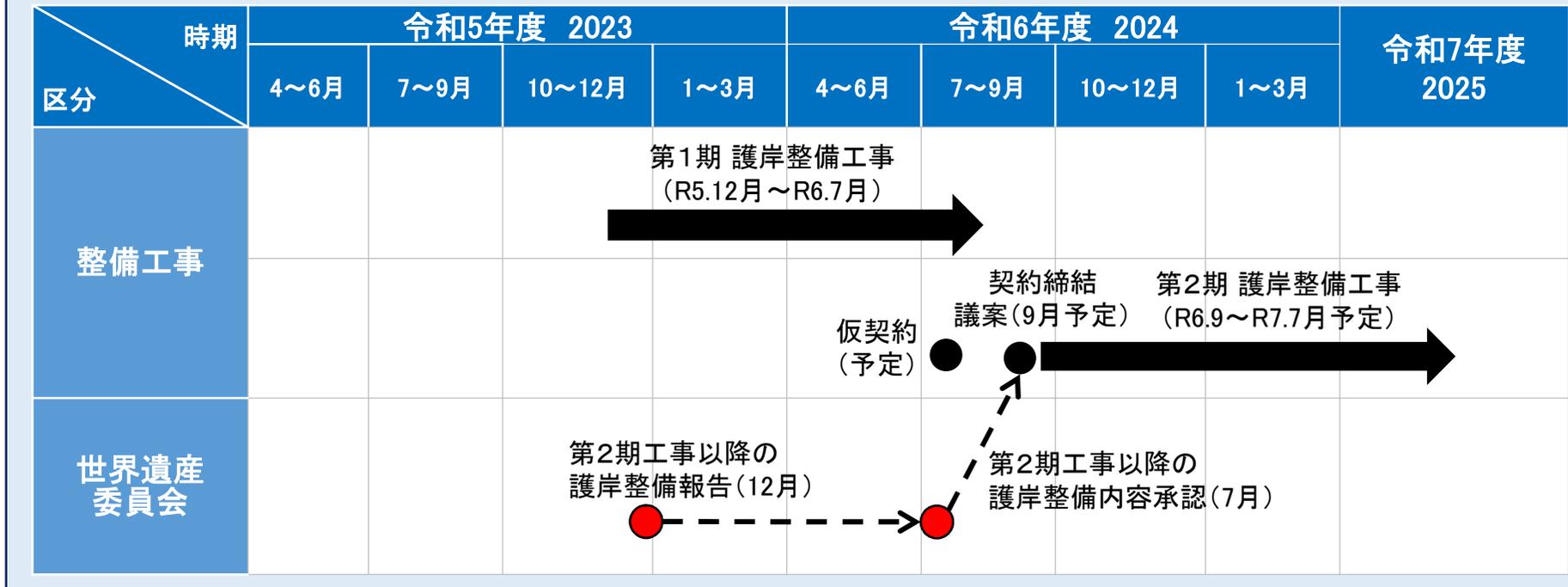


### 整備箇所②(第2期工事)

- ・海側に消波ブロック、築堤マツトを設置する。
- ・護岸下の空洞をコンクリートで充填する。
- ・既存護岸海側に水面上約1mまでコンクリートを打設する。



### 3 スケジュール



### 4 財源内訳

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金 ※1	県支出金	地方債 ※2	その他	一般財源
第1期工事	千円 144,000	千円 48,000	千円 -	千円 96,000	千円 -	千円 -
第2期工事	178,800	59,600	-	119,200	-	-
合計	322,800	107,600	-	215,200	-	-

※1 社会資本整備総合交付金 充当率1/3

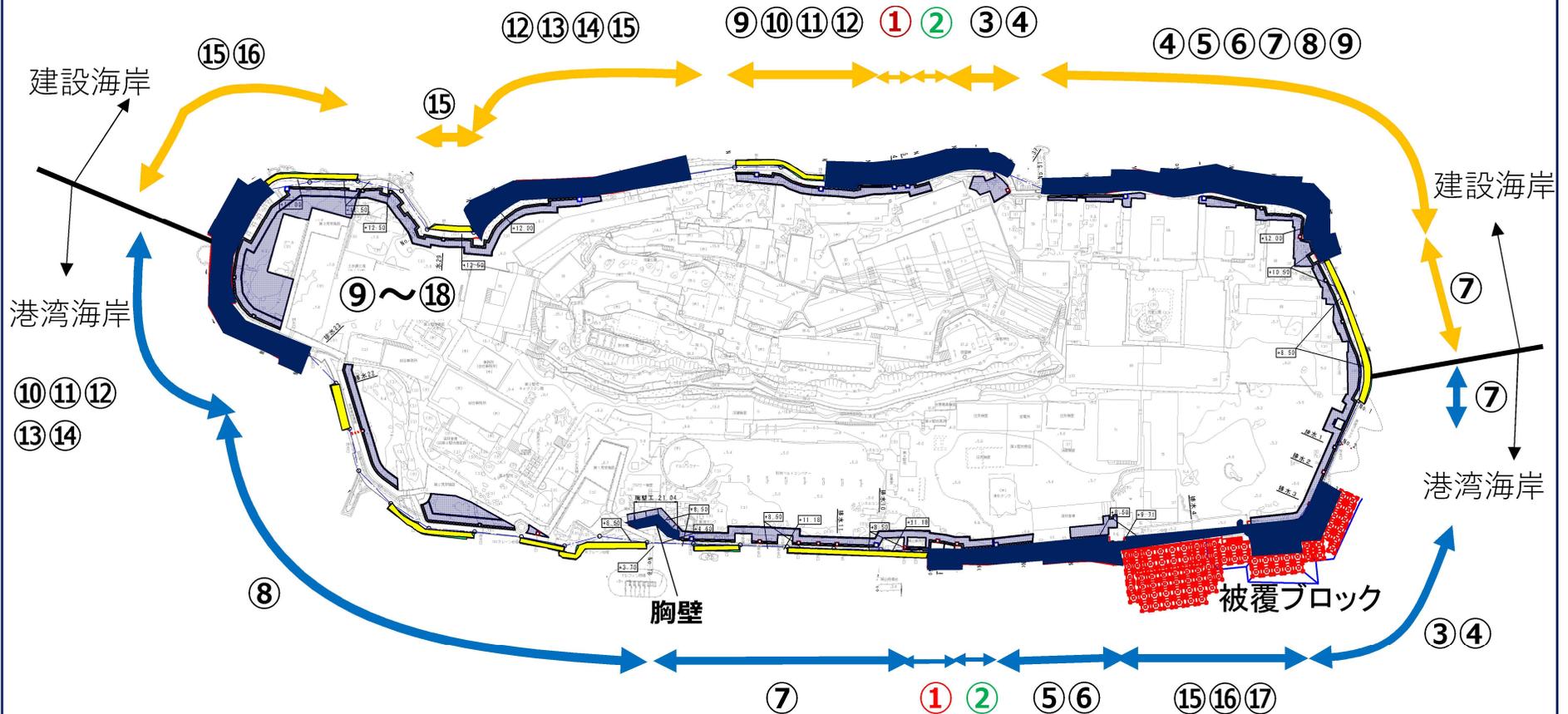
※2 過疎対策事業債 充当率100%(交付税措置率70%)

## 【参考】 端島護岸長期整備計画

- 劣化度の高い場所から優先順位をつけておよそ20年かけて整備する(①R5～⑱R23)。
- 護岸海側については、全1,150mを、次の3つの区分に分けて整備する。

事業内容：A		護岸補強＋海中空洞部充填	600m
B		海中空洞部充填	355m
C		何もしない	195m

- また、内陸側の排水機能は全て健全化する。そのため排水機能が失われている内陸側の水たたきを整備し直す。(D  内陸側水たたき整備 938m)



債務負担行為		期 間	限度額 (設定額)
ページ	事 項		
334～335	端島炭坑跡護岸補強工事	令和7年度	千円 268,200

### 1 債務負担行為の目的

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である端島炭坑を適切に保全するため、島の周囲の石積護岸及び劣化したコンクリート護岸の整備工事を実施する。  
第2期工事については、令和6年度から令和7年度までの2年間の工事となるため債務負担行為を設定する。

### 2 債務負担行為限度額の内訳

区分	事業費	各年度事業費	
		令和6年度	令和7年度 【債務負担行為】
第2期工事	4億4,700万円	1億7,880万円(40%)	2億6,820万円(60%)

### 3 財源内訳

区分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金 ※1	県支出金	地方債 ※2	その他	一般財源
第2期工事	千円 268,200	千円 89,400	千円 —	千円 178,800	千円 —	千円 —

※1 社会資本整備総合交付金 充当率1/3

※2 過疎対策事業債 充当率100%(交付税措置率70%)

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
136～137	2 総務費	1 総務管理費	22 世界遺産 推進費	2-2	【補助】世界遺産保存整備事業費 端島炭坑	千円 26,000

## 1 事業概要

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つである「端島炭坑」について、世界遺産として適切に保存管理していくため、『高島炭坑端島炭坑修復・公開活用計画』（以下『修復・公開活用計画』という。）の見直しに向けた生産施設遺構、居住施設遺構の劣化状況の調査及び保存方法の検討を行う。また、令和7年に世界遺産委員会に整備計画を報告するため、生産施設遺構のうち鉄筋コンクリート造構造物の1つについて、工法の比較資料を作成する。

## 2 事業内容

### (1) 生産施設遺構等劣化状況調査及び保存方法検討委託 10,000千円

長崎市の附属機関である高島炭鉱整備活用委員会から、令和10年度に予定していた『修復・公開活用計画』の見直しを前倒して行い、令和6年度に整備工事完成予定の「明治期の構造物」である(第3竖坑捲座跡)以外の鉄筋コンクリート造構造物群(以下「その他構造物」という。)について、整備手法等を検討すべきと示されたことを受け調査検討を行う。

[対象] 「その他構造物」 19箇所（次ページ参照）

[内容] ア 現況調査

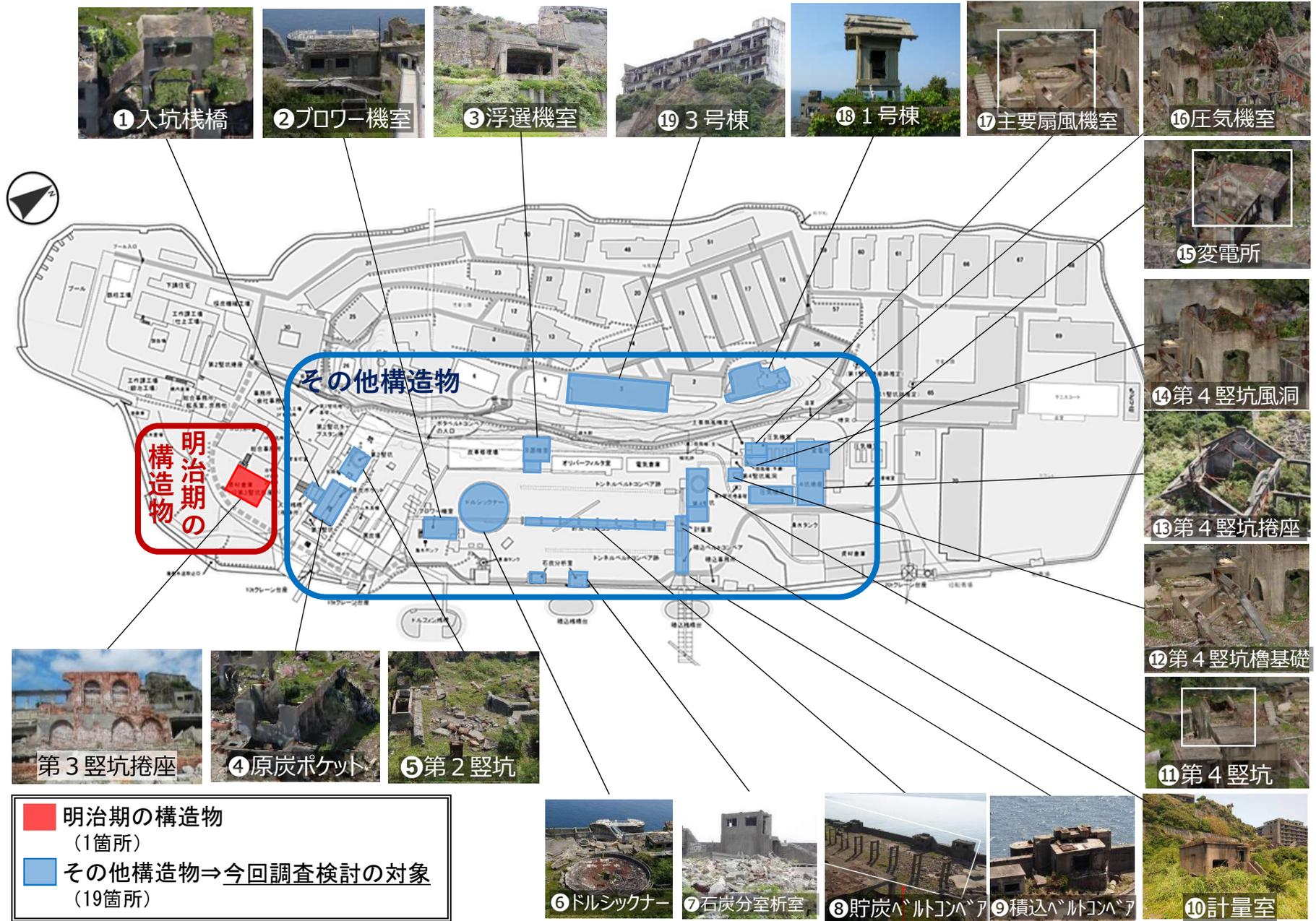
イ 劣化抑制の工法検討

### (2) 入坑棧橋設計構造検討等委託 16,000千円

「その他構造物」である入坑棧橋について、梁等の表面のコンクリートが剥がれ落ちて鉄筋が暴露し、破断している等の劣化が見られる。そのため、入坑棧橋を支えるための架台の構造検討等を行う。

## 2 事業内容(つづき)

### (1) 生産施設遺構等劣化状況調査及び保存方法検討委託の対象構造物



## 2 事業内容(つづき)

### (1)生産施設遺構等劣化状況調査及び保存方法検討委託 検討スケジュール

R6年度(2024)

#### ①「その他構造物」の現況調査

- 『修復・公開活用計画』における保存整備の優先順位の考え方から選定した19の構造物を対象に図面作成、劣化判定等を行う。

#### ②劣化抑制の工法検討

- 防水対策が有効でかつ実施可能な構造物を選定し、防水対策の方法を検討する。
- 劣化度や構造上の理由から、防水対策では不十分又は実施不可で部分的な補修工事が必要な構造物を選定し、補修工事の方法を検討する。

R7年度(2025)予定

#### ③整備方針を決定

- 防水対策及び補修工事の概算費用、必要工期等を検討する。
- 整備順の整理を行う。

#### ④『修復・公開活用計画』改訂

- 『修復・公開活用計画』(2017年度策定、10年後の2028年度改訂予定)を前倒しで改訂する。

#### ⑤世界遺産委員会へ報告

- 2017年に世界遺産委員会に報告した端島炭坑の整備計画の修正報告書を提出する。

## 2 事業内容(つづき)

### (2) 入坑棧橋設計構造検討等委託 16,000千円

「その他構造物」関連施設である入坑棧橋について、梁等の表面のコンクリートが剥がれ落ちて鉄筋が暴露し、破断している等の劣化が見られる。そのため、入坑棧橋を支えるための架台の構造検討等を行う。

【高島炭鉱整備活用委員会で検討中の保存整備の方針】

- ①外観を変えずに劣化抑制(防水対策、防錆材の注入等)を行う。
- ②遺構を支える架台を設置する。



入坑棧橋 (現状)



梁の劣化状況



架台設置イメージ



代表的な構造物について工法の比較検討資料作成

### 3 財源内訳

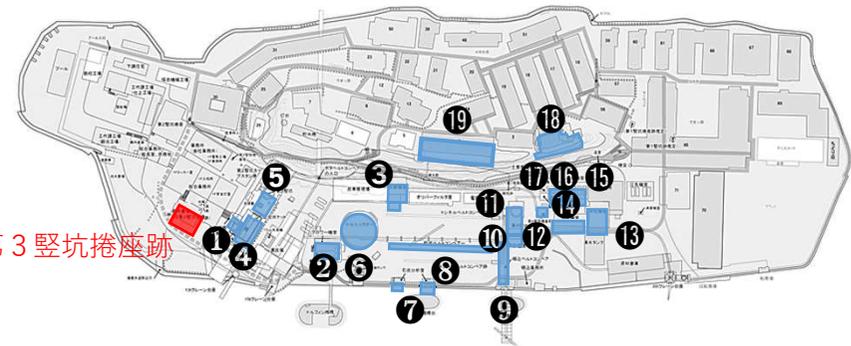
事業費	財源内訳				
	国庫支出金 ※1	県支出金 ※2	地方債 ※3	その他	一般財源
千円 26,000	千円 13,000	千円 5,200	千円 7,800	千円 -	千円 -

- ※1 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 補助率50%
- ※2 指定文化財保存整備事業補助金 補助率20%
- ※3 過疎対策事業債 充当率100%（交付税措置率70%）

## 【参考】明治期の構造物及び「その他構造物」

### ● 明治期の構造物※整備着手済の遺構

施設	概要
 <p>第3 豎坑捲座跡</p>	<p>用途：人員昇降や石炭の巻上げ 建設：明治29年(1896) 構造：煉瓦造</p>



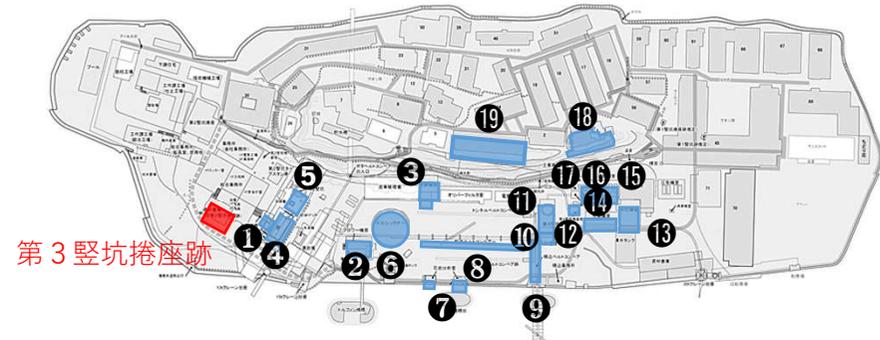
### ● その他構造物

施設	概要	施設	概要
 <p>① 入坑棧橋</p>	<p>用途：第2豎坑入坑口への棧橋の昇降階段と検身所 建設：昭和17年頃(1942) 構造：鉄筋コンクリート造</p>	 <p>⑤ 第2豎坑</p>	<p>用途：入昇坑及び入気口 建設：(旧) 明治28年(1895) 出炭開始 (新) 昭和9年(1934) 出炭開始 構造：(旧檣) 木造 (新檣) 鉄骨 (坑口周り) コンクリート造</p>
 <p>② ブロー機室</p>	<p>用途：水洗と風圧で良質な石炭と廃石に選り分けるためのブロー装置があった施設 建設：昭和21年頃(1946) 構造：鉄筋コンクリート造 規模：1F：ブロー室 2F：配電盤室</p>	 <p>⑥ ドルシクナー</p>	<p>用途：粉炭回収に使用する溶液の再処理施設 建設：昭和39年(1964) 構造：鉄筋コンクリート造 規模：直径20m以上</p>
 <p>③ 浮選機室</p>	<p>用途：石炭を水洗い等によって選別する装置 建設：昭和28年(1953) 構造：鉄筋コンクリート造</p>	 <p>⑦ 石炭分析室</p>	<p>用途：石炭の分析を行う施設 建設：昭和20年代(1945) 構造：鉄筋コンクリート造</p>
 <p>④ 原炭ポケット</p>	<p>用途：坑内から上げた石炭を選炭機に送る貯蔵施設 建設：昭和18年(1943) 構造：鉄筋コンクリート造</p>	 <p>⑧ 貯炭ベルトコンベア</p>	<p>用途：精炭を貯炭場に集積するベルトコンベア 建設：昭和12年頃(1937) 構造：2層ラーメン構造 (下層は鉄筋コンクリート造、上層は鉄骨コンクリート造)</p>

## 【参考】明治期の構造物及び「その他構造物」

### ●その他構造物

施設	概要
 <p>⑨ 積込ベルトコンベア</p>	<p>用途：製品炭を船積みする積込栈橋が載っていた施設                      建設：昭和8年頃(1933)                      構造：鉄筋コンクリート造</p>
 <p>⑩ 計量室</p>	<p>用途：積み込み前の精炭の計量を行う施設                      建設：昭和17年(1942)～18年(1943)                      構造：鉄筋コンクリート造</p>
 <p>⑪ 第4竖坑</p>	<p>用途：入排気、排水、人員昇降、運搬                      建設：大正14年(1925)出炭開始                      構造：鉄筋コンクリート造                      規模：円形6.0m煉瓦巻</p>
 <p>⑫ 第4竖坑櫓基礎</p>	<p>用途：入排気、排水、人員昇降、運搬人員昇降や石炭の捲揚                      建設：大正14年(1925)出炭開始                      構造：鉄骨造</p>
 <p>⑬ 第4竖坑捲座</p>	<p>用途：人員昇降や石炭の捲揚                      建設：大正14年(1925)                      構造：煉瓦、コンクリート造</p>
 <p>⑭ 第4竖坑風洞</p>	<p>用途：第4竖坑の坑内の空気を排出するために通風の切り替えを行う施設                      建設：昭和24年(1949)                      構造：鉄筋コンクリート造、煉瓦造</p>



施設	概要
 <p>⑮ 変電所</p>	<p>用途：高島から送電された電圧を変電する施設                      建設：昭和34年(1959)                      構造：鉄筋コンクリート造</p>
 <p>⑯ 圧気機室(大、小)</p>	<p>用途：圧縮空気による動力を造り出す施設                      建設：①昭和14年(1939)                      ②昭和34年(1959)                      構造：①鉄筋コンクリート造                      ②鉄骨スレート造</p>
 <p>⑰ 主要扇風機室</p>	<p>用途：坑内の空気を排出する主要な扇風機を設置していた。                      建設：昭和34年(1959)                      構造：鉄筋コンクリート造</p>
 <p>⑱ 1号棟</p>	<p>用途：神社                      建設：明治末期、昭和11年(1936) 建替                      構造：拝殿は木造、本殿は鉄筋コンクリート造                      規模：1階建</p>
 <p>⑲ 3号棟</p>	<p>用途：職員住宅(幹部用、風呂付)                      建設：昭和34年(1959)                      構造：鉄筋コンクリート造                      規模：4階+半地下</p>

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
138～139	2 総務費	1 総務 管理費	22 世界遺産 推進費	3-1	【補助】世界遺産保存整備事業費補助金 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」	千円 14,002

## 1 事業概要

世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の関連資産である国の重要文化的景観「長崎市外海の石積集落景観」の重要な構成要素を適切に保存管理するため、所有者が実施する整備事業に対する補助を行うもの。

## 2 事業内容

### (1) 大野神社境内石垣等整備事業 補助額:2,024千円(補助率82.5%)

ア 事業内容 重要文化的景観の重要な構成要素「大野神社と境内石垣」(民間所有)において、イノシシ被害及び風雨により一部崩落した石垣の積み直し及び境内地の排水路整備に対する補助

イ 事業費内訳 総事業費:2,454千円

市補助 :2,024千円(82.5%) 所有者負担:430千円(17.5%)

(市補助内訳)

国補助(65%)	県補助(14%)	市負担(21%)
1,316千円	284千円	424千円



石垣積み直し箇所

イノシシの掘り返し等により崩落した石垣を修復する。



排水路整備箇所

地下水を社殿敷地外に排出するための暗渠排水を整備する。

## 2 事業内容(つづき)

### (2) 石積みネリベイ建物整備事業 補助額:11,478千円(補助率82.5%)

ア 事業内容 重要文化的景観の重要な構成要素「石積みネリベイ建物」(民間所有)を、石積集落景観を紹介するガイダンス機能を有する施設に改修するための調査・設計に対する補助

イ 事業費内訳 総事業費:13,913千円

市補助 :11,478千円(82.5%) 所有者負担:2,435千円(17.5%)

(市補助内訳)

国補助(65%)	県補助(14%)	市補助(21%)
7,460千円	1,607千円	2,411千円

ウ 事業期間 令和6年度:調査・設計

令和7~8年度(予定):整備工事



石積みネリベイ建物の現在の状況

### 「石積みネリベイ建物」概要

- 明治30年頃建設
- 当時は3階建てだったが、改造が進み現在は1階のみ。
- 1階部分の四方が厚いネリベイで囲われている。
- ド・ロ神父の影響が強く感じられる建造物であり、ド・ロ神父の仕事場があったとも言われている。

## 2 事業内容(つづき)

### (3) 世界遺産構成資産保存整備事業費補助金 補助額: 500千円(補助率:100%)

ア 事業内容 長崎県が令和6年度から新設する補助制度を活用した、世界遺産構成資産内の「大野教会堂」(民間所有)において実施するイノシシ被害対策に対する補助

イ 事業費内訳 総事業費:500千円  
市補助 :500千円(100%) 所有者負担:0千円(0%)  
(市補助内訳)

県補助(100%)	市負担(0%)
500千円	0千円



イノシシによる教会石垣の掘り返し被害状況



現在、イノシシが嫌がる匂いで侵入を防ぐ忌避材を大野教会堂敷地を囲んで設置している。



イノシシが踏むのを嫌がるネット状の侵入抑制材を設置予定 ※

※来訪者の安全性や景観に配慮し、ワイヤーメッシュや箱わな設置ではなく、イノシシがネットを踏むのを嫌がる習性を利用したネット状の侵入抑制材を境内地周囲に設置する予定

#### 【参考】長崎県補助制度の概要(令和6年4月1日施行予定)

- (対象) 世界遺産「潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産における民間団体主導の保全活動
- (補助上限額) 1事業あたり50万円
- (補助率) 10/10
- (対象事業例) 資産の清掃活動、除草活動、獣害対策のためのネット張り、石積みの修復等

### 3 財源内訳

事業	事業費 ①	予算計上額 ②	財源内訳					事業者 負担額 ①-②
			国庫 支出金	県 支出金	地方債	その他	一般財源	
(1) 大野神社	千円 2,454	千円 2,024	※1 千円 1,316	※2 千円 284	※4 千円 350	千円 -	千円 74	千円 430
(2) 礼拝建物	13,913	11,478	※1 7,460	※2 1,607	※4 2,150	-	261	2,435
(3) 大野教会堂	500	500	-	※3 500	-	-	-	0
合計	16,867	14,002	8,776	2,391	2,500	-	335	2,865

- ※1 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 補助率 65%
- ※2 指定文化財保存整備事業補助金 補助率 14%
- ※3 世界遺産保存・活用等整備事業補助金 補助率 100%
- ※4 過疎対策事業債 充当率 100% (交付税措置率70%)

【参考】位置図



【外海地区拡大図】



(3)大野教会堂(1893年建堂)



(1)大野神社(1671年再興)



(2)石積みネリベイ建物  
(1897年頃建設)

経済再生アクションプラン該当事業  
A1 受入態勢の充実・A2 高付加価値化による消費単価の向上・A3 戦略的なプロモーション

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
232~233	7 商工費	1 商工費	4 観光費	1-2	観光地域づくり推進費	千円 301,195

### 1 概要

観光まちづくりのパートナーであるDMOにおいて、ブランディング及びマーケティングを活用し、国内観光、MICE及びインバウンドの本格的な誘客拡大に戦略的に取り組む。併せて、長崎スタジアムシティの開業等を活かし、地元事業者等と連携した長崎の魅力づくりと受入態勢の強化により、訪問客の満足度向上と旅行消費拡大を図るもの。

### 2 事業内容

- (1) 委託先 一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会（平成30年3月30日DMO法人に登録）
- (2) 事業費 委託料 301,195千円
- (3) DMOの主な取組み内容
  - ・ブランディング：観光マスターブランドの市民理解促進と共創に向けた取組みなど
  - ・マーケティング：インバウンド等の包括マーケティングの強化、観光まちづくりネットワーク支援など
  - ・国内：観光マスターブランドを軸とした戦略的なプロモーション、体験コンテンツの充実と情報発信  
サステナブルツーリズムの推進（顧客創造と高付加価値化）など
  - ・インバウンド：台湾・香港誘客（島と体験の活用）、欧米豪誘客（広域連携等）、英語ガイド育成、  
飲食店における多言語化や食の多様化への対応促進など
  - ・MICE：訪問セールス強化と長崎スタジアムシティとの連携、SDGsの取組み可視化と英語版サイトの充実、  
まちMICEの推進、地元完結型PCO体制づくりなど
  - ・修学旅行：歩けるまち・SDGs視点の平和学習プロモーション・受入など

### 3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 301,195	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 301,195

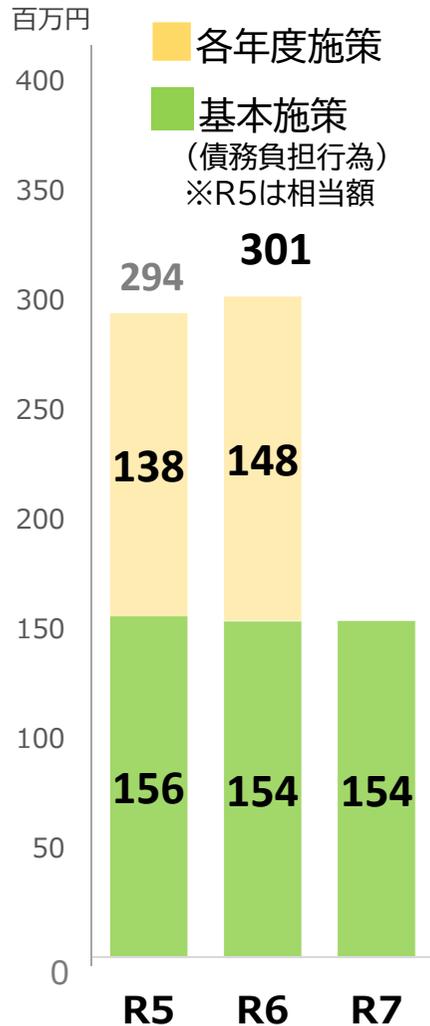
# 1. 予算額の推移(令和5年度～令和7年度)

DMO事業全体

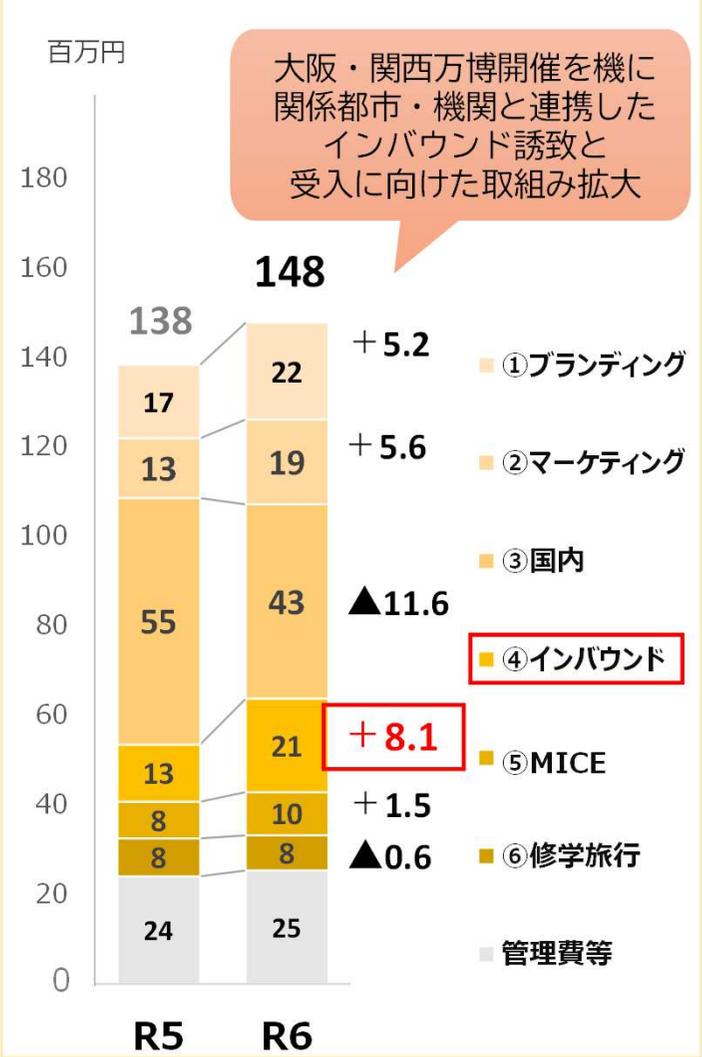
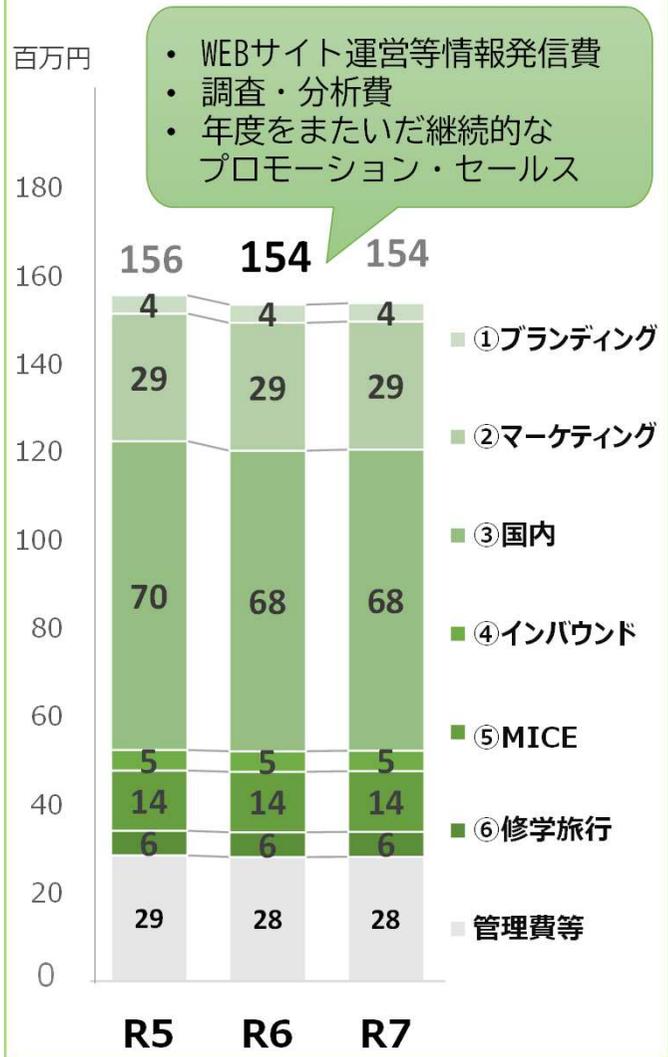
**基本施策**  
 複数年にわたり  
 継続的な実施が必要な事業

**各年度施策**  
 社会情勢やニーズの変化に対応し  
 時期を捉えた事業

(1) 総委託費



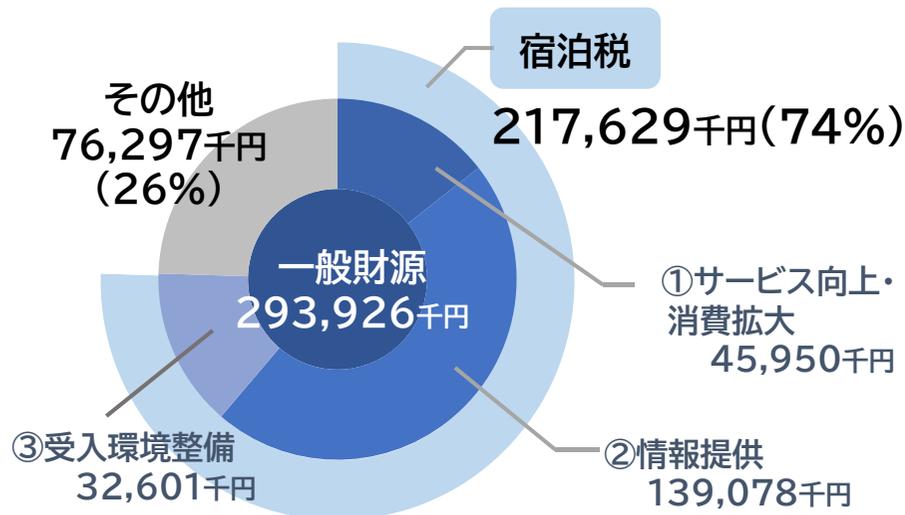
(2) 基本施策/各年度施策における6つの事業別予算額



## 2. 財源内訳

DMOが行う事業は、都市の魅力を高め、国内外の人々の来訪及び交流を促進するとともに、観光の振興を図る施策であることから、事業の一部に宿泊税を充当する。

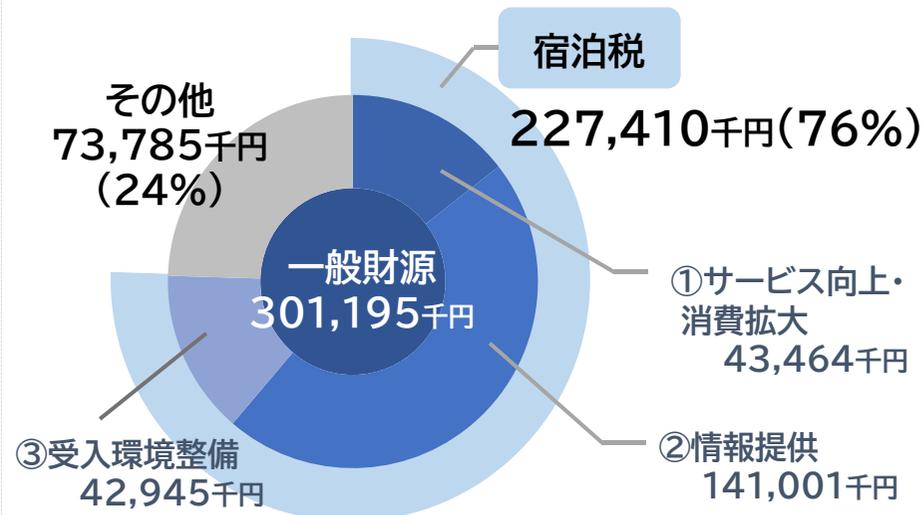
令和5年度（当初予算）



令和5年度宿泊税充当事業

217,629千円

令和6年度



令和6年度宿泊税充当事業

227,410千円

基本施策

①	体験商品・グルメ情報WEBサイトの運営	14,250千円
②	観光DXサイト(travel nagasaki)の運営 WEB広告等継続的プロモーション	20,297千円 53,614千円
③	観光マスターブランド戦略の推進	5,000千円

①	体験商品・グルメ情報WEBサイトの運営	14,365千円
②	観光DXサイト(travel nagasaki)の運営 WEB広告等継続的プロモーション	20,483千円 61,380千円
③	観光マスターブランド戦略の推進	5,046千円

年度施策

①	サステナブルツーリズムの推進 体験商品情報発信に係るコンテンツ制作 店舗情報の充実(口コミ対策)	13,618千円 7,795千円 10,287千円
②	デジタルプロモーション、セールス	65,167千円
③	市内向けマスターブランドの浸透 観光まちづくりネットワークの活性化 MICE向けコンテンツの充実	7,890千円 16,236千円 3,475千円

①	サステナブルツーリズムの推進 グルメ情報発信に係るコンテンツ制作 インバウンド対応のための食の多様化支援 英語対応可能な有償ガイドの育成	10,436千円 1,936千円 14,307千円 2,420千円
②	デジタルプロモーション、セールス	59,138千円
③	市内向け観光マスターブランドの浸透 観光まちづくりネットワークの活性化	21,412千円 16,487千円

### 3. 令和6年度 DMO事業方針

#### 基本方針

国内観光・MICEとインバウンドの本格的な誘客拡大に戦略的に取り組むとともに、事業者等と連携した魅力づくりと受入態勢等の強化により、訪問客の満足度向上と旅行消費拡大を図る。(長崎スタジアムシティ開業、長崎駅周辺整備等の効果を最大化)

#### ブランディング

- 観光マスターブランドの市民「認知・理解」の継続的促進と「共創」への取り組み
- ブランド戦略に基づくプロモーションの推進と誘客強化

#### マーケティング

- インバウンド動向に対応した包括的マーケティングリサーチの強化
- 地域マネジメントにおける地域共創基盤の活性化

#### 国内

- 観光マスターブランドをハブとした戦略的なプロモーションと誘致の推進
- 環境等に配慮した持続可能な観光推進による新たな顧客の創造

#### インバウンド

- ターゲットに応じた誘致・広域連携の推進とデジタルプロモーションを中心とした訪日・長崎旅行の期待感の醸成、訪問意欲の向上
- インバウンドの訪問客満足度の向上と消費拡大のための受入態勢の強化

#### MICE

- DMO、長崎市、(株)ながさきMICE連携による戦略的な提案・セールスの強化
- 「まちMICE」の推進と地元事業者で完結できる運営体制—地元完結型PCOの構築

#### 修学旅行

- 歩けるまちとSDGsのPRによる新規校の獲得と新しい平和学習のPRによるリピート校の獲得
- 滞在学習の満足度向上と事業者のビジネスチャンスの創出

市場別方針

## 4.事業予算

(物件費+人件費)

基本施策(債務負担)153,505千円

● 物件費+人件費 125,363千円

令和6年度施策 147,690千円

● 物件費+人件費 122,405千円

		4,121千円			21,785千円	
ブランディング 25,906千円						
	・ ブランド戦略の企画設計、実行	4,121千円	・ 市内向け浸透・理解促進に向けた取組み		15,655千円	
			・ 県外向けプロモーション		2,880千円	
			・ ブランドサイト構築・運用、グッズ制作		3,250千円	
マーケティング 48,143千円		29,183千円			18,960千円	
	・ 包括的マーケティングリサーチ	29,183千円	・ 観光まちづくりネットワークの活性化支援		13,626千円	
			・ インバウンド動向等の調査・分析強化		5,334千円	
国内 111,424千円		68,098千円			43,327千円	
	誘致	・ WEB広告 ・ 観光DXサイト運用 ・ 営業・セールス	23,030千円 13,212千円 7,260千円	誘致	・ ターゲットに応じたきめ細やかなプロモーション	24,625千円
	受入	・ 着地型観光MAP制作 ・ play nagasaki運用 ・ グルメサイト運用 ・ パンフレット管理	13,395千円 8,514千円 2,087千円 600千円	受入	・ 消費拡大のための受入強化施策 ・ サステナブルツーリズムの推進 ・ その他(活動事務費)	9,477千円 8,625千円 600千円
インバウンド 25,491千円		4,646千円			20,844千円	
	誘致	・ 多言語WEBサイト運用	3,515千円	誘致	・ 台湾向けプロモーション ・ 営業・セールス ・ 欧米豪向けプロモーション ・ その他(翻訳費、活動事務費)	4,972千円 4,743千円 2,579千円 3,203千円
	受入	・ EAT NAGASAKI運用	1,131千円	受入	・ 食の多様化対応支援 ・ 英語ガイド育成	3,347千円 2,000千円
MICE 23,356千円		13,703千円			9,653千円	
	誘致	・ セールス ・ 情報管理システム	11,697千円 1,238千円	誘致	・ 営業・セールス活動 ・ 英語版サイト改修	4,857千円 1,229千円
		・ JCCB、ICCAとの連携	768千円	受入	・ まちMICEの取組み	3,567千円
修学旅行 13,448千円		5,612千円			7,836千円	
	誘致	・ セールス ・ 修学旅行ナビ本制作 ・ 修学旅行サイト管理	4,017千円 990千円 605千円	誘致	・ 営業・セールス活動	6,791千円
				受入	・ 事業者向け研修 ・ その他(活動事務費)	745千円 300千円

## 5. 事業内容

### 基本方針

国内観光・MICEとインバウンドの本格的な誘客拡大に戦略的に取り組むとともに、事業者等と連携した魅力づくりと受入態勢等の強化により、訪問客の満足度向上と旅行消費拡大を図る。(長崎スタジアムシティ開業、長崎駅周辺整備等の効果を最大化)

### ブランディング

- 観光マスターブランドの市民「認知・理解」の継続的促進と「共創」への取り組み
- ブランド戦略に基づくプロモーションの推進と誘客強化

### マーケティング

- インバウンド動向に対応した包括的マーケティングリサーチの強化
- 地域マネジメントにおける地域共創基盤の活性化

### 国内

- 観光マスターブランドをハブとした戦略的なプロモーションと誘致の推進
- 環境等に配慮した持続可能な観光推進による新たな顧客の創造

### インバウンド

- ターゲットに応じた誘致・広域連携の推進とデジタルプロモーションを中心とした訪日・長崎旅行の期待感の醸成、訪問意欲の向上
- インバウンドの訪問客満足度の向上と消費拡大のための受入態勢の強化

### MICE

- DMO、長崎市、(株)ながさきMICE連携による戦略的な提案・セールスの強化
- 「まちMICE」の推進と地元事業者で完結できる運営体制—地元完結型PCOの構築

### 修学旅行

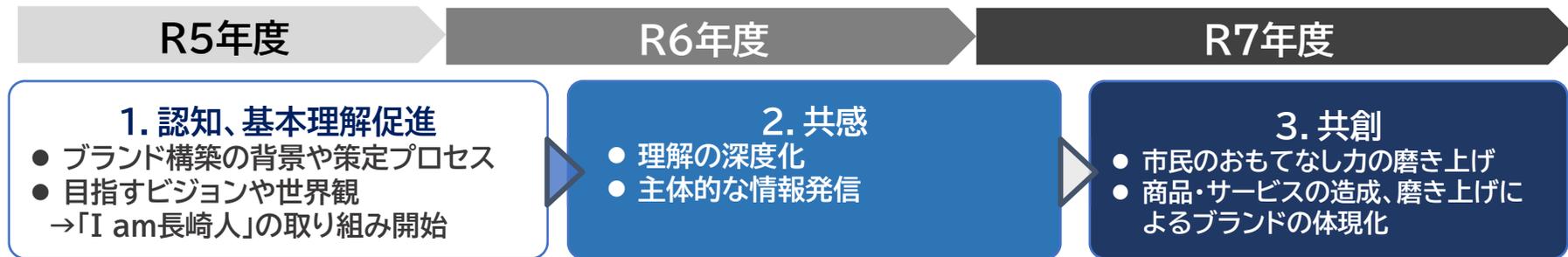
- 歩けるまちとSDGsのPRによる新規校の獲得と新しい平和学習のPRによるリピート校の獲得
- 滞在学習の満足度向上と事業者のビジネスチャンスの創出

市場別方針

取組み	予算(物件費+人件費)	方針
ブランディング	21,785千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光マスターブランドの市民「認知・理解」の継続的促進と共創への取組み</li> <li>ブランド戦略に基づくプロモーションの推進と誘客強化</li> </ul>

1 市内向け浸透・理解促進に向けた取組み 15,655千円

### (1) 令和5年度の主な取組み



#### ア. 観光マスターブランドの認知・理解促進

令和4年度に立ち上げた長崎市観光マスターブランドについて、市民の認知・理解の促進を図った。

- 市民向け冊子の配布、Web記事の配信(『I am 長崎人 ふつうとふしぎの架け橋に』等)
- 市広報物等による発信(広報ながさき、週刊あじさい等)
- 市民が体験できるイベント等の開催(「長崎のふつうは世間のふしぎ」展等)
- 市内交通機関や市庁舎での告知



暮らしのそばに、ほら世界。



イ. ブランドを活かした誘客プロモーションの実施 ⇒国内プロモーション(P.44)参照

取組み	予算(物件費+人件費)	方針
ブランディング	21,785千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光マスターブランドの市民「認知・理解」の継続的促進と共創への取組み</li> <li>ブランド戦略に基づくプロモーションの推進と誘客強化</li> </ul>

## (2) 課題

市民の認知と理解、一層の浸透と共創へ向けて、情報発信を継続し接点を増やしていく必要がある。

## (3) 令和6年度の主な取組み

### ア. ブランドの浸透・理解及びビジネスへの活用促進

- 認知・基本理解促進のためのコミュニケーション施策（WEB記事制作、シネアド(映画館での動画上映)など）
- Instagram、play mag等を活用した関心層に向けた講座の実施
- 学びの場の提供
- 屋外広告(ラッピングバス、市内交通機関への広告出稿)



## 2 県外向けとの連動施策 2,880千円

ア. 市外・県外向けのブランディングについては、基本的に国内プロモーションと合わせて行っていくが、令和6年度からは、新たに写真を活用した市民・訪問客等参加型プロモーションの展開と誘客プロモーションを実施。

## 5. 事業内容

### 基本方針

国内観光・MICEとインバウンドの本格的な誘客拡大に戦略的に取り組むとともに、事業者等と連携した魅力づくりと受入態勢等の強化により、訪問客の満足度向上と旅行消費拡大を図る。(長崎スタジアムシティ開業、長崎駅周辺整備等の効果を最大化)

### ブランディング

- 観光マスターブランドの市民「認知・理解」の継続的促進と「共創」への取り組み
- ブランド戦略に基づくプロモーションの推進と誘客強化

### マーケティング

- インバウンド動向に対応した包括的マーケティングリサーチの強化
- 地域マネジメントにおける地域共創基盤の活性化

### 市場別方針

#### 国内

- 観光マスターブランドをハブとした戦略的なプロモーションと誘致の推進
- 環境等に配慮した持続可能な観光推進による新たな顧客の創造

#### インバウンド

- ターゲットに応じた誘致・広域連携の推進とデジタルプロモーションを中心とした訪日・長崎旅行の期待感の醸成、訪問意欲の向上
- インバウンドの訪問客満足度の向上と消費拡大のための受入態勢の強化

#### MICE

- DMO、長崎市、(株)ながさきMICE連携による戦略的な提案・セールスの強化
- 「まちMICE」の推進と地元事業者で完結できる運営体制—地元完結型PCOの構築

#### 修学旅行

- 歩けるまちとSDGsのPRによる新規校の獲得と新しい平和学習のPRによるリピート校の獲得
- 滞在学習の満足度向上と事業者のビジネスチャンスの創出

取組み	予算(物件費+人件費)	方針
-----	-------------	----

## マーケティング

18,960千円

- インバウンド動向に対応した包括的マーケティングリサーチの強化
- 地域マネジメントにおける地域共創基盤の活性化

### 1 包括的マーケティングリサーチ(インバウンド強化分) 5,334千円

#### (1) 令和5年度の主な取組み

##### ア. マーケティング調査等の実施と活用

- 訪問客やMICE参加者・主催者、事業者等を対象として各種動向調査や満足度調査、ビッグデータの収集を継続的に実施し、事業計画への反映や事業推進等に活用した。

	内容	目的	手法	サンプル数
1	国内ブランド調査	旅先決定の要因や長崎市の訪問意欲、イメージなどの把握	インターネット調査 (楽天インサイト)	国内1,000人
2	観光客動向分析調査	長崎市を訪れる訪問客の特性や満足度、消費額等の把握	WEB調査 (チラシより回答フォーム誘導)	国内の訪問客 1,500人 海外の訪問客 500人 クルーズ船 600人
3	市内関連事業者調査	市内事業者からみた市の観光施策やDMOの取組みに対する評価の把握	郵送にて質問票を配布 FAX・WEBによる回答	120事業者
4	MICE調査【主催者】	長崎市の主要MICE施設における主催者経費の把握、年間の経済波及効果を算定	アンケート調査	50者
5	MICE調査【参加者】	MICE参加者の満足度、催事の課題を把握し、改善に向けた取組みへ反映	アンケート調査	1,000人
6	市民アンケート調査	市が進める観光まちづくりの印象や他の人へのお勧め度合いなどの把握	インターネット調査 (楽天インサイト)	国内500人
7	訪問客移動データの収集・分析	GPS位置情報や検索情報等のデータによる訪問客の定量分析や関心度分析	国内:ヤフー(株)「DS.INSIGHT」 海外データ:(株)ドコモ「インサイトマーケティング」	

取組み	予算(物件費+人件費)	方針
-----	-------------	----

## マーケティング

18,960千円

- インバウンド動向に対応した包括的マーケティングリサーチの強化
- 地域マネジメントにおける地域共創基盤の活性化

1 包括的マーケティングリサーチ(インバウンド強化分) 5,334千円

### (2) 分析・課題

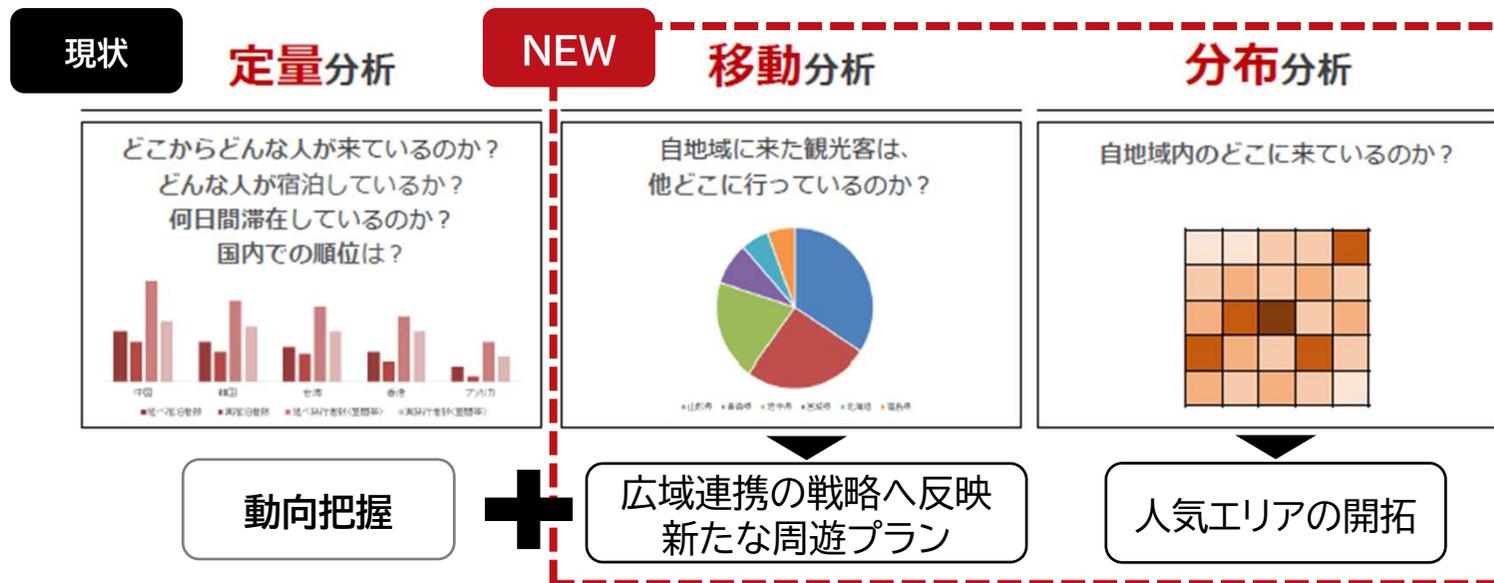
ア. 観光動向調査・市内観光関連事業者調査等の調査に加え、移動・検索データ等ビッグデータの活用により、定期的な観光動向の把握・分析や定期レポートの発行など、市内事業者に対して情報共有が図られている。

イ. コロナ禍からの訪問客の回復、特に急速なインバウンド需要の増加に対応するために、当該データを活用しPDCAサイクルをより高速で回していく必要がある。

### (3) 令和6年度の主な取組み

#### ア. インバウンド動向分析のための新規データ購入

【購入データ】モバイル空間統計®(株式会社ドコモ・インサイトマーケティング)

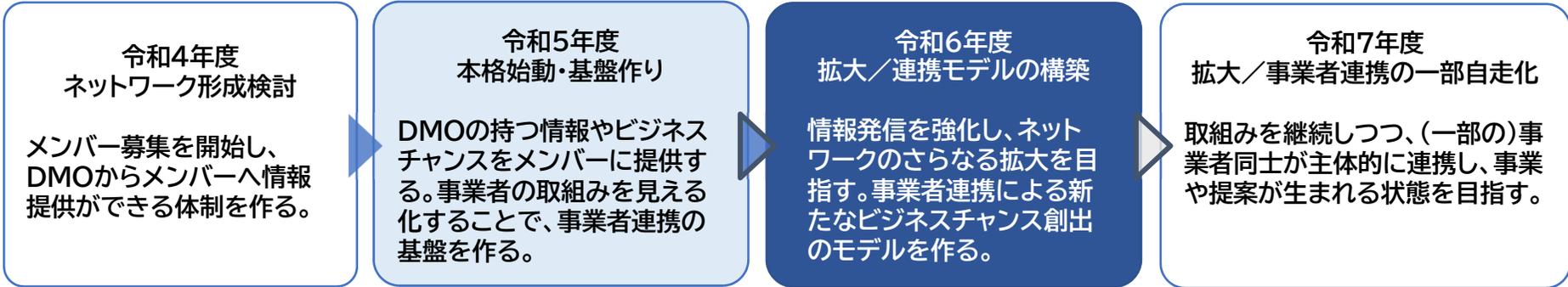


取組み	予算(物件費+人件費)	方針
-----	-------------	----

**マーケティング** 18,960千円

- インバウンド動向に対応した包括的マーケティングリサーチの強化
- 地域マネジメントにおける地域共創基盤の活性化

**2 長崎市観光まちづくりネットワーク活性化支援 13,626千円**



**(1) 令和5年度の主な取組み**

【メンバー登録者数】 **196名** = 目標達成率 **98%** (目標:200名) ※R6年2月1日時点

**ア. メンバー限定セミナー、フィールドワーク等の実施**

- 実施回数:7回
- 参加者満足度(交流会・意見交換会) 91.7%

**イ. メンバーへの情報発信**

- イベントレポートやメンバーの取組み紹介
- セミナーのアーカイブ公開
- マーケティング情報の公開



意見交換会



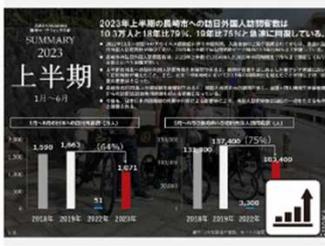
長崎スタジアムシティ視察



データ分析ワークショップ



メンバー取材



インバウンドデータ公開

取組み	予算(物件費+人件費)	方針
-----	-------------	----

**マーケティング** 18,960千円

- インバウンド動向に対応した包括的マーケティングリサーチの強化
- 地域マネジメントにおける地域共創基盤の活性化

2 長崎市観光まちづくりネットワーク活性化支援 13,626千円

**(2) 課題**

ネットワークメンバー同士の協業を促し、より多くのビジネスチャンスを生み出すために、参画メンバーの拡大と、ネットワークに参加するメリットを体感できる施策を充実させていく必要がある。

参加メリット



チャンス  
獲得



パートナー  
拡大



スキル  
アップ

**(3) 令和6年度の主な取組み**

**ア. 紹介リーフレットの作成と案内**

- ① コンベンション協会会員、MICE事業者、商店街組合等への送付、接点を持った事業者への個別配布
- 【制作部数】 500部

**イ. ネットワークメンバーへの情報発信強化**

- ① 個別の情報発信ツールとしてLINEの新規導入
- ② ネットワークの活動やメンバーの取組み紹介記事の制作 (記事制作:30本)



【メンバー限定】意見交換会「長崎に関するデータを一緒に読み解いてみよう」開催レポート



【メンバー限定】長崎から世界へ。メイドインナガサキのスイーツを提案 (アクトフォー株式会社インタビュー)

**ウ. 意見交換会・セミナーの開催**

- ① メンバー間の交流や長崎市の観光動向・マーケティングデータの最新情報を得る場として、意見交換会等を実施する (頻度:2カ月に1回)



**エ. 事業者連携モデルイベントの実施**

- ① 事業者共同出店による物販または飲食イベントを企画・実施する
- ② スタジアムシティの開業効果を波及させるため、大型イベント開催日等に合わせた開催とする



## 5. 事業内容

### 基本方針

国内観光・MICEとインバウンドの本格的な誘客拡大に戦略的に取り組むとともに、事業者等と連携した魅力づくりと受入態勢等の強化により、訪問客の満足度向上と旅行消費拡大を図る。(長崎スタジアムシティ開業、長崎駅周辺整備等の効果を最大化)

### ブランディング

- 観光マスターブランドの市民「認知・理解」の継続的促進と「共創」への取り組み
- ブランド戦略に基づくプロモーションの推進と誘客強化

### マーケティング

- インバウンド動向に対応した包括的マーケティングリサーチの強化
- 地域マネジメントにおける地域共創基盤の活性化

### 市場別方針

#### 国内

- 観光マスターブランドをハブとした戦略的なプロモーションと誘致の推進
- 環境等に配慮した持続可能な観光推進による新たな顧客の創造

#### インバウンド

- ターゲットに応じた誘致・広域連携の推進とデジタルプロモーションを中心とした訪日・長崎旅行の期待感の醸成、訪問意欲の向上
- インバウンドの訪問客満足度の向上と消費拡大のための受入態勢の強化

#### MICE

- DMO、長崎市、(株)ながさきMICE連携による戦略的な提案・セールスの強化
- 「まちMICE」の推進と地元事業者で完結できる運営体制—地元完結型PCOの構築

#### 修学旅行

- 歩けるまちとSDGsのPRによる新規校の獲得と新しい平和学習のPRによるリピート校の獲得
- 滞在学習の満足度向上と事業者のビジネスチャンスの創出

市場	予算(物件費+人件費)	方針
----	-------------	----

国内

43,327千円

- 観光マスターブランドをハブとした戦略的なプロモーションと誘致の推進
- 環境等に配慮した持続可能な観光推進による新たな顧客の創造

1 ターゲットに応じたきめ細やかなプロモーション 24,625千円

### (1) 令和5年度の主な取組み

ア. 長崎市観光マスターブランドを軸に、大都市圏へのブランド訴求及び関西以西において、新幹線開業による誘客効果を継続訴求し、誘客と消費拡大に寄与するクロスメディアプロモーションを実施した。

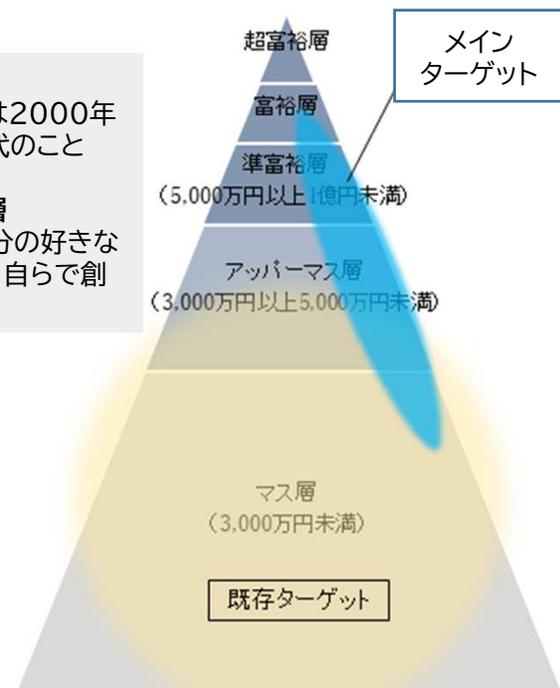
- ・ シーズン訴求:四季折々の楽しみ方を紹介するとともに、長崎の多面的で重層的な魅力の発信
- ・ コンテンツ訴求:世界新三大夜景やふたつの世界遺産、恐竜パーク、魚を中心としたグルメ、体験コンテンツ等を重点的に紹介
- ・ イベント訴求:長崎ランタンフェスティバルや帆船まつり等の情報発信

イ. プロモーションのターゲット設定については、マス層のほか、主にZ世代※1、クリエイティブクラス層※2を継続したメインターゲットとし、デジタルプロモーションを中心としながら、ライフスタイル系雑誌等のターゲットとの親和性の高いメディアと連携した訴求を行った。



※1:Z世代  
概ね1990年代中盤(または2000年代序盤)以降に生まれた世代のこと

※2:クリエイティブクラス層  
社会の仕組みに屈せず、自分の好きなことや好きなものを通して、自らで創造している人々



### (2) 分析・課題

- ア. 令和4~5年度のプロモーションエリアからの来訪が伸びており、新幹線開業等の影響と相まってプロモーションが奏功していると考えられる。
- イ. スタジアムシティの開業等商業的トピックスと本質的な長崎の価値訴求を組み合わせ、エリア毎、ターゲット毎に細分化した訴求が必要。
- ウ. 検索ボリュームが中京圏において多い傾向がある。

市場	予算(物件費+人件費)	方針
----	-------------	----

国内

43,327千円

- 観光マスターブランドをハブとした戦略的なプロモーションと誘致の推進
- 環境等に配慮した持続可能な観光推進による新たな顧客の創造

### (3) 令和6年度の主な取組み

## 令和6年度プロモーションテーマ 「ふしぎに出会う旅」

長崎市観光マスターブランドを軸に、長崎市が持つ特有な価値“ふしぎ”を訴求、来訪したくなる、共感したくなる動機づくりを行う。



### ■ シーズンの設定とプロモーションスケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
春	夏		秋			冬		春			
■ 観光公式サイト・SNS「travel nagasaki」での取材と記事制作および公開											
■ WEB広告素材制作											
■ WEB広告出稿(静止画、動画/シーズン訴求・イベント集客)											
■ グルメサイト「ナガサキ飯」を活用した情報発信											
メディア招聘 Z世代			メディア出稿 クリエイティブクラス層 /富裕層			メディア出稿 クリエイティブクラス層 /富裕層			メディア招聘 クリエイティブクラス層 マス層		
										TVCM放送   ランタン	

# 【参考資料】「travel nagasaki」サイトとinstagramの活用について

訪問客一人ひとりのニーズに対応したワンストップWEBサイトの運用を軸に、SNSとも連動させ情報の発信と取得が双方で行われる仕組み



クロスメディアプロモーションでの周知

WEB広告  
  
 ■ターゲット  
 ・Z世代  
 ・クリエイティブクラス  
 ・マス

既存媒体広告・招聘

誘導

訪問客に向け、2つの「travel nagasaki」によりワンストップで旅マエ～旅アトの情報取得を容易に！

R4.9.20 公開  
 ワンストップで情報取得できるサイト  
 「travel nagasaki」  
<https://www.at-nagasaki.jp/>  
 平均月間ユーザー198,900人  
 (R5年度同期比193%)

長崎市と訪問客が相互に長崎のGOODを発信しあう  
**Instagram**  
 @travel nagasaki  
 フォロワー数:10,825  
 (R5年度末比 261.9%)

情報連携

Z世代、クリエイティブクラス、マスをターゲットとした記事掲載

公開した記事は、**長崎県(外国語版含)**及び九州観光機構サイトに連携される

掲載記事のイメージ

誘導

サイトには**3つの課題解決機能**を付加

- ①AIチャットボット  
  
 閲覧者の質問に回答し、情報取得満足度を向上。
- ②WEB接客システム  
  
 サイト閲覧者に体験や飲食などおすすめ情報をPOPUP形式で提案。消費の拡大を狙う。
- ③ユーザー生成コンテンツ  
  
 Instagram投稿機能を活用し、訪問客それぞれの長崎体験を拡散、ファン化を狙う。

旅ナカの消費拡大に繋げる PNNNNN 外部コンテンツサイトへ誘導 play nagasaki

市場	予算(物件費+人件費)	方針
----	-------------	----

国内

43,327千円

- 観光マスターブランドをハブとした戦略的なプロモーションと誘致の推進
- 環境等に配慮した持続可能な観光推進による新たな顧客の創造

## 2 旅ナカの満足度を高める受入態勢強化 9,477千円

### (1) 令和5年度の主な取組み

**play nagasaki**

#### ア. 体験コンテンツWEBサイト「play nagasaki」の情報発信強化(R6.1.31時点)

WEBサイト閲覧数	WEBサイト訪問者数	商品掲載数	体験コンテンツ集客・売上実績
124,738	50,929	96件	①集客数 149,920人 ②消費額607,171千円
対前年比 88.8% 目標進捗率 103.1%	対前年比 98.8% 目標進捗率 113.2%	対前年比 135.2% 目標進捗率 120.0%	①対前年同期比 124.6% ②対前年同期比 130.1%

#### イ. 長崎市体験WEBマガジン「play mag」の情報発信強化(R6.1.31時点)

- Z世代に絶大な人気を誇る長崎県出身のイラストレーター ヨシフクホノカ氏を起用した
- アートワークと取材記事による情報発信強化 計5記事(閲覧数:2,542)
- 市内事業者によるおススメの紹介記事 計2記事(閲覧数:249)
- DMOスタッフによる事業者紹介記事 計7記事(閲覧数:1,010)



#### ウ. 口コミマーケティング支援

有効なGoogleビジネスプロフィール(GBP)活用を目的とした事業者向けセミナーの開催(3回、延べ参加者数78名)  
→セミナー参加者の70%が情報更新に意欲的と回答。7事業者が新たにオーナー登録を完了

### (2) 課題

ア. 体験コンテンツに関して、聴取可能な事業者の集客及び売上額は、対前年同期比130%と大きく上回っているものの、コロナ前と比較すると約80%程度となっている。現代の訪問客の欲求を満たすコンテンツ造成や楽しみ方の訴求を行い、消費回復を底上げしていく必要がある。

イ. GBPに関して、長崎市内の宿泊施設60事業者と飲食店(レストラン)60件をDMOで独自調査したところ、宿泊事業者でオーナー登録済の事業者が51件(85%)に対し、飲食店(レストラン)は30件(50%)であった。旅ナカにおける消費の核となる飲食事業者への更なる啓蒙と理解促進が求められる。

市場	予算(物件費+人件費)	方針
国内	43,327千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光マスターブランドをハブとした戦略的なプロモーションと誘致の推進</li> <li>環境等に配慮した持続可能な観光推進による新たな顧客の創造</li> </ul>

2 旅ナカの満足度を高める受入態勢強化 9,477千円

### (3) 令和6年度の主な取組み

#### ア. 口コミマーケティング

事業者のファン＝長崎市のファンとなるマーケティング施策により、旅ナカの消費に繋げる。

##### 【事業内容】

- ・セミナー実施
- ・Googleビジネスプロフィール登録、活用支援



#### イ. 旅ナカパンフレットの作成

長崎市の定番であり、訪問客のイメージが強い「食のコンテンツ」について特化型のパンフレットを作成。パンフレットだけでなく、市民のSNS等の自発的な情報発信を促すことで、旅ナカの消費に繋げる。

##### 【事業内容】

- ・パンフレット制作(10,000部)
- ・制作に係る企画、取材、撮影



#### ウ. 体験コンテンツWEBサイト「play nagasaki」での情報発信

##### ①掲載コンテンツの拡大

自らコンテンツを掲載できる事業者を増やし、サイト内の掲載内容を充実させることで、旅マエ、旅ナカの訪問客の選択肢を増やし、消費に繋げる。

##### 【事業内容】

- ・事業者説明会実施

##### ②情報発信

ヨシフクホノカ氏を継続起用し、Z世代を中心とした若年層へのアプローチを強化する。また、ファンとの繋がりの深いインフルエンサーを起用し動画による情報発信を行う。

##### 【事業内容】

- ・ヨシフクホノカ氏イラスト制作(年3回)
- ・縦型動画を活用した情報発信(年8回)
- ・DMOによる事業者紹介記事(年8回)



市場	予算(物件費+人件費)	方針
----	-------------	----

国内

43,327千円

- 観光マスターブランドをハブとした戦略的なプロモーションと誘致の推進
- 環境等に配慮した持続可能な観光推進による新たな顧客の創造

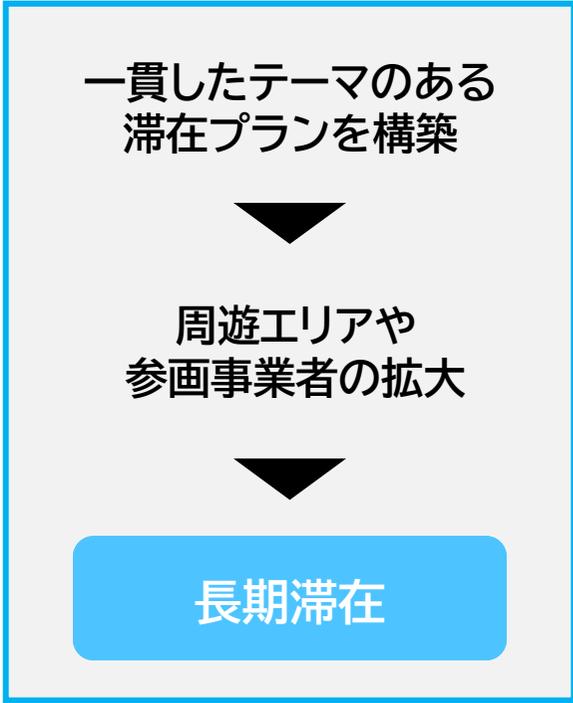
3 長崎市版サステナブルツーリズムの推進 8,625千円 【全市場共通】

目指す姿

UNWTO(国連世界観光機関)やJNTO(日本政府観光局)において取組みを強化しているサステナブルツーリズム推進の方針に沿いながら、「訪問客・市内事業者・市民がともにwin-win-winであり続ける観光まちづくり」に取り組むことで、**長崎市の価値を高め、収益を守り、発展し続けられる仕組み**をつくる。

地域資源・体験コンテンツ

SDGsの視点



市場	予算(物件費+人件費)	方針
国内	43,327千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光マスターブランドをハブとした戦略的なプロモーションと誘致の推進</li> <li>● 環境等に配慮した持続可能な観光推進による新たな顧客の創造</li> </ul>

### 3 長崎市版サステナブルツーリズムの推進 8,625千円【全市場共通】

#### (1) 令和5年度の主な取組み

市民や事業者の意見を参考とした具体的な滞在モデルの構築(想定6日間モデルコースの1日目を作成)

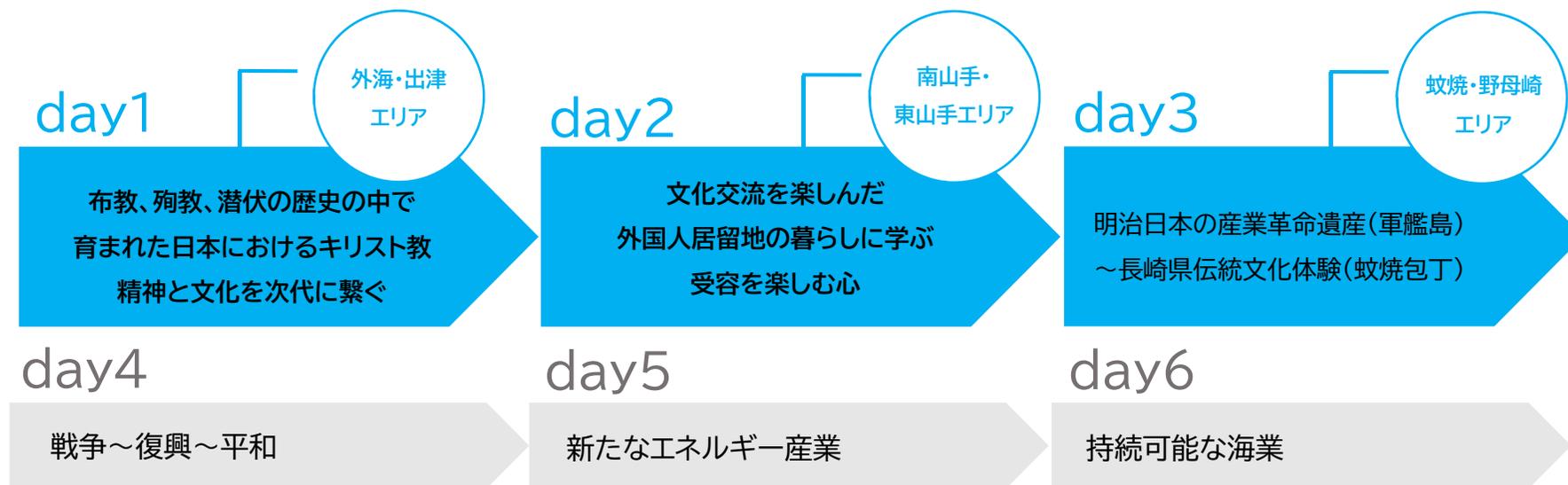


市場	予算(物件費+人件費)	方針
国内	43,327千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光マスターブランドをハブとした戦略的なプロモーションと誘致の推進</li> <li>● 環境等に配慮した持続可能な観光推進による新たな顧客の創造</li> </ul>

3 長崎市版サステナブルツーリズムの推進 8,625千円【全市場共通】

(3) 令和6年度の主な取組み

更なるコンテンツの磨き上げとモデルプランの拡大(想定6日間モデルコースの2日目以降を造成)



インバウンド有識者を招聘し、  
コンテンツを磨き上げる事業者会議を実施



令和5年度はインバウンド  
有識者未招聘



令和6年度はコンテンツの  
量と質をあげるため招聘

モデルプランの拡大



モデルプランを増やし、  
長期滞在の受入環境を  
整備する

## 5. 事業内容

### 基本方針

国内観光・MICEとインバウンドの本格的な誘客拡大に戦略的に取組むとともに、事業者等と連携した魅力づくりと受入態勢等の強化により、訪問客の満足度向上と旅行消費拡大を図る。(長崎スタジアムシティ開業、長崎駅周辺整備等の効果を最大化)

### ブランディング

- 観光マスターブランドの市民「認知・理解」の継続的促進と「共創」への取組み
- ブランド戦略に基づくプロモーションの推進と誘客強化

### マーケティング

- インバウンド動向に対応した包括的マーケティングリサーチの強化
- 地域マネジメントにおける地域共創基盤の活性化

### 市場別方針

#### 国内

- 観光マスターブランドをハブとした戦略的なプロモーションと誘致の推進
- 環境等に配慮した持続可能な観光推進による新たな顧客の創造

#### インバウンド

- ターゲットに応じた誘致・広域連携の推進とデジタルプロモーションを中心とした訪日・長崎旅行の期待感の醸成、訪問意欲の向上
- インバウンドの訪問客満足度の向上と消費拡大のための受入態勢の強化

#### MICE

- DMO、長崎市、(株)ながさきMICE連携による戦略的な提案・セールスの強化
- 「まちMICE」の推進と地元事業者で完結できる運営体制—地元完結型PCOの構築

#### 修学旅行

- 歩けるまちとSDGsのPRによる新規校の獲得と新しい平和学習のPRによるリピート校の獲得
- 滞在学習の満足度向上と事業者のビジネスチャンスの創出

市場	予算(物件費+人件費)	方針
インバウンド	20,844千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ターゲットに応じた誘致・広域連携の推進とデジタルプロモーションを中心とした訪日・長崎旅行の期待感の醸成、訪問意欲の向上</li> <li>● インバウンドの訪問客満足度の向上と消費拡大のための受入態勢の強化</li> </ul>

## 1 誘致・プロモーション 12,294千円

### (1) 令和5年度の主な取組み

#### ア. 韓国・釜山における営業・セールス

長崎市釜山事務所と合同セールスを実施するほか、「釜山夜景サミット」における旅行商品化・素材提案  
⇒ インセンティブ旅行において、約900名の集客(予定を含む)等を図った。

#### イ. 商談会でのセールス

- ・ 九州観光機構主催のインバウンド商談会(欧米豪を中心とした旅行会社・ランドオペレーターとの商談)
- ・ 日本政府観光局主催のベトナム・インセンティブ商談会(モデルコースや長崎スタジアムシティを素材としてセールス実施)

#### ウ. アメリカ「米国系学習型ツアー」の企画・実施

戸石とらふぐ養殖場体験を含むツアーを実施し、11本の催行・79名が参加

#### エ. 繁体語圏へのプロモーション

- ・ 長崎県文化観光国際部と連携し、「ラーチーゴー日本」サイトを活用したデジタルプロモーション
- ・ 「とりっぴきっぷ」を活用した福岡空港からのプロモーション

#### オ. 欧米豪向けプロモーション

世界水泳開催を契機とし、福岡市等と連携したデジタルプロモーション専用WEBサイト「Fukuoka Kyushu Travel Guide」に、軍艦島等の長崎市の観光素材を掲載



### (2) 分析・課題

ア. マーケティング調査に基づいて属性を細分化し、スポットのほか宿泊、体験、グルメ、ストーリーといった着地の情報をきめ細かに訴求することで、特に富裕層に対して滞在時間延長や消費拡大の実現を目指す。

イ. 2025年大阪・関西万博の開催を契機として、福岡市ほか他市との連携を強化する。

市場	予算(物件費+人件費)	方針
インバウンド	20,844千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ターゲットに応じた誘致・広域連携の推進とデジタルプロモーションを中心とした訪日・長崎旅行の期待感の醸成、訪問意欲の向上</li> <li>● インバウンドの訪問客満足度の向上と消費拡大のための受入態勢の強化</li> </ul>

### (3) 令和6年度の主な取組み

#### ア. ターゲット国・訪問客動向に応じたデジタルプロモーション

##### ①繁体字圏(台湾・香港)市場向け

日本慣れしている訪問客  
(台湾人訪日客の8割以上がリピーター)

##### 定番ではないコンテンツの訴求

体験をキーに“島”にフォーカス

- ・ 島ならではの過ごし方
- ・ 茂木や牧島といった漁村ととらふぐなどの魚

【連携先】長崎県文化観光国際部、長崎県観光連盟  
【媒体】ジューリーメディア

##### ②欧米豪市場向け

長期滞在型・初訪日が全体の7割

##### メジャーなスポット・コンテンツの訴求

- ・ 「西日本・九州ゴールデンルートアライアンス」との連携強化
- ・ 広島と連携した平和コンテンツの発信
- ・ 日本在住の外国人コミュニティと日本や東京のユニークな情報を求めている層に対する訴求

【連携先】福岡市、広島市、長崎県観光連盟  
【媒体】TOKYO WEEKENDER、海外OTA等

※OTA：インターネット上だけで取引を行う旅行会社

#### イ. 営業・セールス

- ① プロモーションと連動しながら、欧米豪・アジアの主要国からの旅行単価の高いインバウンドの誘致を目指す

##### 【事業内容】

関係機関(JNTO、九州観光機構、長崎県等)と連携した国内や海外での現地セールス、商談会参加

市場	予算(物件費+人件費)	方針
インバウンド	20,844千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>ターゲットに応じた誘致・広域連携の推進とデジタルプロモーションを中心とした訪日・長崎旅行の期待感の醸成、訪問意欲の向上</li> <li>インバウンドの訪問客満足度の向上と消費拡大のための受入態勢の強化</li> </ul>

## 2 旅ナカの満足度を高める受入態勢強化 5,347千円

### (1) 令和5年度の主な取組み

#### ア. 多言語版飲食店サイト「EAT NAGASAKI」の運用

飲食店等が日本語のウェブシステムを利用し、外国語でメニュー作成等ができる「EAT NAGASAKI」を運用し、インバウンド消費の促進を図った。(外国人向け店舗検索サイト掲載店舗数 約300店舗)

#### イ. Googleビジネスプロフィールの導入促進

Googleビジネスプロフィールの導入・活用を促すことで、国内外の訪問客の旅ナカにおける消費拡大につながるよう、市内事業者の受入強化を図った。

#### ウ. インバウンドに対応した事業者等の受入強化

ベジタリアンやヴィーガン等の対応の基礎知識や対応方法等のセミナーを飲食事業者向けに実施したほか、フィールドワークとして、松ヶ枝ターミナルにおけるクルーズ客船受入の視察・座学等を行い、インバウンドへの事業者等の受入強化を図った。

#### エ. クルーズ客船の乗船者等への「ながさき観光きっぷ」の販売促進

クルーズ客船の到着時における観光施設周遊ツール「ながさき観光きっぷ」の販売を行い、旅ナカでの満足度向上と消費拡大を促した。



### (2) 分析・課題

ア. インバウンドの増加に伴い、飲食店等における多言語及び多様化対応が必要。多言語対応を支援するツールとして「EAT NAGASAKI」を運用しているが、コロナ禍を経て、既存情報のアップデートや事業者の活用促進に向けた取組みが不足している。

イ. インバウンド対応のガイドが不足している。訪問客の満足度向上に向け、英語ガイドの現状調査や育成が必要。

市場	予算(物件費+人件費)	方針
インバウンド	20,844千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>ターゲットに応じた誘致・広域連携の推進とデジタルプロモーションを中心とした訪日・長崎旅行の期待感の醸成、訪問意欲の向上</li> <li>インバウンドの訪問客満足度の向上と消費拡大のための受入態勢の強化</li> </ul>

### (3) 令和6年度の主な取組み

#### ア. 飲食店における食の多様化への対応支援

- ① 多言語メニュー作成サイト「EAT NAGASAKI」の登録・活用促進

##### 【事業内容】

- 事業者向け理解促進セミナーの実施(1回)
- 掲載店情報管理、情報取得、調査
- 既存登録事業者への更新サポート(200件)
- 新規登録事業者への登録サポート(30件)



- ② ムスリム、ハラル、ビーガン、アレルギー等の多様化する食のニーズに対応した市内事業者の現状を把握するための調査実施と、クルーズ客や国際学会等での来訪者に向けて市内の対応飲食店情報を発信するツールを制作

##### 【事業内容】

- 食の多様化対応把握のための現状調査
- ツール制作、印刷(3,000部)
- ※対応店舗を記載したマップを想定

#### イ. 多様なニーズに対応できる英語ガイドの育成

- ① 英語対応可能なガイド育成のための3ヶ年計画(令和6年～令和8年)を策定し、英語ガイド育成強化に必要なセミナーや現状調査等を行う

##### 【事業内容】

- 英語ガイド意思確認調査
- 英語ガイド基礎セミナーの開催
- ガイド育成に係る3カ年計画の策定



## 5. 事業内容

### 基本方針

国内観光・MICEとインバウンドの本格的な誘客拡大に戦略的に取り組むとともに、事業者等と連携した魅力づくりと受入態勢等の強化により、訪問客の満足度向上と旅行消費拡大を図る。(長崎スタジアムシティ開業、長崎駅周辺整備等の効果を最大化)

### ブランディング

- 観光マスターブランドの市民「認知・理解」の継続的促進と「共創」への取り組み
- ブランド戦略に基づくプロモーションの推進と誘客強化

### マーケティング

- インバウンド動向に対応した包括的マーケティングリサーチの強化
- 地域マネジメントにおける地域共創基盤の活性化

### 国内

- 観光マスターブランドをハブとした戦略的なプロモーションと誘致の推進
- 環境等に配慮した持続可能な観光推進による新たな顧客の創造

### インバウンド

- ターゲットに応じた誘致・広域連携の推進とデジタルプロモーションを中心とした訪日・長崎旅行の期待感の醸成、訪問意欲の向上
- インバウンドの訪問客満足度の向上と消費拡大のための受入態勢の強化

### MICE

- DMO、長崎市、(株)ながさきMICE連携による戦略的な提案・セールスの強化
- 「まちMICE」の推進と地元事業者で完結できる運営体制—地元完結型PCOの構築

### 修学旅行

- 歩けるまちとSDGsのPRによる新規校の獲得と新しい平和学習のPRによるリピート校の獲得
- 滞在学習の満足度向上と事業者のビジネスチャンスの創出

### 市場別方針

市場	予算(物件費+人件費)	方針
----	-------------	----

MICE

9,653千円

- DMO、長崎市、(株)ながさきMICE連携による戦略的な提案・セールスの強化
- 「まちMICE」の推進と地元事業者で完結できる運営体制—地元完結型PCOの構築

1 営業・セールス活動 6,086千円

## (1) 令和5年度の主な取組み

ア. 3者( DMO、長崎市、出島メッセ長崎)でターゲットやセールス状況、催事情報など情報共有しながら戦略的な誘致を展開

- ・ 県外(首都圏含む)… 65件 ⇒ R7.3開催の学会誘致(3,000人規模)
- ・ 県内(大学等) … 64件

イ. ヒルトン長崎、長崎マリオットホテルとの連携したMICE誘致体制を構築・強化



ウ. インセンティブツアーについては、インバウンド誘致の取組み(P.53)参照

## (2) 分析・課題

ア. 4施設(出島メッセ長崎、ヒルトン長崎、長崎マリオットホテル、長崎スタジアムシティ)が連携した、面でのMICE開催の魅力のアピールと、より戦略的な誘致セールス

イ. アにおける役割分担の明確化

ウ. 海外向け情報発信力の充実(WEB環境の充実・サステナブルなMICE開催の見える化)

市場	予算(物件費+人件費)	方針
MICE	9,653千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>DMO、長崎市、(株)ながさきMICE連携による戦略的な提案・セールスの強化</li> <li>「まちMICE」の推進と地元事業者で完結できる運営体制—地元完結型PCOの構築</li> </ul>

### (3) 令和6年度の主な取組み

#### ア. 訪問セールスの強化

- ① 首都圏セールス実績から
  - ・可能性の高い主催者へ個別に企画セールス(約20件)
  - ・新規セールス(約100件)
- ② キーパーソンの招聘、商談会への参加

#### イ. 長崎スタジアムシティとの連携、役割分担の明確化

- ① DMOが中心となって各施設(出島メッセ長崎、ヒルトン長崎、長崎マリオットホテル、長崎スタジアムシティ等)と連携したMICE開催・受入ができる具体的内容を提案
- ② 長崎市スタジアムシティ連携推進室、長崎県スポーツ振興課、長崎県スポーツコミッションとの情報交換及び協働での誘致

#### ウ. 英語版サイト改修

- ① タイムリーな情報発信
- ② 情報精度・セキュリティの向上



#### エ. SDGsの可視化

- ① 長崎市をはじめ、関係者のSDGsの取り組みを可視化し、サステナブルで意義の高いMICEの開催実現を見える化



市場	予算(物件費+人件費)	方針
----	-------------	----

MICE

9,653千円

- DMO、長崎市、(株)ながさきMICE連携による戦略的な提案・セールスの強化
- 「まちMICE」の推進と地元事業者で完結できる運営体制—地元完結型PCOの構築

## 2 主催者、参加者の満足度を高める「まちMICE」の取組み推進 3,567千円

### (1) 令和5年度の主な取組み

#### ア. 個別にユニークベニューやアトラクションを企画提案

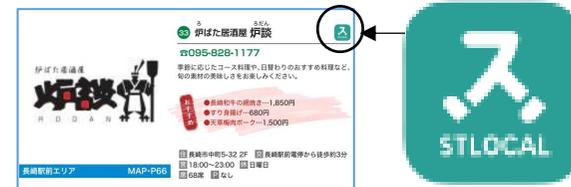
コンベンション名	実施日	ユニークベニュー	内容・アトラクション	規模
日本形成外科学会総会	2023/4/26	出島ワーフ	龍踊、変面、花火	500
JANOG52 nagasaki	2023/7/7	稲佐山プロムナード	カクテル形式の懇親会	1500
日本歯科医師麻酔学会総会	2023/10/7・8	グラバー園	レセプション(バグパイプ) ガラパーティー(変面)	300
メットライフ生命	2023/11/8	長崎県美術館	社内インセンティブ	150

イ. お弁当の大量供給(1,000食以上)を可能とするコンソーシアムを構築  
⇒日本形成外科学会、日本消化器病学会ほか4件 (7,610千円分)

ウ. ヒルトン長崎と大型MICE開催時のケータリングの仕組みを構築

エ. 学会(日本救急看護学会学術集会)の運営以外を全て地元事業者で対応  
長崎市ブランド振興会とも連携した物産展を開催

オ. (株)ゼンリン「STLOCAL(ストローカル)」と連動した冊子を作成



### (2) 分析・課題

ア. MICE開催に伴う様々なサービスを一括して請け負うノウハウが地元事業者には不足している

イ. 催事情報を地元事業者に展開するものの、参加者かどうか認識できない

市場	予算(物件費+人件費)	方針
MICE	9,653千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>DMO、長崎市、(株)ながさきMICE連携による戦略的な提案・セールスの強化</li> <li>「まちMICE」の推進と地元事業者で完結できる運営体制—地元完結型PCOの構築</li> </ul>

### (3) 令和6年度の主な取組み

#### ア. 地元完結型PCOの体制づくり

※PCO:会議開催に係る業務を取り扱う会議運営専門会

- 「長崎MICE事業者ネットワーク」を再構築  
⇒**地元完結型PCOユニット**を作成
- 「MICEサロン」等を開催  
⇒地元事業者間の一体感を醸成



**ワンストップ対応の実現**

#### イ. コングレスバッグの製作

市民や事業者が「MICEのお客様」とひと目で認識

- ⇒**MICEブランドの浸透**
- ⇒「おもてなし」の向上



イメージ



## 5. 事業内容

### 基本方針

国内観光・MICEとインバウンドの本格的な誘客拡大に戦略的に取り組むとともに、事業者等と連携した魅力づくりと受入態勢等の強化により、訪問客の満足度向上と旅行消費拡大を図る。(長崎スタジアムシティ開業、長崎駅周辺整備等の効果を最大化)

### ブランディング

- 観光マスターブランドの市民「認知・理解」の継続的促進と「共創」への取り組み
- ブランド戦略に基づくプロモーションの推進と誘客強化

### マーケティング

- インバウンド動向に対応した包括的マーケティングリサーチの強化
- 地域マネジメントにおける地域共創基盤の活性化

### 国内

- 観光マスターブランドをハブとした戦略的なプロモーションと誘致の推進
- 環境等に配慮した持続可能な観光推進による新たな顧客の創造

### インバウンド

- ターゲットに応じた誘致・広域連携の推進とデジタルプロモーションを中心とした訪日・長崎旅行の期待感の醸成、訪問意欲の向上
- インバウンドの訪問客満足度の向上と消費拡大のための受入態勢の強化

### MICE

- DMO、長崎市、(株)ながさきMICE連携による戦略的な提案・セールスの強化
- 「まちMICE」の推進と地元事業者で完結できる運営体制—地元完結型PCOの構築

### 修学旅行

- 歩けるまちとSDGsのPRによる新規校の獲得と新しい平和学習のPRによるリピート校の獲得
- 滞在学習の満足度向上と事業者のビジネスチャンスの創出

### 市場別方針

市場

予算(物件費+人件費)

方針

修学旅行

7,836千円

- 歩けるまちとSDGsのPRによる新規校の獲得と新しい平和学習のPRによるリピート校の獲得
- 滞在学習の満足度向上と事業者のビジネスチャンスの創出

1 営業・セールス、プロモーション 6,791千円

### (1) 令和5年度の主な取組み

- ア. 新聞記事や旅行関係誌への情報掲載
- イ. 大手旅行会社の教育旅行部署の責任者と人脈を構築
- ウ. 学校、旅行会社向けモニターを実施(2回 15名予定)
- エ. 長崎スタジアムシティホテルへの誘致  
(令和6年度 1校、令和7年度 4校予定)



### (2) 分析・課題

- ア. 長崎ならではの探究学習が十分に知られていない
- イ. 旅行会社等への継続した情報の提供が必要



### (3) 令和6年度の主な取組み

#### 探求学習の理解促進・情報発信機会の創出

- ⇒ 歩けるまちPRによる新規校の獲得
- ⇒ SDGs視点の平和学習PRによる振替校の獲得

#### 【事業内容】

- 誘致相談会の開催(東京・大阪の2回)
- メディア・視察の招聘
- プランニングガイド制作(ダイジェスト版)
- セールス用手提げの制作(10,000枚)

市場

予算(物件費+人件費)

方針

## 修学旅行

7,836千円

- 歩けるまちとSDGsのPRによる新規校の獲得と新しい平和学習のPRによるリピート校の獲得
- 滞在学習の満足度向上と事業者のビジネスチャンスの創出

### 2 滞在学習の満足度を高める受入態勢強化 745千円

#### (1) 令和5年度の主な取組み

- ア. 学習プログラム10テーマのうち体験商品（平和・歴史ガイド、長崎ペーロン体験等）を「travel nagasaki」に掲載し、受注促進につながった。
- イ. 「長崎SDGs平和ワークショップ」を実施



#### (2) 分析・課題

- ア. 長崎SDGs平和ワークショップが、対前年比145%と好調に推移
- イ. ビジネスチャンスの創出・滞在満足度の向上につなげる必要がある。



#### (3) 令和6年度の主な取組み

##### 地元事業者向けのビジネスチャンスの創出・受入態勢強化

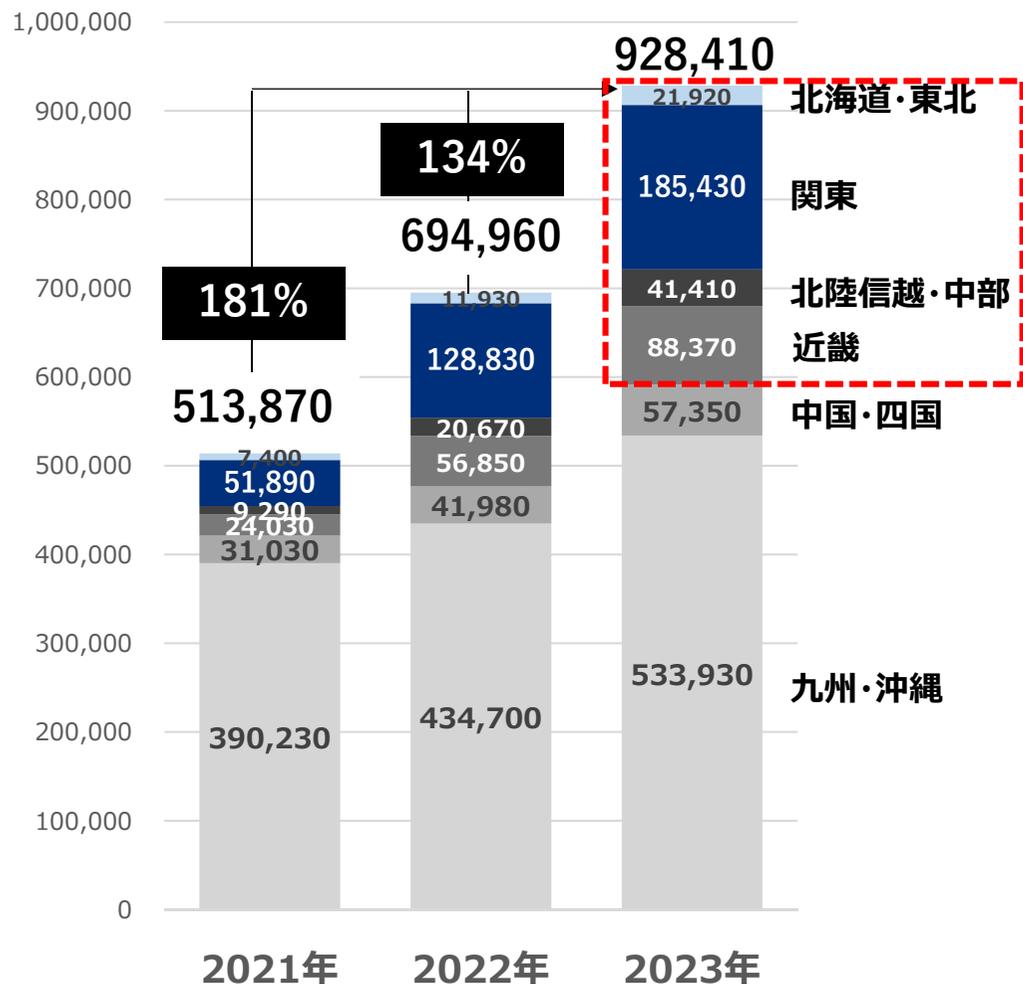
- 修学旅行の現状及び経済効果等に関する地元事業者向けセミナーの開催
- ながさき平和・歴史ガイド向けのスキルアップ研修の実施



# 市場動向・環境変化の整理 (1)国内

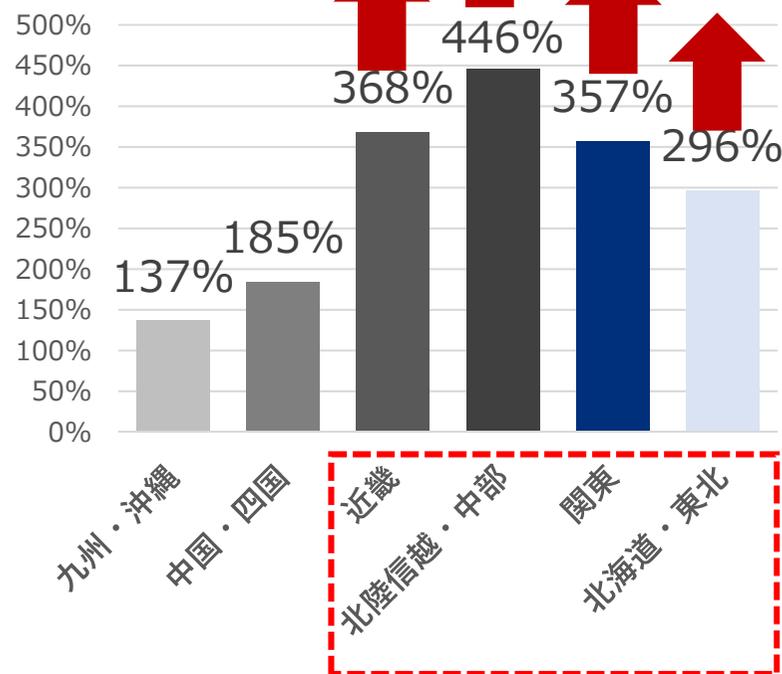
参考

1月～6月の県外から長崎市への訪問客数・ブロック別（千人）



- 地域ブロックでは全てのブロックで前年同期間に比べ増加した。特に北陸信越・中部200%、北海道・東北184%、近畿155%、関東144%と関西以北のブロックでの増加が目立った。

< 2021年同期間 >



## 2023上半期 市場動向・環境変化

- 国内市場は、コロナ前に比べ旅行者数は83%、旅行消費額は97%まで回復し、旅行単価は19年を上回る
- 県外からの長崎市の訪問客数は、前年比134%、21年比181%大幅に増加。特に、消費単価の高い関西以北の大都市圏からの訪問が増加している
- 食の旅の目的化が強まり、現地食ニーズ、コスパ志向により泊食分離が進む
- 県内宿泊増加とアクティビティ予約の定着化が進んでいる

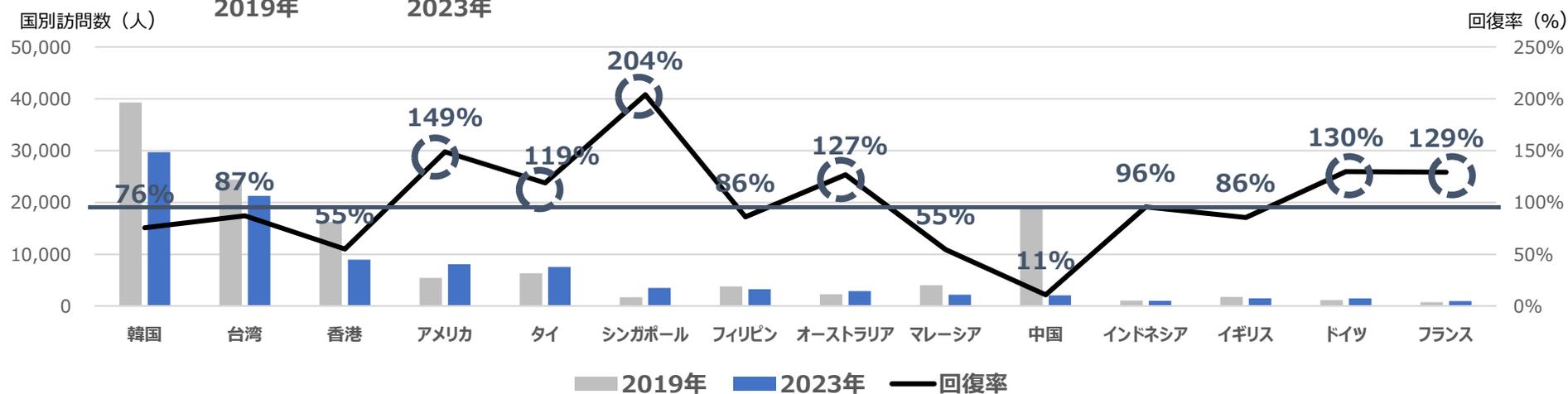
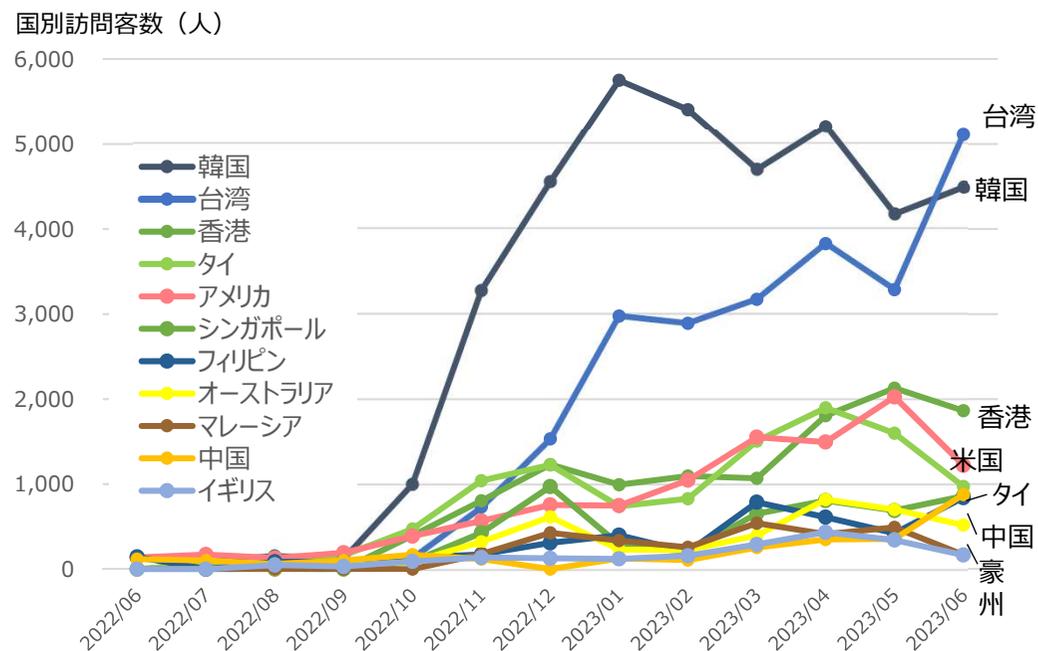
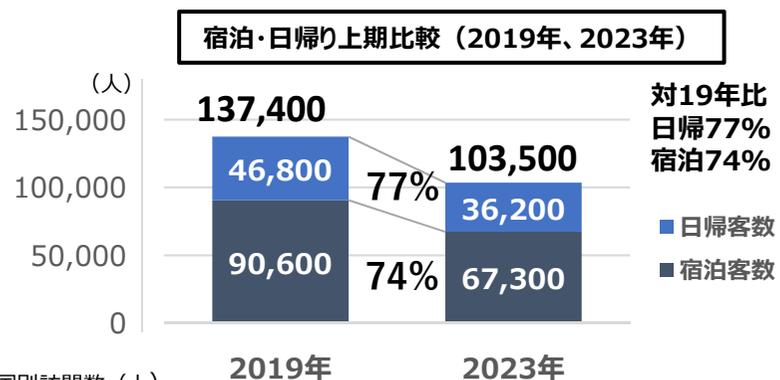
## R6年度の取組み方向性

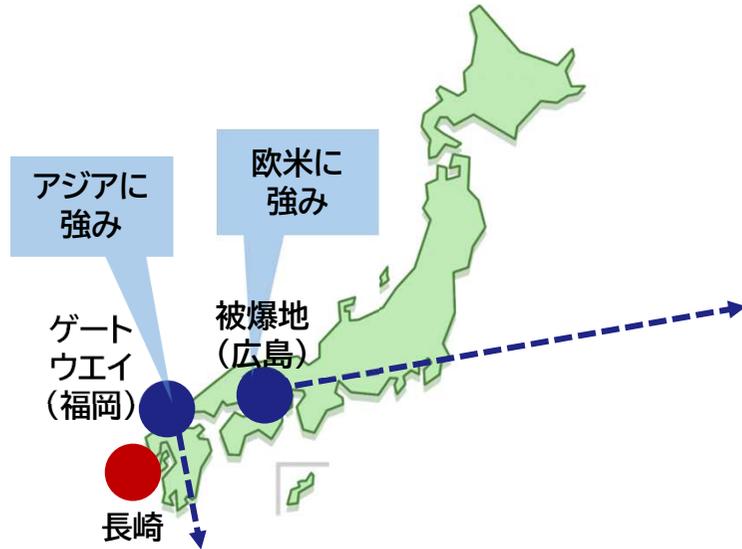
- コロナ前よりも旅行市場が拡大する予測を見据え、「量から質」の施策を推進し、情報発信・受入体制の強化を図る
- 特に、大都市圏の関心層に向けた施策(新規層獲得及び単価増→ファン化)と福岡・佐賀に向けた施策(リピート回数の増加及び単価増)に傾注+県内宿泊ニーズへの対応を図る
- 「長崎市版サステナブルツーリズム」開発等に伴い、泊食分離のニーズの汲み上げと事業者ネットワークとの連携による先を見据えた商品・サービスの造成と高付加価値化に取り組む
- アクティビティ予約の周知と顧客利便性の改善を図る

## 市場動向・環境変化の整理 (2)インバウンド

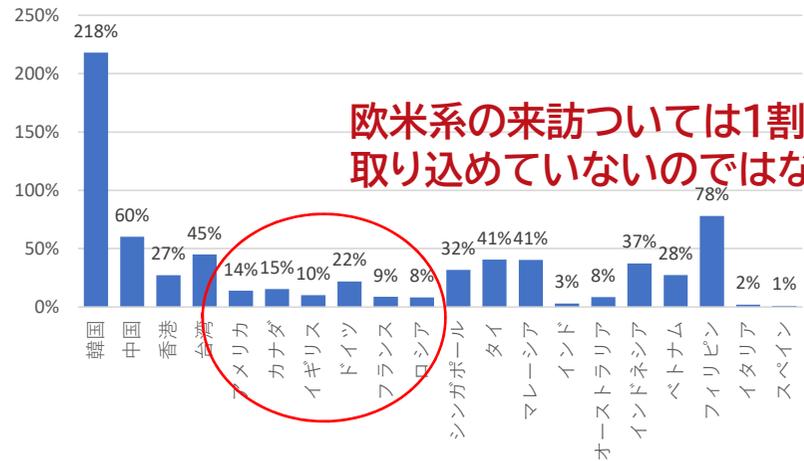
参考

- 2023年上半期の宿泊・日帰りの訪問客を2019年上半期と比べると日帰客数は77%、宿泊客数は74%にまで回復している。
- 国別では2019年ピーク時よりも訪問客が増加している国が、アメリカやタイ、シンガポールなど6か国ある。

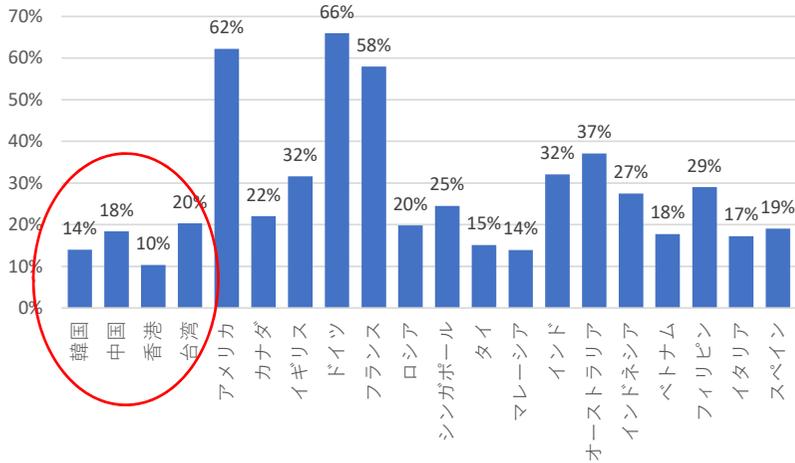




H30年 広島県来訪者数に対する長崎市来訪者数割



H30年 福岡県来訪者数に対する長崎市来訪者数割合



## 戦略方向性

- 強みである欧米豪への更なるアプローチ。実現にあたっては平和(被爆地)、世界遺産などを切り口としたコンテンツ造成とプロモーションを展開。誘客にあたっては九州全体としての取組みも重要
- アジアを中心に長崎空港及び福岡空港エアライン直行便がある地域へのアプローチ

## 2023上半期 市場動向・環境変化

- 2022年10月に新型コロナウイルス感染症に伴う水際対策、入国者数の上限が撤廃されてからは、急速に全国の訪問客数が伸びており、2023年上半期では訪問客数ピーク時の2019年比64%まで回復している
- 長崎市の外国人訪問客数は、19年同時期比で75%まで回復しており、全国(64%)と比べて回復が早い
- 長崎市の2023年上半期実績を地域別で見ると、韓国と台湾からの訪問が多く、全国と同じ傾向で米豪地域からの訪問は2019年同時期を超える実績である
- 今後も、日本行きの国際線の再開や円安による影響等により、外国人訪問客数は回復の一途をたどるものと推察される

## R6年度の取組み方向性

- 本格回復化→コロナ前超に向け、市場特性に合わせた受入体制の強化/広域連携/ガイド育成/HP多言語化(26年大阪万博への布石)
- 本格回復期にある現状の市場別ニーズを来崎ルート、情報収集メディア、滞在目的や行動などを収集・分析し、広域連携の効果的効率的な取組みや戦略の精緻化を図る
- JNTO訪日マーケティング戦略との整合性・連携を図り、特にマスターブランドを軸とした「サステナブルツーリズム」に注力する
- 市場共通項と市場別のニーズを整理し、現状の“日本版の翻訳”から、インバウンド市場別に特化した商品・サービスの造成や受入環境の強化を図る

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
232～233	7 商工費	1 商工費	4 観光費	1-3	MICE推進費	千円 8,456

## 1 概要

DMO、出島メッセ長崎の施設運営者等と連携しながら、長崎市の都市ブランド向上に繋がる政府系会議や国際会議、経済波及効果の高い学会・大会等の誘致に積極的に取り組む。

また、国内外から多くの来訪者が見込まれる政府系会議や国際会議の開催時に、歓迎イベント等を実施するとともに長崎の魅力発信を行うなど、MICE都市としてのブランド力向上に取り組む。

## 2 事業内容

取組み内容	予算額【千円】
<b>MICE誘致・セールス活動等の実施</b>	<b>2,485</b>
政府系会議・国際会議等の誘致・セールスに係る旅費（延べ28人）	2,220
市・DMO・出島メッセ長崎の施設管理者による合同セールスに係る旅費（延べ4人）	265
<b>政府系会議・国際会議開催に伴う歓迎イベント等の実施</b>	<b>4,500</b>
日ASEAN次官級交通政策会合開催に関する費用	1,000
HSR2024に開催に関する費用	3,500
<b>長崎市MICEアンバサダー会議の開催</b>	<b>480</b>
アンバサダー招聘に係る実費弁償（延べ6人）	330
会議開催に伴う経費（印刷製本費等）	150
<b>その他事務費（一般消耗品費、タクシー借上料等）</b>	<b>991</b>
<b>合 計</b>	<b>8,456</b>

### 【日ASEAN次官級交通政策会合】

- (1) 主催者 国土交通省
- (2) 開催期間 令和 6年 6月下旬 (約3日間)
- (3) 会場 出島メッセ長崎 (予定)
- (4) 規模 延500人程度
- (5) 概要 毎年秋に開催される日ASEAN交通大臣会合に向けて開催される次官級の会合。  
国土交通省がASEAN加盟国10か国 (※) の交通担当省等を招き、折々の政策課題や新規プロジェクトの提案等について検討する。毎年春に日本で開催。
- ※ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ及びベトナム

日ASEAN次官級交通政策会合に係る予算	1,555千円
(1) レセプション企画・運營業務委託費	1,000千円
日ASEAN次官級交通政策会合の開催に伴い、おもてなしの一環として、地元主催の歓迎レセプションを実施する。	
(2) 日ASEAN次官級交通政策会合 事前協議に係る旅費	345千円
日ASEAN次官級交通政策会合の開催受入の準備を確実にを行うため、国土交通省と対面による事前協議を実施する。	
(3) その他事務費	210千円

## 【HSR2024（The 8th Global Symposium on Health Systems Research 2024）】

- (1) 主催者 Health Systems Global (HSG)
- (2) 開催期間 令和 6年 11月 18日（月）から 11月 22日（金） 5日間
- (3) 会場 出島メッセ長崎
- (4) 規模 延2,000人～3,000人
- (5) 概要 保健医療制度の世界最大の学会組織(HSG)が2年毎に開催するシンポジウム。保健行政、研究機関（ロンドン大学等）、国連機関（WHO等）、NGO等が100か国以上から一堂に会し、保健医療制度や政策について、科学的・実務的な視点から議論を交わす。日本では初開催であり、国際会議としても最大規模（※）のもので、長崎大学と国際協力機構（JICA）が共同ホストとして開催。
- ※ 日本で開催される同規模以上の国際会議は全体の7～8%程度で、大都市（東京、京都、横浜）での開催が主。

### HSR2024に係る予算

3,500千円

#### (1) バナー・懸垂幕の製作・設置

2,100千円

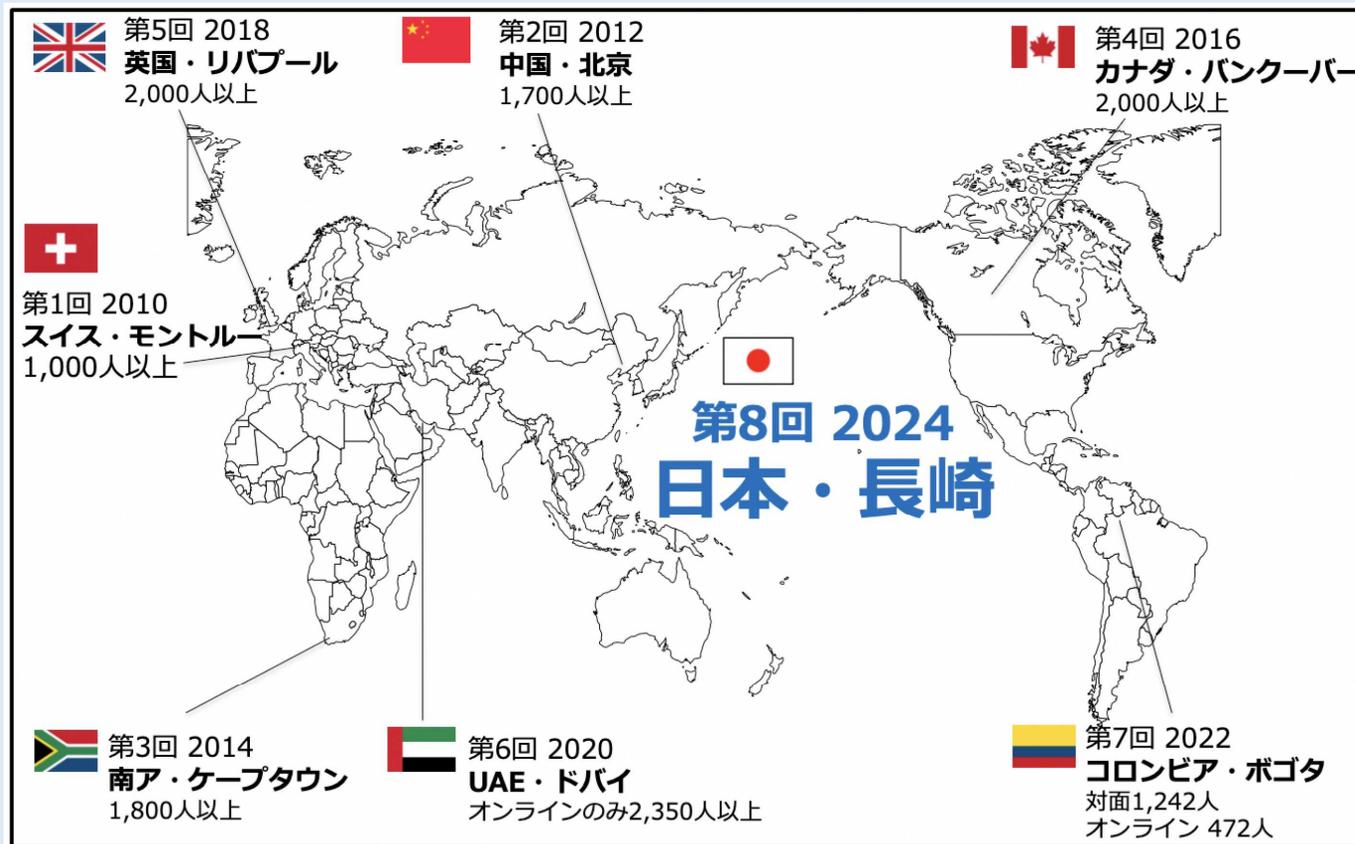
市民の機運醸成及び参加者の歓迎の意味を込めて、バナー等を会場周辺に設置する。

#### (2) レセプションブースの設置及び運営

1,400千円

歓迎レセプションにおいて、長崎市の魅力を発信するブースを設置するとともに、長崎の歴史・文化を知ってもらえる催しを行う。

(5) 開催地



3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 8,456	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 8,456

【今後出島メッセ長崎を会場とする国際会議】

区分	開催時期	催事名称	想定人数（延）
政府系会議	令和6年6月頃	日ASEAN次官級交通政策会合	500人程度
学 会	令和6年9月	Hard Probes 2024	500人未満
	令和6年11月	13th International Conference on Renewable Energy Research and Applications (ICRERA)	3,000人～4,000人
	令和6年11月	HSR 2024	2,000人～3,000人

【Hard Probes 2024（ハード プロ-ブス）】

- ア 正式名称 12th International Conference on Hard and Electromagnetic Probes of High-Energy Nuclear Collisions
- イ 開催期間 令和6年9月22日(日)～27日(金) 6日間
- ウ 概 要 高エネルギー核衝突等に関する国際会議

【ICRERA（アイクレラ）】

- ア 正式名称 13th International Conference on Renewable Energy Research and Applications
- イ 開催期間 令和6年11月9日(土)から11月13日(水) 5日間
- ウ 概 要 太陽光、風力、バイオマス、燃料電池、地熱などの再生可能エネルギー源とその電力変換回路やシステム、さらに省エネ技術に関する国際会議（再生可能エネルギー国際会議）

【これまでに長崎メッセ長崎を会場として開催された国際会議】

区分	利用期間	催事名称	利用者数(延)
学 会	令和4年5月29日～6月2日	AsiaCCS 2022	442人
	令和4年11月7日～8日	JPAAWG 5th General Meeting	110人
	令和4年11月12日～11月15日	第69回日本ウィルス学会学術集会	1,824人
	令和5年4月6日～8日	第109回日本消化器病学会総会	3,370人
	令和5年4月25日～4月28日	第66回日本形成外科学会総会・学術集会	8,128人
	令和5年5月18日～19日	第61回日本小児歯科学会大会	2,130人
	令和5年7月5日～7日	JANOG52 Meeting	4,574人
一般会議	令和3年10月25日～27日	ICCA (ハブ会場)	152人
政府系会議	令和5年5月13日～5月14日	G7長崎保健大臣会合	非公表 (約100名※)

※長崎市試算

【出島メッセ長崎の誘致状況】

令和6年1月31日現在

催事種別	人数規模	目標		R4年度(確定値) R4.4.1~R5.3.31		R5年度 R5.4.1~R6.3.31		R6年度 R6.4.1~R7.3.31	
		件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
学会	500人未満	10件	5,800人	20件	2,830人	8件	1,718人	9件	1,310人
	500人以上1,000人未満	8件	13,800人	5件	3,558人	2件	1,230人	6件	3,250人
	1,000人以上	6件	31,200人	4件	6,754人	14件	49,464人	9件	11,100人
	小計	24件	50,800人	29件	13,142人	24件	52,412人	24件	15,660人
一般会議	500人未満	650件	82,500人	1,815件	51,142人	1,949件	54,617人	180件	18,953人
	500人以上1,000人未満	34件	26,000人	18件	10,795人	14件	8,551人	6件	3,700人
	1,000人以上	14件	47,000人	9件	17,098人	8件	10,109人	6件	15,400人
	小計	698件	155,500人	1,842件	79,035人	1,971件	73,277人	192件	38,053人
イベント展示	500人未満	—	—	27件	4,617人	27件	3,801人	13件	3,120人
	500人以上1,000人未満	10件	7,500人	4件	2,325人	7件	5,142人	3件	1,100人
	1,000人以上	43件	396,500人	37件	543,024人	42件	537,454人	9件	72,000人
	小計	53件	404,000人	68件	549,966人	76件	546,397人	25件	76,220人
総計 (達成率)		775件	610,300人	1,939件 (250.2%)	642,143人 (105.2%)	2,071件 (267.2%)	672,086人 (110.1%)	241件 (31.1%)	129,933人 (21.3%)
経済波及効果		約114億		約122億		—		—	

※令和5年度以降の数値は見込値（令和5年の数値は令和6年1月末までの実績値＋令和6年2月以降の見込値の合算）

経済再生アクションプラン該当事業  
B2 人手不足対策

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
232～233	7 商工費	1 商工費	4 観光費	1-8	観光産業人材育成事業費	476 千円

### 1 現状と課題

現状：長崎市の人口減少が進むと同時に、観光業界でも観光地域づくりを担う人材の高齢化・後継者不足が進んでいる。

課題：観光関連産業や観光地域づくりに関心ある人材を育成するためには、その動機づけを高めていく必要がある。

### 2 対応方針・目的

人口減少が進むなかにあって、将来の観光産業を支える人材を育成（長崎のまちを支える担い手の育成）し、地域の活性化を図るため、観光教育の一環として日本観光振興協会が実施する「観光教育出前授業」を活用し、長崎の魅力発見により長崎を愛する心（シビックプライド）を醸成し、長崎の未来について考える。

### 3 事業概要

#### 1 「観光教育出前授業」の実施

当該協作成の観光副読本や長崎の観光ガイドブック等を使用し、児童生徒によるグループワークを行い、地域の観光資源を考え、長崎の魅力の発見と発信につなげる。

- (1) 対象学年 小学5・6年生、中学生
- (2) 開催時期 1学期又は2学期（授業時数2時間）
- (3) 事業費 446千円（報償費200千円、旅費240千円、需用費6千円）

※3回実施（3校分）、そのうち1回は日本観光振興協会が負担

#### 2 オンライン授業の実施

観光教育出前授業後日、さらに学びを深めるために、生徒たちで自分たちの街のガイドブックをタブレットや紙で作成している途中または作成後に講師のアドバイス等を聞く授業をする。

- (1) 事業費 30千円（報償費30千円） ※3回実施
- 事業費合計（1+2）：476千円

#### 4 スケジュール

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
観光教育出前授業	1 学期 →		2 学期 →	
オンライン授業	1 学期 →		2 学期 →	

#### 5 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 476	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 476

#### <参考> 他都市の状況

- 2019.3.1 台東区立浅草中学校 3 年生 (83 名)
- 2019.9.26 秩父市立吉田小学校 6 年生 (39 名)
- 2022.12.9 妙高市立小学校 3 校 5、6 年生 (40 名)
- 2023.9.4 佐世保市立世知原中学校 2 年生 (20 名)

## <参 考>

- 1 講師 公益社団法人 日本観光振興協会より派遣予定
- 2 授業風景



観光副読本を活用して授業を行う特任教授  
寺本潔氏



観光地に訪れる客層ごとのポジショニングを  
考えて発表する児童



観光パンフレットを見ながら季節ごとの地域の  
楽しみを考えるワーク

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
232～233	7 商工費	1 商工費	4 観光費	2-1	観光客誘致推進費	10,727 千円

## 1 概要

長崎独自の歴史・文化・景観等の観光資源を活かし、新たなアプローチとして著名人や長崎を舞台とした映像作品、民間事業者の取組み等と連携したイベント・プロモーションを行うことで、国内外の多様な訪問客を誘致し、交流拡大による賑わいを創出するもの。

## 2 事業内容

項目	予算額【千円】
(1) 長崎市誘客支援実行委員会への負担金	7,197
(2) 放送コンテンツ海外展開強化事業	3,500
(3) その他（旅費）	30

(1) 長崎市誘客支援実行委員会への負担金 7,197千円

ア 実施主体 長崎市誘客支援実行委員会

【構成団体】長崎市、(一社)長崎国際観光コンベンション協会、長崎市宿泊施設協議会、長崎商工会議所、旅行代理店

イ 実行委員会予算（案）

<収入>	
項目	予算額【千円】
負担金収入	7,297
長崎市	7,197
宿泊施設協議会	100
合計	7,297

<支出>	
項目	予算額【千円】
観光大使等連携事業費	3,000
映像コンテンツ活用推進費	3,000
首都圏誘客活動費	500
事務費	797
合計	7,297

## ウ 実施内容

(ア) 観光大使等連携事業費 3,000千円

長崎にゆかりのある著名人や観光大使、企業等とタイアップして長崎の魅力を発信する取組みを行うことで交流拡大を図り、まちに賑わいを創出する。

・観光大使等との連携企画 1,000千円×3回

(イ) 映像コンテンツ活用推進費 3,000千円

近年長崎を舞台にした映画・ドラマ等が多数制作・公開されているため、作品の世界観と長崎の観光を結び付ける取組みを行い、作品のファンの来訪を促す。併せて、訪問スポットを顕在化することで、訪問客の満足度を向上する。

また、フィルムコミッションと連携して、長崎での映画等の制作を誘致したり、ロケの支援を行うことで、長崎を聖地化し、訪問客の増加に繋げる。

・映像作品の企画展示イベント 1,500千円  
・フィルムコミッションと連携したロケ誘致・支援 1,000千円  
・訪問スポットの説明表示の充実 500千円

### 【参考】近年の長崎を舞台とした作品

・アニメーション映画「きみの色」 令和6年夏公開予定  
・フジテレビドラマ「君か心をくれたから」 令和6年1月8日より放送中  
・映画「彼方の閃光」 令和5年12月8日より全国の主要映画館にて公開中

(ウ) 首都圏誘客活動費 500千円  
首都圏で行われるイベントにおける観光PRや、誘致に係るセールス活動を行う。

(エ) 事務費 797千円 消耗品等

(2) 放送コンテンツ海外展開強化事業 3,500千円

長崎市への訪日外国人観光客誘致推進の一環として、民間の放送事業者及び関係自治体と連携を行い、長崎市の魅力を発信するコンテンツ（テレビ番組）を制作し、海外で放送する。

事業の実施にあたっては、これまで民間の放送事業者が総務省の補助事業である「放送コンテンツによる地域情報発信力強化事業」の採択を受けており、令和6年度も引き続き欧州豪の現地に向けて情報発信を行う。

ア 実施内容

長崎市の観光地を撮影してPR番組を制作し、海外においてテレビ放送を行う。  
また、現地におけるPRイベントでの宣伝活動を行う。

イ 対象国

フランス、タイ

【参考】（これまでの取組み）

	ドイツ	タイ
令和元年度	<p>【番組制作・放送】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・放送期間：令和元年12月～令和2年1月</li><li>・ロケ地：出島、大浦天主堂、軍艦島、平和公園 等</li><li>・放送枠：30分×6話（2話が長崎市）</li><li>・テーマ：「冒険と巡礼の旅」</li></ul> <p>【現地旅行博へ出展】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・開催日：令和2年1月11日～12日</li><li>・旅行博来場者：約9万人</li></ul> <p>【トップセールス】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・現地のTV会社、JNTO事務所、旅行・航空会社を市長が歴訪</li></ul>	—

	ドイツ	タイ
令和2年度	<p>【番組制作・放送】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放送期間：令和3年1月</li> <li>・ロケ地：軍艦島、平和公園、潜伏キリシタン関連 等</li> <li>・テーマ：地域に暮らす“人”を通して歴史的価値等を訴求</li> <li>・放送枠：60分×1話 ※再放送6回</li> <li>・推定視聴者数：約1,100万人</li> <li>※コロナ禍において、国内在住のドイツ人プロデューサーにより制作</li> </ul>	<p>【番組制作・放送】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放送期間：令和2年12月</li> <li>・放送地：中華街、グラバー園、道の駅夕陽が丘そとめ 等</li> <li>・テーマ：I miss Kyushu（再発見・新発見）</li> <li>・放送枠：30分×1話</li> <li>※その他SNS等で配信</li> <li>・推定視聴者数：約19万人</li> <li>※過去のアーカイブ映像を利用し、タイ現地で番組制作</li> </ul>
令和3年度	<p>【番組制作・放送】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放送期間：令和4年1月</li> <li>・ロケ地：史跡料亭花月、長崎市内、福江</li> <li>・テーマ：“食”を入り口にした「伝統文化」や「職人」</li> <li>・放送枠：30分×1話 ※再放送2回</li> <li>・推定視聴者数：約1,135万人</li> </ul>	<p>【番組制作・放送】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放送期間：令和3年11月</li> <li>・放送地：軍艦島、グラバー園、眼鏡橋 等</li> <li>・テーマ：長崎在住のタイ人が長崎の生活や観光地を紹介</li> <li>・放送枠：30分×1話</li> <li>・推定視聴者数：9万6,000人</li> </ul>
	フランス	
令和4年度	<p>【番組制作・放送】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放送期間：令和5年1月</li> <li>・ロケ地：眼鏡橋、軍艦島、爆心地公園、鍋冠山展望台 等</li> <li>・テーマ：都市と自然が共存する長崎市や五島列島、自然を守り続ける人たちの視点を通して取り上げるドキュメンタリー</li> <li>・放送枠：60分×1話 ※再放送1回</li> <li>・推定視聴者数：約6万3,000人</li> </ul>	<p>【番組制作・放送】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放送期間：令和4年11月</li> <li>・ロケ地：軍艦島、グラバー園、眼鏡橋、新地中華街 等</li> <li>・テーマ：長崎の県産品の魅力発信</li> <li>・放送枠：30分×1話</li> <li>・推定視聴者数：約6万7,000人</li> </ul>

	フランス	タイ
令和5年度	<b>【番組制作・放送】</b> ・放送期間：令和5年12月 ・ロケ地：長崎市、五島市、対馬市 ・テーマ：山と海に囲まれた自然豊かな長崎の魅力とその自然を守り続ける人たち ・放送枠：52分×1話 <b>【現地旅行博へ出展】</b> ・開催日：令和6年1月26日（予定）	<b>【番組制作・放送】</b> ・放送期間：令和5年12月 ・ロケ地：軍艦島 等 ・テーマ：長崎・佐賀へのタイ人旅行者の誘引 ・放送枠：30分×1話 <b>【現地旅行博へ出展】</b> ・開催日：令和5年9月1日～3日 ・旅行博来場者：約10万人

### 3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
10,727	-	-	-	-	10,727

経済再生アクションプラン該当事業  
A1 受入態勢の充実

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
232～233	7 商工費	1 商工費	4 観光費	2-2	観光客受入環境整備費	15,180 千円

## 1 概要

公衆無線LANの利用可能範囲を拡大するとともに、クルーズ客船入港時や大型イベント時のオーバーツーリズム対策として主要な観光地周辺における警備業務委託などを実施し、観光客がストレスなく市内滞在を楽しめる環境を整備するもの。

## 2 事業内容

項目	予算額（千円）
①公衆無線LANの運営・新規設置	8,377
②オーバーツーリズム対策	4,203
③多言語表示板の設置	2,600

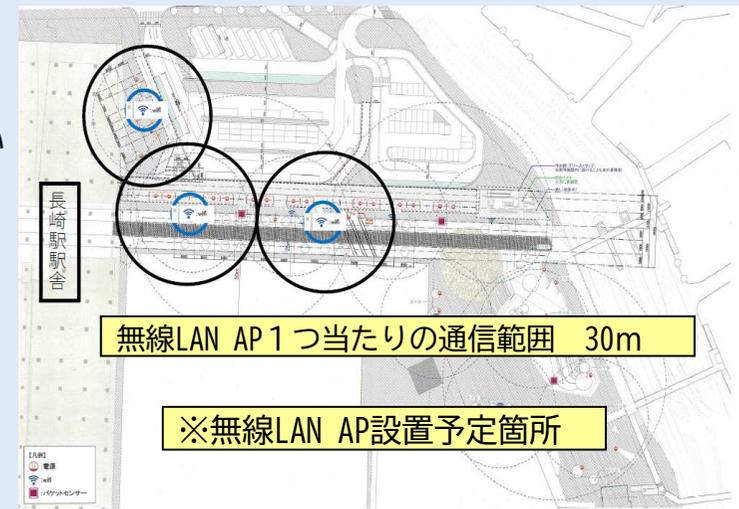
### (1) 公衆無線LANの運営・新規設置 8,377千円

#### ア 公衆無線LANアクセスポイント（AP）の新規設置 1,462千円

長崎駅において、公衆無線LANアクセスポイント（AP）の新規設置を行い公衆無線LANの利用範囲を広げ、観光客の滞在満足度と利便性を高める。

- (ア) 無線LAN AP収納BOXの設置 225千円  
無線LAN APを収納するBOXの設置  
(専用色への塗装や基盤の設置費用含む)

- (イ) 無線LAN APの設置 1,237千円  
長崎駅東口広場に無線LANを新規で整備をすることに伴い、APを3か所に設置を行う。



## イ 公衆無線LANの運営費 6,915千円

主要な観光施設及び交通拠点に公衆無線LAN環境を設置し、公衆無線LAN利用開始手続きを一元化できるアプリと併せて運営を行い、観光客の滞在満足度を高める。

- (ア) 公衆無線LANの運用 3,800千円
  - ・主要な観光施設及び交通拠点である路面電車電停（全51か所）において公衆無線LANを維持・管理を行う。
- (イ) 長崎電気軌道電停及び沿線における公衆無線LANアクセスポイント共有 2,376千円（198千円×12か月）
  - ・より広域な通信環境の確保のため、長崎電気軌道が所有している既存の公衆無線LANアクセスポイントの共有する。
- (ウ) 公衆無線LAN認証アプリとの認証連携の運用 739千円
  - ・長崎市が運営する公衆無線LANと民間事業者が運営する無線LANをアプリで連携させ、無線LANの利用開始手続きを一元化するもの。民間事業者が運営するアプリをダウンロードし、一度認証することで、再度認証手続きを行わずに接続が可能となる。

### 長崎市におけるこれまでの公衆無線LAN整備状況

●公衆無線LAN環境整備 主要観光施設12か所及び路面電車電停周辺（全39か所）において整備

設置時期	場所
① 平成27年9月1日供用開始	グラバー園、長崎ペンギン水族館、平和公園、眼鏡橋、永井隆記念館、稲佐山展望台、遠藤周作文学館、外海歴史民族資料館（8施設）
② 平成27年11月1日供用開始	シーボルト記念館（1施設）
③ 平成27年12月1日供用開始	路面電車電停（全39カ所）
④ 平成28年2月6日供用開始	長崎ロープウェイ淵神社駅舎（1施設）
⑤ 令和2年2月1日供用開始	長崎稲佐山スロープカー駅舎（山頂駅・中腹駅）（1施設）
⑥ 令和4年5月供用開始	長崎駅周辺（西口広場）
⑦ 令和4年7月供用開始	長崎駅周辺（歩行者専用道路）
⑧ 令和6年共用開始予定	長崎駅周辺（東口）



## (2)オーバーツーリズム対策業務 4,203千円

2000人を超える乗客を乗せたクルーズ入港時や2隻同時入港時、大型イベント実施時において、警備員を配置して来場者の安全を確保及び混雑の緩和、交通渋滞などの発生を抑制を図る。

### ア 対象

(ア) 2000人を超える乗客を乗せたクルーズ客船

欧米系のクルーズ客船 配置人数2人 配置回数37回 (欧米系のクルーズ客船入港予定数)

中国系のクルーズ客船 配置人数2人 配置回数57回 (中国系のクルーズ客船入港予定数)

(イ) 大型イベント

ランタンフェスティバル

帆船まつり

長崎くんち

※イベント開催期間における混雑が予想される日時に警備員を配置する。

### イ 配置場所

クルーズ客船 欧米系については大浦海岸通り電停周辺横断歩道 (下記図①のとおり)

中国系については新地中華街電停付近横断歩道 (下記図②のとおり)

大型イベント 大浦海岸通り電停周辺横断歩道及び新地中華街電停付近横断歩道 (下記図①②のとおり)

① 大浦海岸通り電停付近 横断歩道 (4h/日)



図①

② 新地中華街電停付近 横断歩道 (7h/日)



図②

### (3) 多言語表示板設置 2,600千円

観光客が多く利用する長崎駅や稲佐山ロープウェイ駅、平和公園など施設周辺のバス停に設置している多言語表示板の情報が更新されていないことから、内容の更新を行い観光客の滞在満足度と利便性を高める。

事業	予算	設置個所等
バス停案内看板の情報更新		
・看板張替（7か所分）	2,100千円	長崎駅周辺2か所、松山町、浜口町 松が枝2か所、稲佐山ロープウェイ 既設看板への再加工費用 300千円×7か所
・デザイン調整（10か所分）	500千円	長崎駅周辺 2か所、松山町、浜口町 松が枝 2か所、稲佐山ロープウェイ 今後新規設置予定 3か所 50千円×10か所
合計	2,600千円	



※多言語表示板 参考図

### 3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 15,180	千円 4,132	千円 -	千円 -	千円 -	千円 11,048

※デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）補助率50%

経済再生アクションプラン該当事業  
A1 受入態勢の充実  
A3 戦略的なプロモーション

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
232～233	7 商工費	1 商工費	4 観光費	2-3	インバウンド誘致広域連携 事業費	10,800 千円

### 1 概要

2025年開催の大阪・関西万博は、想定来場者数約 2,820 万人、このうち海外からの来場者が約 350 万人と想定されている。これを契機に、西日本・九州の自治体間の広域連携を推進することで長崎へのインバウンド誘客を図り、交流人口の拡大を目指すもの。

### 2 役割分担

本事業におけるDMOとの役割分担の考え方

長崎市（行政）	DMO
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「西日本・九州ゴールデンルートアライアンス」等の 自治体間広域連携による枠組みづくり</li> <li>● 連携自治体間で構成する実行委員会・協議会等への 負担金等の拠出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マーケティングデータを活用したターゲット設定</li> <li>● テーマ、コンテンツ等プロモーションの具体的提案</li> <li>● 民間事業者との連携（旅行商品造成・販売促進等）</li> <li>● 既存事業（観光地域づくり推進費）との連動による相乗効果拡大</li> </ul>

### 3 事業内容

項目	連携予定自治体	予算額【千円】
① 西日本・九州ゴールデンルートアライアンス事業	西日本・九州の14自治体（県・市） ※R6.1現在	3,500
② 被爆80周年記念長崎・広島連携事業	広島市	5,000
③ 海外デジタルノマド誘致・受入事業	福岡市 など	1,700
④ その他事務費	—	600

【参考 1】西日本・九州ゴールデンルートアライアンス（福岡市作成資料より抜粋）

ア 組織概要

大阪以西の地域における観光周遊ルート「西日本・九州ゴールデンルート(西のゴールデンルート)」の創設・形成に賛同する自治体の連携枠組み。今後、多くのインバウンドが訪れる万博を機に、インバウンドの呼び込みを目指すため、西日本・九州が一体となり、魅力の発信・プロモーションに取り組んでいく。

イ 結成： 令和5年9月24日（日）

ウ 構成自治体：14自治体（令和6年1月現在）

岡山県・広島県

長崎市・神戸市・姫路市・高松市・下関市・北九州市・福岡市・武雄市・熊本市・別府市・宮崎市・鹿児島市

エ 取組概要

欧米豪旅行者や高付加価値旅行者をターゲットに位置づけ、観光資源を広域的な周遊ルートとして発信し、西日本・九州への誘客促進につなげる。

オ 費用負担

(ア) 基盤部分（販促ツールの制作（例：専用webサイト等）、大阪・関西万博の共同出展 等）

自治体メンバーで構成された実行委員会において拠出する（全参画自治体負担）

※ 令和5年度中にとりかかる共通ロゴ・キービジュアルの作成に係る費用は福岡市負担

(イ) 上乗せ部分（その他プロモーション）

希望する自治体同士で予算を拠出して取り組む

カ 連携体制

関係機関（国、広域DMO、民間事業者等）と協力体制のもとで取組みを進めていく（右図参照）

【参考 2】大阪・関西万博 概要（出展：大阪観光局HP）

- ・テーマ 「いのち輝く未来社会のデザイン」
- ・期間 令和7年4月13日（日）～10月13日（月）184日間
- ・場所 大阪 夢洲（ゆめしま）
- ・来場者数 約2,820万人（内インバウンド約350万人）
- ・経済波及効果 約2兆円

西のゴールデンルートアライアンス（今後めざす体制）

①自治体メンバー

大阪より西にある自治体の首長で構成された組織

②民間事業者メンバー

自社の取組みとして西のゴールデンルートの趣旨に賛同する民間事業者（旅行会社、交通事業者、メディア等）

※R6年1月以降、パートナー登録開始（予定）

③国等関係機関メンバー

西のゴールデンルートの取組みと関連性があり、公益的に影響力のある機関

国（観光庁、地方運輸局）

DMO等（広域DMO等）

【参考 3】R6年度～R7年度に取り組む事業と費用負担の目安（福岡市作成資料）

		R6（2024）年度		R7（2025）年度	
アライアンス自治体との連携を前提	上乗せ部分 （2階部分）	希望する自治体で事業費を負担し、実施するもの （各自治体から委託料として負担）	<p>①欧米豪向けwebプロモーション（旅マエ） 事業費：1,650万円～ 希望自治体：150万円～</p> <p>②欧米豪向けプロモーション（旅ナカ） 事業費：1,500万円～ <b>希望自治体：150万円～</b></p> <p>③ツーリズムEXPOの出席 事業費：800万円～ <b>希望自治体：100万円～</b></p> <p>※①②については、希望自治体で負担する金額が異なることも想定。その場合は、コンテンツの出し方の濃淡をつけたりなど、予算に見合ったプロモーションを行うもの。</p>	<p>①欧米豪向けwebプロモーション（旅マエ） 事業費：同左程度</p> <p>②欧米豪向けプロモーション（旅ナカ） 事業費：同左程度</p> <p>③万博期間中における各地でのプロモーション 事業費：実費を参加自治体で按分</p>	
	基盤部分 （1階部分）	実行委員会の負担金で実施するもの （各自治体から負担金として負担）	<p>①販促物の制作（webサイト、チラシ等） 事業費：500万円～</p> <p>②万博共同開催企画検討 事業費：600万円～</p> <p>①、②あわせて <b>アライアンスメンバー全自治体で負担</b> <b>（現メンバーでの総額1,100万円）</b> <b>（各自治体100万円 ※人口20万人未満は50万円）</b></p>	<p>①万博共同出席 事業費：1,900万円～5,000万円</p> <p>②販促物の制作（webサイトの更新、チラシ等） 事業費：300万円～500万円</p> <p>①、②あわせて <b>アライアンスメンバー全自治体で負担</b> <b>（現メンバーでの総額2,200万円～5,500万円）</b> <b>（各自治体200万円～500万円 ※負担金額の算定方法は人口比等による按分等を検討）</b></p>	
単独	各自治体単独部分	各自治体予算で実施	<p>①各自治体HPでの西のゴールデンルートPR ②既存イベントでの西のゴールデンルートPR ③リレーカンファレンスの実施 ④アライアンスメンバーの拡大 ⑤民間事業者パートナー・国、DMO等の働きかけ</p> <p>実施費用は各自治体で確保</p>	同左	

## (1) 西日本・九州ゴールデンルートアライアンス事業 3,500千円

大阪以西の自治体で構成する「西日本・九州ゴールデンルートアライアンス」の参画自治体等と連携し、欧米豪旅行客等をメインターゲットとした誘客プロモーションを実施する。

### 【事業内訳】

取組み内容	予算額 【千円】
<b>ア 参画負担金 【※基盤部分】</b> 各自治体HP等における情報発信、販促ツールの制作 等 ・2025年大阪・関西万博開催の中で、福岡市が確保している催事枠（メッセ会場（2,000㎡）中、約600㎡・6日間）で出展各自治体と連携・共同出展により、西のゴールデンルートをPRする。 ・万博会場に来場するインバウンドをメインターゲットに、各自治体のコンテンツをまとめたイメージ動画放映や催事コンセプト「未来にいのちをつなぐ一歩」に沿うような取組み等を出展内容とする。	1,000
<b>イ 欧米豪向けプロモーション（旅ナカ）【※上乗せ部分】</b> ・新たな市場からの誘客が期待できる関西国際空港・成田空港を利用する欧米豪旅行客をターゲットに、大阪等の交通結節点、繁華街において、西日本への行動変容を促す旅ナカプロモーションを実施する。	1,500
<b>ウ ツーリズムEXP0ジャパン出展負担 【※上乗せ部分】</b> ・開催期間：令和6年9月26日～29日 ・会場：東京ビッグサイト ・EXP0概要：展示会・商談会・国際観光フォーラム・ジャパン・ツーリズム・アワードの4部門で構成されている世界最大級の旅行博イベント。（令和5年度実績：10/26～10/29（4日間）来場者数 延べ148,062人） ・出展内容：西のゴールデンルートとしてブースを出展し、コンテンツなどを展示して、来場者へ認知拡大・PRを実施。国（地方運輸局等）、広域DMOやパートナー登録する民間事業者などとの連携を想定。	1,000

【参考 4】実施項目と今後の全体スケジュール（R5～）（福岡市作成資料）

	取組項目	主体者	R5 (2023) 月年度	R6 (2024) 年度	R7 (2025) 年度	R8 (2026) 年度～
(1)	・共通ロゴ・キービジュアル等の制作（日・英）	実行委員会（ロゴ制作のみ福岡市）	ロゴ等制作			
(2)	各自治体HP等における情報発信	各アライアンスメンバーが実施	随時実施			
(3)	・販促ツールの制作（webサイト等（日・英））	実行委員会が実施	特集ページ制作（※福岡市制作）	Webサイト等販促ツール制作		
(4)	欧米豪向けwebプロモーション（旅マエ）	希望する自治体が連携して実施	事業者選定	実施	事業者選定	実施
(5)	欧米豪向けプロモーション（旅ナカ）	希望する自治体が連携して実施	事業者選定	実施	事業者選定	実施
(6)	ツーリズムEXPOジャパン出展	希望する自治体が連携して実施	出展準備	9/26～9/29 @東京		
(7)	各自治体による海外プロモーション	各アライアンスメンバーがそれぞれ実施	随時実施			
(8)	各自治体における既存イベントでのPR	各アライアンスメンバーがそれぞれ実施	随時実施			
(9)	各自治体主催による西のゴールデンルート認知向上のためのリレーカンファレンスの開催	各アライアンスメンバーがそれぞれ実施	随時実施			
			福岡市主催カンファレンス（予定）（5月頃予定） 内容：各自治体の取組み発表（各首長参加想定） 各自治体におけるリレーカンファレンスの開催（各自治体主催）			
(10)	アライアンスメンバー新規加入	各アライアンスメンバーがそれぞれ実施	随時実施			
(11)	①民間事業者パートナーの取組み ②国等広域協力機関との連携	①民間事業者が実施 ②国等が実施	随時登録・実施			
(12)	万博共同出展対応	実行委員会が実施	出展準備	大阪・関西万博 4/13～10/13		

強化期間

(2) 被爆80周年記念長崎・広島連携事業 5,000千円

長崎市と広島市は、2025年に被爆80周年を迎える。この節目に、訪日外国人の誘客拡大を図るため、両市が連携して、国外への情報発信やピースツーリズムの造成に取り組む。

ア 両市共同による国外への観光プロモーション 3,500千円

平和へのメッセージや両市の平和関連施設、被爆80周年等を題材とした動画（多言語字幕）を制作し、Web広告やSNSを活用して動画へ誘導を行い、国外に向け機運醸成の情報発信に取り組む。

- ・動画制作費 1,500千円 英語版動画の作成
- ・多言語翻訳 500千円 動画を独語、仏語など多言語に編集
- ・Web広告 1,500千円 動画へ誘導する広告

イ 長崎～広島相互誘客への旅ナカPR 1,500千円

長崎市と広島市を訪れる訪日外国人を対象に、両市の世界遺産など観光資源や魅力をPRすることで、旅ナカでの行動変容を促し、相互誘客を図る。

- ・広告物等の作成 1,000千円 ポスター・パンフレット、デジタルサイネージデータなど
- ・ノベルティの作成 500千円 デザインカードなど

	R6 (2024) 年度	R7 (2025) 年度	R8 (2026) 年度
テーマ	被爆80周年の機運醸成	被爆80周年記念	連携事業の成果の定着
両市共同による 国外へのプロモーション	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     R6・7年度の成果を踏まえ既存事業の磨き上げ                 </div>		
長崎～広島相互誘客への 旅ナカPR			
外国人向け平和学習・観光 プログラム造成・実施			
事業規模	10,000千円	未定	未定
負担割合	両市 1/2ずつ		

## 【令和5年度の取組み】

観光庁補助事業「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」を活用し、民間事業者が主体となり、若者ガイドの育成とインバウンドを含む対話型学習ツアー造成を行った。（事業費8,332千円 うち補助額5,016千円）

### 1. 主な事業内容

#### ①長崎と広島連携チームづくり

修学旅行生を対象に対話型学習体験を提供する。

- ・広島チームとメンバー間の人材交流を行い、相互連携できるコミュニティを構築。

#### ②地元の若者ガイドの育成

長崎の大学を中心にガイドを募集。アカデミーをつくり、ガイド人材（英語ガイド含む）を育成する。

- ・11/15より第1期生のアカデミー（40名・オンライン講座）を開始（令和6年1月31日に最終発表会を実施予定）

#### ③対話型学習ツアーの提供

フィールドワークしながら学生ガイドとの対話を通して平和を自分ごと化していくプログラムの造成。

- ・国内の修学旅行生を対象に約200名のツアーを実施（令和5年12月7日）

### 2. 今後の展開

- ・DMOとの連携による商品化、販売促進
- ・長崎市-広島市連携事業との連携による被爆80周年に向けたインバウンドコンテンツの充実

### (3) 海外デジタルノマド誘致・受入事業 1,700千円（福岡市等との連携を想定）

「デジタルノマド」は長期滞在の傾向が強く、インバウンドの新たな市場として注目されており、令和5年度は、観光庁の補助金を活用しながら民間事業者が主体となり、デジタルノマド（※）の誘致・受入事業を実施した。令和6年度は、その成果・課題を踏まえ、福岡市等と連携し、モニターツアーの実施、民間による受入環境の整備や人材の育成等の促進に取り組む。

取組み内容	金額
ア モニターツアーの実施 ・ 期間：1週間程度 ・ 参加者：欧米豪、アジア等から10名 ※デジタルノマド誘致事業先進都市である福岡市等と連携した招聘 ・ 費用：@100千円 / 人（宿泊費、アクティビティ体験費、交流会開催に係る諸経費等）	1,000千円
イ 受入環境整備 ・ 洋館等の長崎らしい空間を活用したワーキングスペースの創出に係る環境整備（ポータブルWi-Fiの設置等通信環境の整備など） ・ デジタルノマド受入支援を行えるコミュニティ・人材の創出に向けた育成プログラム、市内事業者との交流会の実施	700千円

#### 【令和5年度の取組み】

観光庁補助事業「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」を活用し、民間事業者が主体となり、海外デジタルノマド誘致・受入事業を実施した。（事業費7,930千円 うち補助額5,965千円）

#### 1. 主な事業内容

- ①長期滞在をサポートする「地域コミュニティサポーター（コミュニティマネージャー）」人材育成の勉強会
- ②海外デジタルノマドの可能性と対応について地域勉強会の実施（令和5年11月9日開催）
- ③事業化・販売に向けたモデルステイプログラム（モニターツアー）の実施
  - ・ 期間：令和5年11月5日～10日（5泊6日）
  - ・ 参加者：3名（国籍：ギリシャ、ノルウェー、イタリア）
- ④事業化・販売に向けた海外デジタルノマド向けプロモーション素材の作成・ウェブサイトの公開

#### 2. 成果

モニターツアー実施により、長崎市でのデジタルノマド受入に向けての現状把握と課題抽出ができた。

- ・ 強み：仕事をしながら長期滞在できるような宿泊施設が整っている。
- ・ 課題：デジタルノマドのような長期滞在するインバウンド向けのコミュニティ、ビジネスチャンスが不足している。

#### 【参考】 デジタルノマド（※）

ITやデジタル技術を活用し、場所に縛られず、ノマド（遊牧民）のように旅をしながら仕事をする人をいう。グローバルに行動するデジタルノマドは約3,500万人、市場規模は7,870億ドル（日本円で約110兆円）と推計されている。（出展：JTB総合研究所）

(4) 事務費 600千円

関係都市との調整会議等に係る旅費

- ・ 西日本・九州ゴールデンルートアライアンスカンファレンス出席（福岡市、大阪府、千葉県）
- ・ 連携都市との調整会議（福岡市、広島市）

## 4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
10,800	5,400	-	-	-	5,400

※ デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率50%

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
232～233	7 商工費	1 商工費	4 観光費	3-1	世界・日本新三大夜景推進費	10,221 千円

## 1 現状(と課題)

本市の夜景観光推進の取組みは、長年にわたる観光施設などのライトアップによる「中近景の夜間景観づくり」や平成28年度には鍋冠山展望台の改修、令和元年度の稲佐山公園スロープカーおよび令和2年度から令和3年度に掛けて「長崎星物語」の整備を行うほか、ナイトタイムコンテンツである「長崎ランタンフェスティバル」や非核と世界平和への祈りの灯である「平和の灯」などを行い、一定の評価を得て、令和3年11月に世界新三大夜景および令和4年3月に日本新三大夜景に再認定された。

あわせて、平成27年度には「稲佐山から望む月」が「日本百名月」に認定されており、今年度開催された「夜景サミット2023 in 足利」で「長崎星物語」が「インターナショナルイルミネーション アワード まちづくり部門」の優秀賞を受賞、また、国土交通省による都市景観大賞「景観まちづくり活動・教育部門」の大賞を受賞するなど、長崎市の夜景が夜景観光を推進するための強力なブランド力を有している。

その様な中で、本市のさらなる夜景観光の推進に向けて、ブランド力の継続的な強化および新たな観光資源の発掘として、広域的な魅力ある夜景資源の磨き上げを行う必要がある。

## 2 対応方針

観光資源の磨き上げに伴う新しい広域的な夜景観光資源の発掘により、宿泊につながる観光客を増やし、観光消費額の増加につなげる。

あわせて、令和6年度は「日本新三大夜景都市」の再認定の年でもあることから、本サミット誘致による積極的な夜景観光推進の取組みをPRし、日本新三大夜景都市の再認定につなげる。

<成果指標>

継続的なブランド力の強化および新たな夜景観光資源の発掘での成果指標として、「夜景観賞」を目的とする観光客の割合を以下のとおり設定する。

指標(単位)	「夜景観賞」を目的とする観光客の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
年 度					
目 標 値	24.4	27.5	30.6	33.6	36.7

### 3 事業内容

#### (1) 全国名月サミット開催負担金（予算額 4,145千円） 【新規】

一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューローの主催による、日本国内における「名月」が魅せる景観美の発掘と観光資源化を行うことを目的として、各自治体、民間会社などが一同に会し、夜間観光的価値の向上、名月資源活用に向けた事例共有、各地連携における新たな夜景商品の造成と可能性の追求などを議論する「全国名月サミット」を令和6年度に誘致し、本サミットを通し、市内、県内外に長崎市の名月をPRし、名月を活用した観光を活性化させ、新たな夜景観光の推進を図るもの。

##### ア 全国名月サミットの内容（予定）

(ア) 日程：令和6年9月中旬

(イ) 場所：出島メッセ長崎

(ウ) 参加者：名月を観光資源に活用する行政（北九州市など）、団体・民間企業、マスコミなど、約150名

(エ) 主催：一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューロー  
KNT-CTホールディング株式会社（共催）  
※近畿日本ツーリストなどの事業を持つ会社  
長崎市（共催）

(オ) 内容：名月資源活用のケーススタディ  
名月フォトコンテストにおける入賞作品の発表と受賞式  
名月鑑賞および夜景観光ツアー（稲佐山展望台（予定））

### 3 事業内容

(カ) 長崎市と夜景観光コンベンションビューローの役割分担と費用分担

#### 【夜景観光コンベンションビューロー】

- ・ 全国名月サミット主催者
- ・ サミットの企画、運営、進行
- ・ 開催に係る宣伝の企画、実施
- ・ 現地視察・懇親会の企画、運営、進行
- ・ 費用負担：1,000千円

※うち、500千円は別途参加者からの参加費で、主催者負担は500千円

#### 【長崎市】

- ・ 全国名月サミット共催者
- ・ サミット運営サポート  
(会場確保)
- ・ 現地視察・懇親会の企画、運営サポート  
(場所の選定や移動手段手配、など一部を実施)
- ・ 負担費用：4,145千円

(キ) 予算内訳

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| ・ 開催負担金   | ： 3,100千円 |           |
| ・ 会場借上料   | ： 680千円   |           |
| ・ バス借上料   | ： 200千円   |           |
| ・ 看板等制作委託 | ： 165千円   | 計 4,145千円 |

### 3 事業内容

#### (2) 名月フォトコンテスト開催費（予算額 1,431千円） 【新規】

長崎市街地の周辺地域を含めた市民の夜景観光への意識醸成を図り、新たな観光資源の発掘につなげるため、長崎市の各地から見る名月を被写体とした市民参加型「長崎市名月フォトコンテスト」を「全国名月サミット」と併催するもの。

ア 長崎市名月フォトコンテストの内容（予定）

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
撮影期間	→			
募集期間	6月上旬 ✨ →			
審査		✨ 9月上旬		
結果発表		✨ 9月中旬		
展示会			→	

イ 場所：【授賞式】出島メッセ長崎

【入賞作品展示場所】長崎市役所19階、各地域センター、観光案内所、SNS、ホームページなど

ウ 対象：長崎市民および長崎県内外の写真愛好家など

エ 主催：長崎市

### 3 事業内容

オ 内容：上記期間にて新聞広告、SNS、長崎市公式観光サイト「travel nagasaki」などにて作品を募集し、9月上旬に審査、9月中旬の全国名月サミットで結果発表を行い、その後、入賞作品を市内各所やSNS、ホームページなどで展示する。（展示期間未定）

#### カ 予算内訳

・ 広告費（新聞広告、SNS広告、チラシ）	： 1,336千円	
・ 入賞作品選定に係る謝礼金	： 10千円	
・ 表彰および展示に係る消耗品費	： 85千円	計 1,431千円

#### (3) 全国名月サミット開催と名月フォトコンテストの効果と期待

長崎市街地の周辺地域を含めて活用可能な観光資源である「名月」を利用したフォトコンテストを開催し、撮影場所や方角、撮影日時などの情報を収集することで、各所の名月鑑賞スポットの発掘、また、本情報を纏め、新たな観光スポットとして発信と誘客を行うなど、本市における新たなナイトタイムコンテンツや体験型コンテンツの造成に寄与する。

さらに、メディアや旅行会社が集い全国的な宣伝効果を持つ、全国名月サミットで作品の発表や表彰を行うことにより、長崎市の名月を市外へPRし、さらなる誘客促進も期待できる。



茂木の「月見台（右）」と「布引の月（中央）」



端島と月

### 3 事業内容

#### (4) その他（予算額 4,645千円）

ア 国内夜景サミット参加費 85千円

(ア) 旅費：75千円

・開催地（予定） 福岡県北九州市（国内夜景サミット）

(イ) 参加負担金：10千円

・5,000円×2人

(ウ) 内容

・夜景観光を促進している国内の都市が参画し、夜景観光の更なる発展のため、魅力や課題を共有する

イ 日本新三大夜景情報発信（負担金） 1,000千円

(ア) 相手方：一般社団法人 夜景観光コンベンション・ビューロー

(イ) 内容：日本新三大夜景都市の連携・共同情報発信（長崎市・札幌市・北九州市）

・日本新三大夜景公式webサイトの情報更新

・夜景Love Walker、イルミぴあなどのメディア掲載の広告出稿費

・プロモーションイベント開催費（内容は未定）、など

### 3 事業内容

ウ 海外夜景サミット参加費 3,560千円

(ア) 旅費：1,560千円

- ・開催地（予定） タイ（海外夜景サミット）
- ・参加者3名（長崎市議会議長、市長、部長（予定））

(イ) 参加負担金：2,000千円

- ・一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューロー主催の海外夜景サミットへ出席し、現地旅行会社や交通事業者などへの観光情報説明会や商談会、また現地メディアへのプロモーションを行う。
- ・参加都市：長崎市、札幌市、北九州市、足利市（予定）
- ・参加者3名（長崎市議会議長、市長、部長（予定））

### 4 予算額

10,221千円 (3(1)+3(2)+3(4))

## 5 スケジュール(予定)

令和6年度	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
全国名月サミット		★ 9月中旬		
名月フォトコンテスト	→			
海外夜景サミット		★ 7月下旬		
国内夜景サミット			★ 11月上旬	
日本新三大夜景情報発信	→			

## 6 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金 ※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 10,221	千円 4,293	千円 -	千円 -	千円 -	千円 5,928

※ デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 充当率1/2

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
232～233	7 商工費	1 商工費	4 観光費	4-1	長崎ランタンフェスティバル 事業共催費負担金	99,995 千円

## 1 概要

旧正月の期間にあわせ15日間にわたりランタン、大型オブジェなどによる装飾や皇帝パレード、媽祖行列などのイベントを実施し、冬季における一大イベントとして、交流人口の拡大及び地域経済の活性化に寄与することを目的として開催する。

## 2 事業内容

(1) イベント名 2025長崎ランタンフェスティバル

(5) 経費内訳(実行委員会の収支予算(案))

単位:千円

### (2) 実施主体

長崎ランタンフェスティバル実行委員会  
(事務局:長崎市観光交流推進室)

### (3) 開催時期

令和7年1月29日(水)～2月12日(水)  
※旧暦の元旦(1月1日)から元宵節(1月15日)  
にあたるのが、1月29日(水)～2月12日(水)

### (4) 実施内容

- ア オブジェ・ランタンによる装飾  
湊公園、中央公園、新地中華街、銅座川、浜んまち、中島川公園、孔子廟など  
点灯時間 17:00～22:00 (一部を除く)
- イ ステージイベント  
龍踊り、二胡、変面ショーなど
- ウ その他イベント  
皇帝パレード、媽祖行列、手作りランタンなど

収入		支出	
1 共催費負担金	103,995	1 全体装飾費 (装飾工事費、電気 工事費等)	69,170
長崎市	99,995	2 イベント費	21,500
長崎商工会議所	3,000		
長崎国際観光コンベンション 協会	1,000		
2 協賛金等	21,000	3 事業費	2,650
3 繰越金	0	4 諸費	34,210
4 雑収入	2,535		
合計	127,530	合計	127,530

### 3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 99,995	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 99,995

### 4 参考資料

#### (1) 過去10年の集客数の推移

年度	集客数	経済波及効果	開催期間(土・日・祝の日数)
令和5年度	目標136万人	-	2024/2/9~2/25 17日間(8)
令和4年度	53万人	43億円	2023/1/22~2/5 15日間(5)
令和3年度	中止	-	2022/2/1~2/15 15日間(5)
令和2年度	中止	-	2021/2/12~2/26 15日間(5)
令和元年度	56万人	56億円	2020/1/24~2/9 17日間(6)
平成30年度	98万人	92億円	2019/2/5~2/19 15日間(5)
平成29年度	106万人	104億円	2018/2/16~3/4 17日間(6)
平成28年度	94万人	94億円	2017/1/27~2/11 16日間(5)
平成27年度	90万人	88億円	2016/2/8 ~2/22 15日間(5)
平成26年度	92万人	90億円	2015/2/19~3/5 15日間(4)
平成25年度	87万人	73億円	2014/1/31~2/14 15日間(5)

## 4 参考資料

### (2) 課題と今後の取り組み

#### ア 課題

- ・経済状況の悪化による協賛金などの収入の減少や、物価高騰等による経費増加に伴い、オブジェ等の更新費用が十分に確保できず、老朽化が目立っている。

#### イ 課題に対する取り組み

- ・事業内容の見直しや運営業務の効率化を行うことで、イベント運営の最適化を行う。
- ・オブジェ等運搬作業の中継地点を設定し、作業の効率化及び運搬費用の削減(令和5年度)
- ・ふるさと納税制度の活用によるオブジェ等の製作費用の財源確保(令和5年度開始)

#### (参考)ふるさと納税実施概要

	短期集中型(第1フェーズ)		継続型(第2フェーズ)
種別	クラウドファンディング型 ふるさと納税	企業版 ふるさと納税	ふるさと納税(通年)
制度の目的	ふるさと納税制度を活用して地域の課題解決のために事業を限定して資金調達を行うもの	国が認定した地方創生プロジェクトに対して寄附を募るもの	生まれた故郷や応援したい自治体に寄附ができる制度
寄附対象者	主に市外の個人(2,000円を引いた額の税の控除・返礼品を受けられる)	本社が市外の法人 (9割の税金軽減効果)	主に市外の個人(2,000円を引いた額の税の控除・返礼品を受けられる)
目標額	50,000千円	20,000千円 (R5:10,000千円、 R6:10,000千円)	80,000千円 (20,000千円×4年)
募集期間	R5年12月末～R6年3月中旬	R5年12月末～R7年3月末 (制度期間:令和6年度まで)	R6年4月～
返礼品	オリジナル記念タオル (1万円以上の寄附者)	無	通常

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
232～233	7 商工費	1 商工費	4 観光費	4-2	長崎帆船まつり事業共催費 負担金	3,750 千円

### 1 概要

民間事業者のイベントと連携を行い、長崎帆船まつりを開催することで、長崎の魅力の一つである港に賑わいを創出し、地域経済の活性化を図るもの。

### 2 対応方針

長崎帆船まつりを民間イベントと連携した形で開催し、帆船や海を活用したイベントを実施し、出店やステージイベントなどは民間イベントに役割分担を行い、相乗効果を生み出し、集客力のあるイベントとして実施する。

### 3 事業概要

- (1) イベント名 2024長崎帆船まつり
- (2) 実施主体 長崎帆船まつり実行委員会
- (3) 開催期間 令和6年秋頃
- (4) 会場 長崎港、長崎水辺の森公園
- (5) 参加予定帆船 日本丸、観光丸、みらいへ
- (6) 内容 帆船一般公開、体験クルーズ、イルミネーション・ライトアップなど
- (7) 経費内訳（実行委員会の収支予算（案））



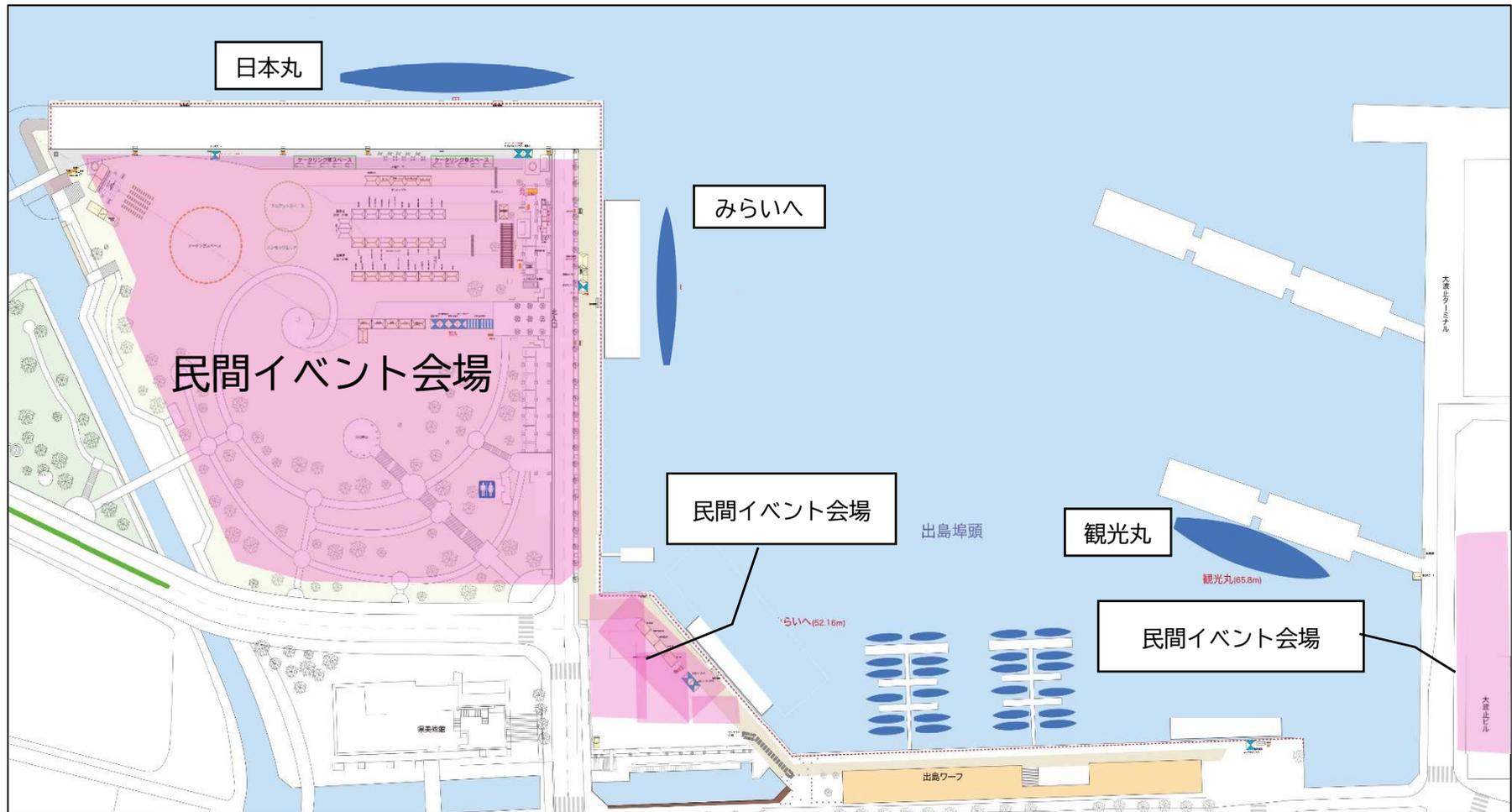
帆船一般公開



体験クルーズ

収入		支出	
日本財団助成金	15,000	帆船招聘費	4,300
長崎市負担金	3,750	船舶代理店料	4,120
関係団体負担金	200	台船使用料	1,500
協賛金	500	会場負担金	2,200
体験クルーズ売上	800	会場運営費	4,000
		委員会イベント費	2,500
		広報費・事務費	1,630
合計	20,250	合計	20,250

参考 2024長崎帆船まつり会場配置図（案）



## 参考 2023長崎帆船まつり 民間事業者との連携・役割分担

### 2023長崎帆船まつり 民間事業者との連携・役割分担

- (1) 日時：令和5年11月4日（土）、令和5年11月5日（日）
- (2) 連携イベント名：Lovefes
- (3) 来場者数：126,457人
- (4) 役割分担

長崎市の役割		Lovefesの役割
帆船招聘	海王丸、コリアナ、観光丸	飲食出店
帆船イベント	船内一般公開、体験クルーズ、ライトアップ	ステージイベント
海に関するイベント	ロープワーク教室、海技教育機構展示	花火

## 4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 3,750	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 3,750

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
234～235	7 商工費	1 商工費	4 観光費	6-3	出島運営費	14,982 <sup>千円</sup>

## 1 概要

『史跡「出島和蘭商館跡」復元整備計画』に基づき、平成8年度から本格的に取り組んでいる出島復元整備事業と併せ、展示の充実等魅力向上を行うとともに、指定管理者と協力しながら国指定史跡の公開活用を図り、施設の適切な維持管理を行う。

## 2 事業内容

令和6年度は、市が実施する企画展及び展示物の維持管理にかかる業務として十六番蔵の燻蒸業務や遺構保存処理業務等を実施する。また、旧長崎内外クラブにおいて改修工事を予定しており、レストランの休業期間が生じるため、その期間の営業補償を行う。

- (1) 事業費 14,982千円
- ア 企画展開催費 758千円
- (ア) 展示品運搬、保険料(413千円)
- (イ) パネル制作等業務委託(345千円)

- イ 出島かわら版製作費 490千円
- (ア) 印刷製本費(358千円)
- (イ) デザイン委託(132千円)

【参考】R5企画展「シーボルトと川原慶賀」



【参考】R5出島かわら版



## 2 事業内容

ウ その他維持管理費 6,045千円

(ア) 委託料(2,287千円)

十六番蔵に収蔵する貴重資料の虫食いを防止するための燻蒸業務や、露出展示している遺構の風化を防止するための薬品を塗布する遺構保存処理業務等を委託する。

十六番蔵(燻蒸業務)



一番蔵(遺構保存処理業務)



## 2 事業内容

- (イ) 施設等修繕料(1,300千円)  
旧出島橋保存小屋修繕



- (ウ) その他維持管理費(2,458千円)  
旅費、消耗品費、備品購入費等

- エ レストラン営業補償費 7,689千円  
旧長崎内外クラブ改修工事に伴うレストラン休業に係る営業補償(休業予定期間:10月~12月)



## 2 事業内容

### 【営業補償算定】

休業予定期間である10月から12月の3か月について、令和4年度の同月期間のレストラン利用率、客単価及び令和5年度の同月期間の出島入場者数に基づき売上を算定し、そこから調理の材料費を除いた額（人件費を始めとする固定費）を補償する。

#### (1) 令和6年10月～12月のレストラン売上等算定

##### ア レストラン利用率及び客単価見込算定

令和4年度の10月～12月の出島入場者数、レストラン客数、レストラン売上から、レストラン利用率及び客単価を算出

##### ア) レストラン利用率

レストラン客数/出島入場者 → 7,839人/154,020人 = 5% (①)

##### イ) レストラン客単価

レストラン売上/レストラン客数 → 12,255,103円/7,839人 = 1,560円 (②)

##### イ 令和6年度の客数見込算定

令和5年度の10月～12月の出島入場者数に令和4年度同月期間のレストラン利用率を乗じて算出

##### ア) レストラン客数見込み

令和5年度の10月～12月の出島入場者数 × 5% (①) → 140,899人 × 5% = 7,040人 (③)

##### ウ 令和6年度の売上見込算定

上記で算出した客単価見込 (②) に客数見込 (③) を乗じる。

1,560円 × 7,040人 = 10,982,400円 (④)

#### (2) 営業補償算定

上記売上見込み額 (④) から原価率30% (材料費) を控除した金額を上限として実績で補償する。

上限額: 7,689千円 (主な固定費: 人件費 (正規6名、アルバイト6名)、光熱水費、使用賃借料等)

## 2 事業内容

### 【参考】

(1) 令和4年度の10月～12月の出島入場者、レストラン客数、レストラン売上、利用率、客単価

年月日	出島入場者 (人)	客数 (人)	レストラン売上 (円)	利用率	客単価 (円)
R4.10	51,561	2,581	3,363,256	平均 5%	平均 1,560円
R4.11	61,551	3,159	4,528,763		
R4.12	40,908	2,099	4,363,084		
合計	154,020	7,839	12,255,103		

(2) 令和5年度の10月～12月の出島入場者、令和6年度の利用率及び客数見込

年月	出島入場者 (人)	利用率	客数見込 (人)
R5.10	54,257	平均 5%	7,040人
R5.11	55,556		
R5.12	31,086		
合計	140,899		

### 3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他※1	一般財源
千円 14,982	千円 —	千円 —	千円 —	千円 14,982	千円 —

※1 指定管理施設特定収入14,978千円、模写等使用料1千円、複写手数料1千円、目的外使用料1千円、拾得金返還金1千円

### ※参考

#### 1 指定管理者

出島VOF(Vennootschap Onder Firma: 共同事業体を意味するオランダ語) 以下の5者により構成

- ア 代表団体 長崎自動車株式会社(長崎市新地町3番17号)
- イ 構成団体 長崎バス商事株式会社(長崎市新地町2番10号)
- ウ 構成団体 長崎バスホテルズ株式会社(長崎市新地町3番17号)
- エ 構成団体 長崎バス建物総合管理株式会社(長崎市茂里町1番55号)
- オ 構成団体 ALSOK長崎株式会社(長崎市旭町3番6号)

#### 2 指定期間

令和2年4月1日から令和17年3月31日(15年間)

#### 3 利用料金

利用料金を指定管理者の収入として収受させる。

※入場者数

年度	R1	R2	R3	R4	R5年度 ※1月末まで
入場者数	459,147人	165,191人	196,992人	430,029人	380,332人

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
234～235	7 商工費	1 商工費	4 観光費	6-8	歴史民俗資料館運営費	千円 10,980

## 1 概要

本市の歴史資料及び民俗資料を収集保存し、その活用を図り、あわせてこれらに関連する調査研究を行い、もって市民の文化の向上に資するため、長崎市歴史民俗資料館の管理・運営を行う。

施設及び設備の維持管理は、長崎歴史民俗資料館を含む長崎市平和会館と隣接する長崎原爆資料館とを併せた3施設を一体的に運営することで経営の効率化が図られることから、3施設をグループ化し、令和元年9月1日から指定管理者が行っており、令和6年度は指定管理者を更新する。

### ■現在の指定管理

- (1) 指定管理者 長崎平和施設管理グループ
- (2) 指定期間 令和元年9月1日～令和6年8月31日(5年)
- (3) 指定管理料の総額 544,283,058円

### ■次期指定管理

- (1) 指定管理者 NBC Socia-Trustee共同事業体
- (2) 指定期間 令和6年9月1日～令和12年3月31日(5年7か月)
- (3) 指定管理料の総額 548,794,000円

## 2 事業内容

長崎市歴史民俗資料館の施設及び設備の維持管理に関する業務を指定管理業務とし、指定管理者に委託して実施する。資料の収集、保存・展示、調査・研究などの業務については、直営で行う。

### (1) 指定管理に係る業務

歴史民俗資料館(平和会館地下1階の一部 1,092.40㎡)の施設、設備の維持管理(光熱水費の支払い、清掃、警備等)

(2) 指定管理以外に係る業務

ア 常設展示

歴史資料、民俗資料を中心に展示(収蔵資料数は7,000点)

イ 企画展の実施(年5回)

(ア)新収蔵品と端午の節句展(3月～6月頃)

(イ)戦時中の暮らし展(6月～8月頃)

(ウ)くunch資料展(8月～10月頃)

(エ)秋の特別企画展(10月～12月頃)

(オ)新春展(12月～3月頃)

【参考】入館者数推移

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度※	令和3年度※	令和4年度	令和5年度 (12月末現在)
21,549人	21,744人	21,300人	7,409人	6,478人	12,547人	9,132人

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための措置

【休館】令和2年度 4/10～5/31 令和3年度 4/28～6/7、8/10～9/12、1/21～2/21

### 3 事業費内訳

(1) 指定管理に係る経費 4,669千円

(単位:千円)

項目	R6.4.1~8.31 (現指定期間)	R6.9.1~R7.3.31 (次期指定期間)	計	内容
人件費	—	849	849	清掃スタッフ報酬等
需用費	1,646	1,612	3,258	光熱水費
委託料	50	512	562	警備
合計	1,696	2,973	4,669	

(2) 指定管理以外に係る経費 6,311千円

ア 人件費 (会計年度任用職員の報酬、職員手当等)	2,933千円
イ 委託料 (展示業務委託、収蔵庫燻蒸委託料)	2,530千円
ウ その他 (消耗品、OA機器借上料等)	848千円

### 4 財源内訳

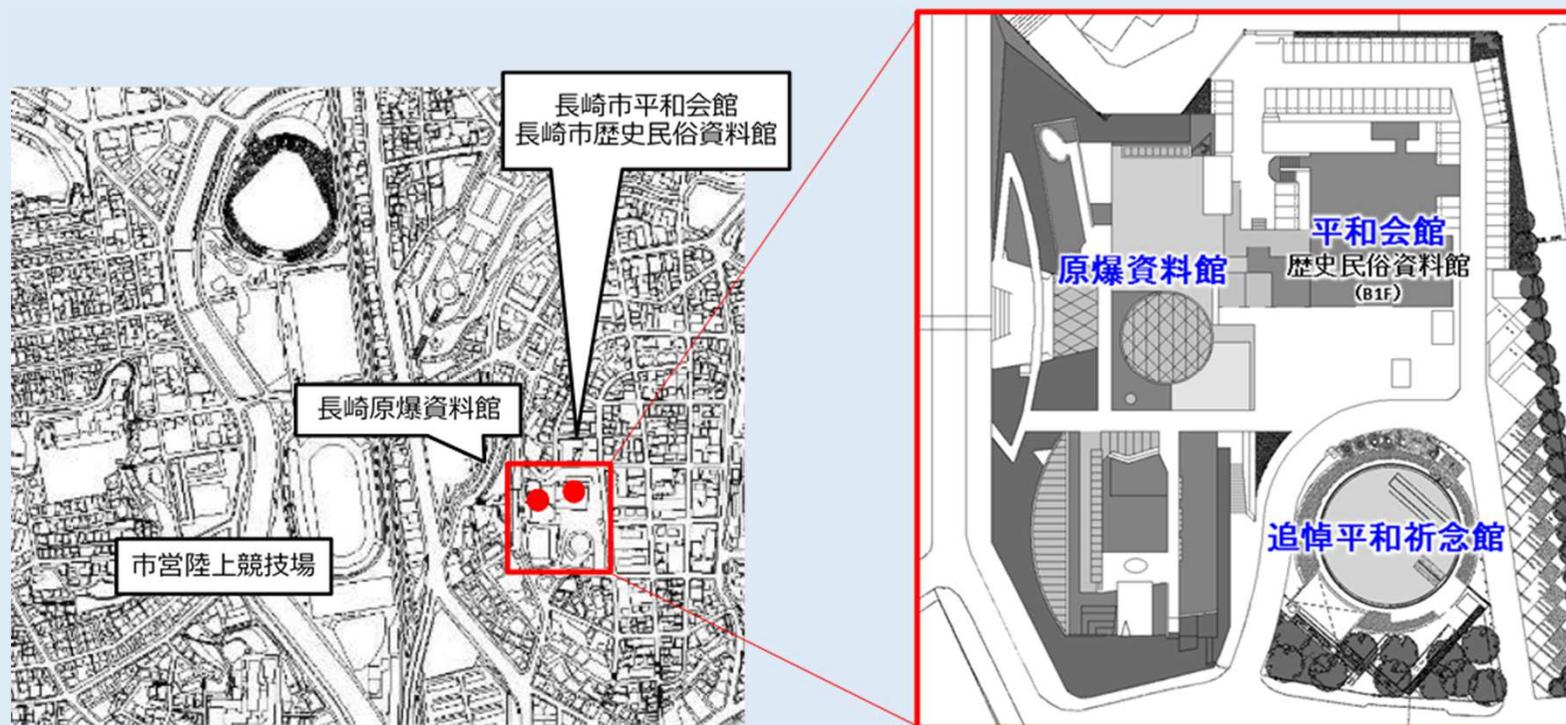
(単位:千円)

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
10,980	—	—	—	29	10,951

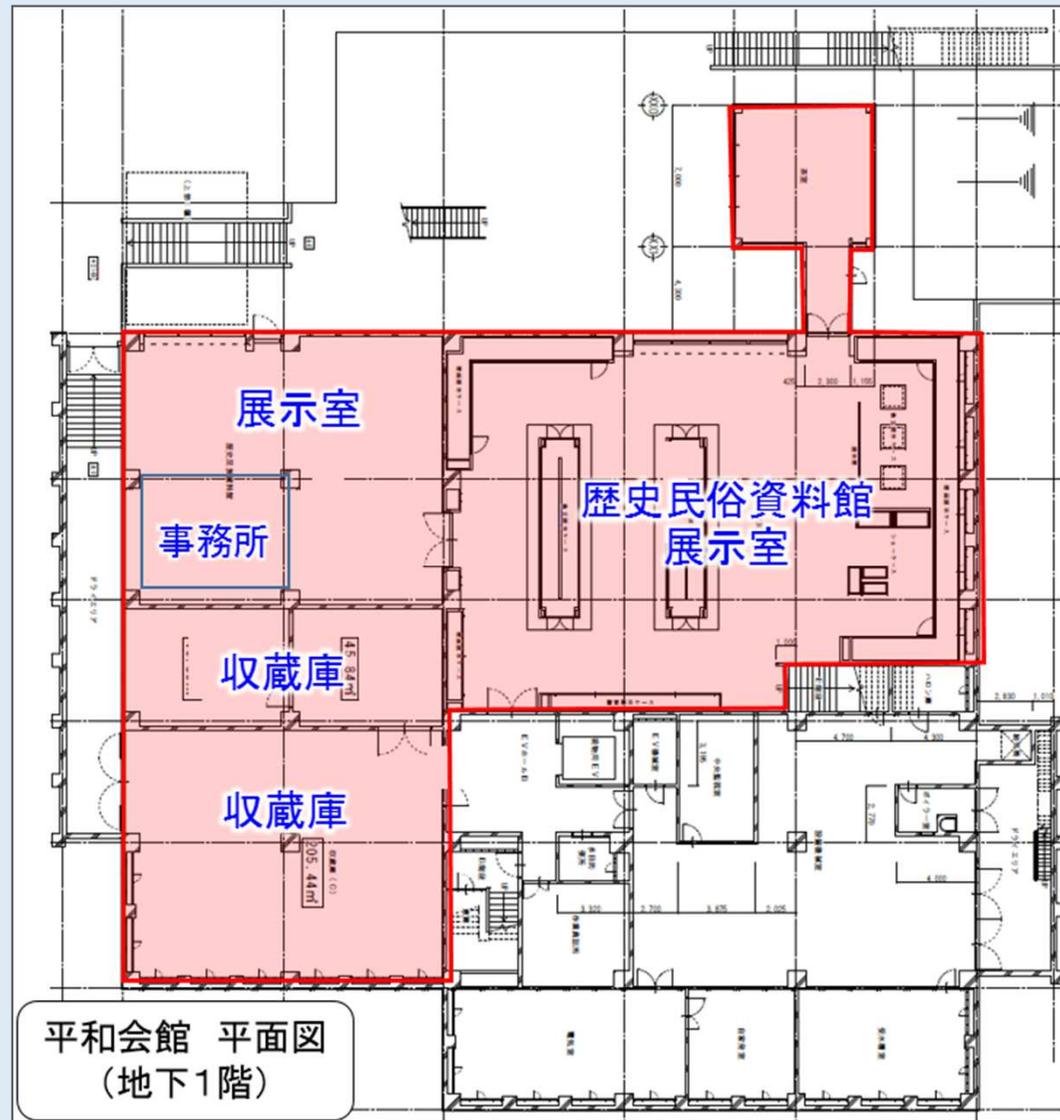
※模写等使用料 17千円 ・保険料個人負担金 12千円

## 参考 I 施設の概要

### 1 位置図



## 2 平面図



- 3 名 称 長崎市歴史民俗資料館
- 4 所在地 長崎市平野町7番8号 長崎市平和会館地下1階
- 5 構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造
- 6 設置年月日 昭和53年6月15日(平成18年4月1日 現在地へ移転)
- 7 設置目的
- 本市の歴史資料及び民俗資料を収集保存し、その活用を図り、あわせてこれらに関連する調査研究を行い、もつて市民の文化の向上に資するため、歴史民俗資料館を設ける。(長崎市歴史民俗資料館条例第1条)
- 8 施設内容 展示室、収蔵庫、事務所
- 9 開館時間 午前9時～午後5時
- 10 休館日 毎週月曜日及び12月29日から翌年1月3日まで

## 参考Ⅱ 公の施設の指定管理者の指定について

### 1 公の施設の名称

- (1) 長崎原爆資料館
- (2) 長崎市平和会館
- (3) 長崎市歴史民俗資料館

### 2 指定管理候補者の概要

- (1) 名 称 NBC Socia-Trustee 共同事業体
- (2) 所在地 長崎市尾上町5番6号
- (3) 代表者 株式会社 NBCソシア  
代表取締役 藤井 潤

### (4) 構 成

	代表団体	構成団体
名 称	株式会社NBCソシア	株式会社トラスティ建物管理
所 在 地	長崎市尾上町5番6号	長崎市桶屋町25番地
代 表 者	代表取締役 藤井 潤	代表取締役 中本 幸人
設立年月日	昭和43年5月8日	平成19年7月4日
主 な 事 業	イベント企画、配信 映像制作、ドローン 公共施設の指定管理業務 テレビ・ラジオ番組制作、ラジオ業務	マンション管理業務 総合ビル管理業務、設備管理業務 清掃業務 駐車場管理業務 警備業務

## 参考Ⅱ 公の施設の指定管理者の指定について

### 3 指定の期間

令和6年9月1日から令和12年3月31日まで

### 4 指定管理者候補者の選定

(1) 選定の方法 公募(長崎原爆資料館及び長崎市平和会館は利用料金制導入)

(2) 選定の経過

ア 応募団体数 2者

イ 候補者提案額

(単位:千円)

	令和6年度 (9/1~3/31)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	合計
総額	64,077	90,711	97,199	98,935	98,955	98,917	548,794
原爆資料館	34,481	39,090	45,578	47,314	47,329	47,303	261,095
平和会館	26,623	46,657	46,657	46,657	46,662	46,650	259,906
歴史民俗資料館	2,973	4,964	4,964	4,964	4,964	4,964	27,793

〈提案額の内訳〉

(単位:千円)

		令和6年度 (9/1~3/31)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	合計
収入 (A)		64,835	131,854	124,965	123,127	123,107	123,143	691,031
支出	人件費	47,200	80,037	80,037	80,037	80,037	80,037	447,385
	需用費	38,819	67,109	66,704	66,603	66,603	66,603	372,441
	委託料	31,182	54,930	54,930	54,930	54,930	54,930	305,832
	その他	11,711	20,489	20,493	20,492	20,492	20,490	114,167
	合計 (B)	128,912	222,565	222,164	222,062	222,062	222,060	1,239,825
市所要額 (B-A) (指定管理委託料)		64,077	90,711	97,199	98,935	98,955	98,917	548,794

## ウ 指定管理者候補者選定審査会による審査

### (ア) 選定審査会の構成(5人)

会 長	河合 公明	長崎大学核兵器廃絶研究センター
職務代理者	大塚 潤	長崎市中学校校長会
委 員	川野 浩一	長崎県平和運動センター被爆者連絡協議会
委 員	田中 雅資	一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会
委 員	森田 健一郎	九州北部税理士会長崎支部

### (イ) 審査経過

回数	開催日	内容
第1回	令和5年9月5日	【委員5人出席】 会長選出及び職務代理者指名、指定管理者制度等の概要説明、募集要項等の協議
第2回	令和5年12月26日	【委員5人出席】 審査方法等の説明、面接審査、指定管理者候補者の選定

### (ウ) 第一順位の審査結果

公の施設の指定管理における経験と実績に基づいた計画であり、かつ、今後の可能性を感じる意欲的な提案内容となっていた。

特に、令和6年4月から指定管理業務を担う予定である長崎港松が枝国際ターミナルとの連携によるインバウンドへの取組みなど、事業者が持つ強みやノウハウを生かした提案が高く評価された。

将来的なビジョンも明確に示されており、今後の展開が期待できる提案となっていた。

## (エ) 審査会総評

### ■ 総括的な講評

第一順位者、第二順位者ともに、原爆・平和、被爆体験の継承に関する事業の重要性、平和発信の拠点施設としての原爆資料館の使命及び3施設の設置目的等をよく理解したうえで具体的な取組みが提案されている。また、施設を一体的に運営するうえで前提となる安定した経営基盤を有しており、いずれの団体も候補者になり得る運営能力を有している。

価格点では同点であり、技術点の「基本事項」「管理運営体制」の項目で僅差だったものの、「事業計画」の項目において、事業体が持つ強みやノウハウを生かした意欲的な提案が高く評価された第一順位者と、現状の問題点を的確に抽出し、よく考えた計画が評価された一方で、新たな発想という点でやや欠ける提案となった第二順位者とで、大きな差が出る結果となった。

以上のことから、当審査会は、第一順位の「NBC Socia-Trustee共同事業体」を長崎原爆資料館、長崎市平和会館及び長崎市歴史民俗資料館の指定管理者候補者に選定した。

### ■ 選定審査会委員からの要望・意見

- ・ 長崎市の公の施設の指定管理者として、長崎市と密に連携を図りながら、関係団体等と十分に協議をしたうえで、客観性、妥当性を確保しながら業務を進めてほしい。
- ・ 提案のあった企画については、具体的な内容やスケジュール等を長崎市や関係団体等と協議し、実現性を高めてほしい。
- ・ 効率化を図りつつも、状況を勘案しながら、適切な人員配置をタイムリーに行ってほしい。

債務負担行為		期 間	限度額 (設定額)
ページ	事 項		
336～337	歴史民俗資料館指定管理	令和7年度から 令和11年度まで	千円 24,820

### 1 債務負担行為の目的

長崎市歴史民俗資料館の管理において、NBC Socia-Trustee共同事業体を指定管理者として指定するにあたり、指定期間のうち令和6年度当初予算計上分を除く令和7年度から令和11年度までの委託に係る経費について、債務負担行為の設定を行うもの。

### 2 債務負担行為限度額の内訳

#### 指定管理委託料

(単位:千円)

項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	合 計
各年度内訳	4,964	4,964	4,964	4,964	4,964	24,820
人件費	1,559	1,559	1,559	1,559	1,559	7,795
需用費	2,529	2,529	2,529	2,529	2,529	12,645
委託料	876	876	876	876	876	4,380

### 3 財源内訳

(単位:千円)

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
24,820	—	—	—	—	24,820

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
236～237	7 商工費	1 商工費	4 観光費	8-1	【補助】観光施設整備事業費 出島	千円 37,000

## 1 概要

出島内には、第Ⅰ期(平成12年3月完成)復元建造物5棟、第Ⅱ期(平成18年3月完成)復元建造物5棟、第Ⅲ期(平成28年10月完成)復元建造物6棟が完成しており、他に旧出島神学校等の明治期の洋館等を含めて、全21棟の建物が存在している。このうち、第Ⅲ期復元建造物を除く15棟の建物については、経年劣化による傷み等が発生しているため、令和元年度に、年次改修計画を策定した。

この改修計画に基づき、入場者の見学への支障を最小限にとどめること等に配慮しつつ、緊急度の高い建物から計画的・効率的に改修工事を実施するもののうち、歴史的建造物として補助対象となる旧長崎内外クラブ及び旧出島神学校の改修工事を行う。

## 2 事業内容

### (1)事業費

令和6年度は、旧出島神学校改修工事設計及び旧長崎内外クラブ工事を行う。

ア 旧出島神学校改修工事設計  
4,100千円

・屋根、外壁、内装等

イ 旧長崎内外クラブ改修工事  
32,900千円

・建具調整、外部補修、瓦補修等

### (参考)出島平面図



## 2 事業内容

(2) 主な改修工事予定箇所(詳細)

【旧長崎内外クラブ(建具調整、外部補修、瓦補修等)】



### 3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※1	県支出金※2	地方債※3	その他※4	一般財源
千円 37,000	千円 8,931	千円 893	千円 24,400	千円 2,776	千円 —

※1 歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業費 国庫補助(上限:50%、内示率:24%)

※2 指定文化財保存整備事業費補助金(補助率:対象経費から国庫補助額を減じた額の2/5以内)

※3 地域活性化事業債 充当率90%(交付税措置率30%)

※4 出島史跡整備基金繰入金

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
236～237	7 商工費	1 商工費	4 観光費	9-1	【単独】観光施設整備事業費 出島	千円 65,500

## 1 概要

出島内には、第Ⅰ期(平成12年3月完成)復元建造物5棟、第Ⅱ期(平成18年3月完成)復元建造物5棟、第Ⅲ期(平成28年10月完成)復元建造物6棟が完成しており、他に旧出島神学校等の明治期の洋館等を含めて、全21棟の建物が存在している。このうち、第Ⅲ期復元建造物を除く15棟の建物については、経年劣化による傷み等が発生しているため、令和元年度に、年次改修計画を策定した。

この改修計画に基づき、入場者の見学への支障を最小限にとどめること等に配慮しつつ、緊急度の高い建物から計画的・効率的に改修工事を実施する。

## 2 事業内容

### (1) 事業費

令和6年度は、拝礼筆者蘭人部屋、三番蔵などの改修工事を行う。

#### ア 出島和蘭商館跡内復元建造物等

改修支援業務委託 1,100千円

- ・復元建造物の改修工事について、専門家から技術的な支援を受ける。

#### イ 既存復元建造物改修工事 64,400千円

- ・拝礼筆者蘭人部屋(一部)
- ・三番蔵(一部)
- ・一番船船頭部屋(一部)
- ・水門
- ・西側板塀
- ・東側漆喰塀

【参考】出島平面図



## 2 事業内容

(2) 主な改修工事予定箇所(詳細)

【拝礼筆者蘭人部屋(たたき・壁中塗り改修)】



【三番蔵(動物除けパネル設置、空調改修)】



【一番船船頭部屋(板庇改修)】



## 2 事業内容

### (2) 主な改修工事予定箇所(詳細)

#### 【水門(外部塗装、内部漆喰塗り替え)】



#### 【西側板塀(塗り替え、部分補修等)】



#### 【東側漆喰塀(中塗りやりかえ、漆喰やりかえ等)】



### 3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他※2	一般財源
千円 65,500	千円 —	千円 —	千円 58,900	千円 6,600	千円 —

※1 地域活性化事業債 充当率90%(交付税措置率30%)

※2 出島史跡整備基金繰入金

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
236~237	7 商工費	1 商工費	4 観光費	9-2	【単独】観光施設整備事業費 べっ甲工芸館	千 10,800

### 1 事業概要

長崎市べっ甲工芸館に設置している空調機7台(平成14年設置)が経年劣化により故障したため、その取替工事を行うもの。

### 2 事業内容及び事業費

件 名	工事概要	事業費
べっ甲工芸館空調設備改修工事	既存空調設備の撤去及び空調設備の新設 空調機:7台 コンプレッサー:1台〔集中管理〕	10,800千円

### 3 財源内訳

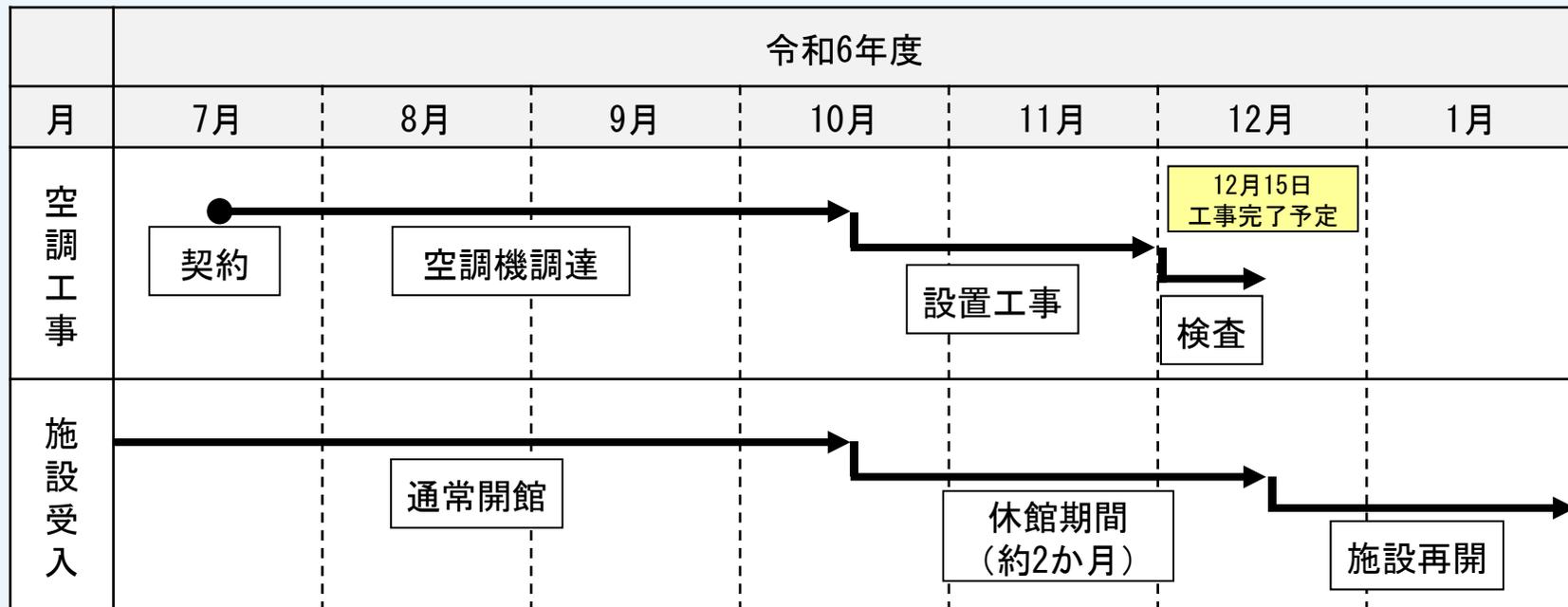
事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 10,800	千円 0	千円 0	千円 9,700	千円 0	千円 1,100

※地域活性化事業債(充当率:90%、交付税措置率:30%)

#### 4 事業実施の必要性

当該施設は、コンプレッサー1台で空調機7台の温度管理を行っており、老朽化のためコンプレッサーが故障していることから、空調設備の取替改修は夏季を含め施設の供用のために必要である。

#### 5 スケジュール



## 6 参考

### (1) 利用者数

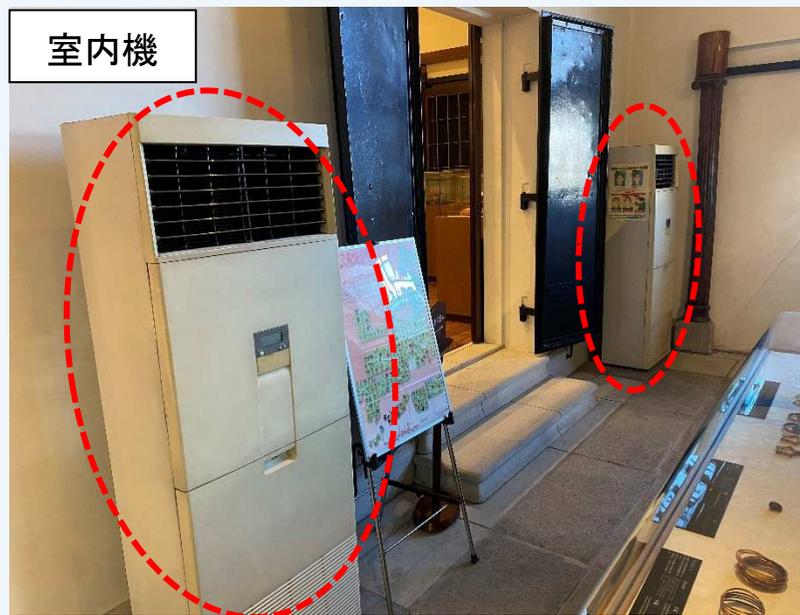
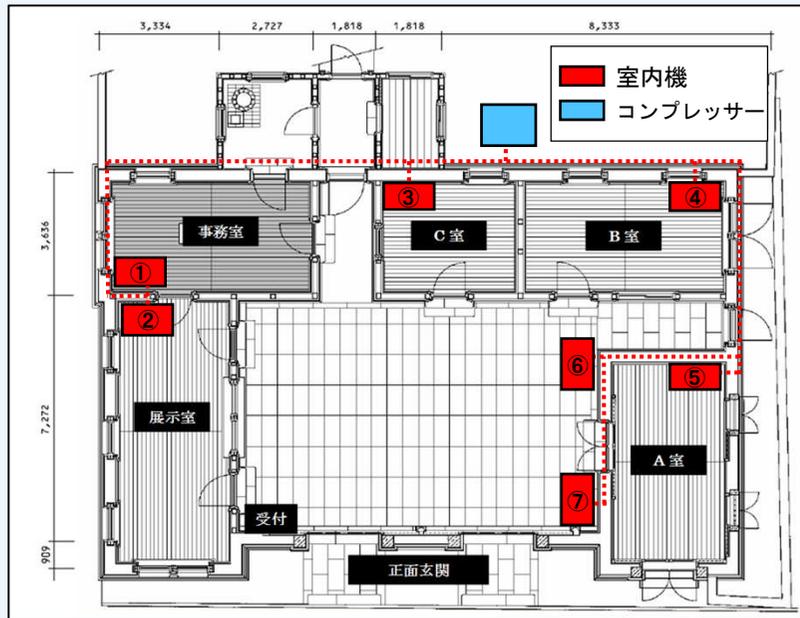
(単位:人)

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年 ※12月末時点
3,549	3,071	1,220	1,231	2,149	2,136

### (2) 位置図及び外観写真



(3) 平面図及び参考写真



予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
236～237	7 商工費	1 商工費	4 観光費	9-3	【単独】観光施設整備事業費 長崎歴史文化博物館	千円 101,300

## 1 概要

長崎歴史文化博物館を健全かつ経済的に維持・運営していくため、長期修繕計画(30年間)に基づき、建物や消防設備等の整備・修繕や展示照明のLED化による省資源化を進める。また、老朽化した収蔵資料データベース(ながさきミュージアムネットワークシステム)の更新を行う。

## 2 事業内容

### (1) 実施内容

県に対する負担金

(単位:千円)

	項目	金額	内容
ア	木部灰汁抜き補修	13,112	長崎奉行所復元部分の一部の灰汁抜き(汚れ落とし・シミ抜き等)と補修を行う。*3か年計画の3年目
イ	駐車場管制設備更新	4,876	博物館の駐車場管制設備について、機器の取替を行う。
ウ	換気設備更新	12,052	換気設備(全熱交換器、吸気ファン、排気ファン)の取替及び整備を行う。
エ	防災複合盤内中継器交換	587	防災用中継器(火災用中継器、防排煙中継器、ガス漏れ用中継機器)の取替、調整及び検査を行う。
オ	衛生ポンプ交換	1,100	汚物用水中ポンプ(湧水及び排水の8系統)の取替及び調整を行う。

## 2 事業内容

(単位: 千円)

	項目	金額	内容
カ	博物館客数情報システム設備	1, 649	博物館の客数情報システムにおいて機器の取替、修繕を行う。
キ	展示室及び壁面展示ケース照明交換(LED化)	63, 067	3階展示室1~4の照明器具をLED化する。
ク	移動展示ケース照明交換(LED化)	1, 943	展示ケース(傾斜覗きケース)の照明器具をLED化する。
ケ	ながさきミュージアムネットワークシステム更新	2, 914	収蔵資料・コレクションのデータベース改修整備及びハードウェア調達を行う。

## 2 事業内容

### (2) 事業費

長崎歴史文化博物館の建設に係る負担割合 県2:市1に基づく。

ア 木部灰汁抜き補修	39,336	千円	( 県	26,224	千円	市	13,112	千円 )	
イ 駐車場管制設備更新	14,630	千円	( 県	9,754	千円	市	4,876	千円 )	
ウ 換気設備更新	36,157	千円	( 県	24,105	千円	市	12,052	千円 )	
エ 防災複合盤内中継器交換	1,760	千円	( 県	1,173	千円	市	587	千円 )	
オ 衛生ポンプ交換	3,300	千円	( 県	2,200	千円	市	1,100	千円 )	
カ 博物館客数 情報システム設備機器更新	4,947	千円	( 県	3,298	千円	市	1,649	千円 )	
キ 展示室照明交換(LED化) ・ケース改修	189,200	千円	( 県	126,133	千円	市	63,067	千円 )	
ク 展示ケース照明交換(LED化)	5,830	千円	( 県	3,887	千円	市	1,943	千円 )	
ケ ながさきミュージアムネットワーク システム更新	28,890	千円	( 県	8,669	千円	市	2,914	千円 )	※国庫補助 17,307千円
総事業費	324,050	千円	( 県	205,443	千円	市	101,300	千円 )	※国庫補助 17,307千円

### 3 財源内訳

(単位:千円)

事業費	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
101,300	—	—	91,100	—	10,200

※公共施設等適正管理推進事業債(長寿命化事業) 充当率90%(交付税措置率30%)

### 4 事業実施の必要性とその効果

#### (1)必要性

長崎歴史文化博物館は、開館から18年が経過しており、消防設備ほか老朽化した設備・機器等を計画的に整備・改修するとともに、展示設備の省資源化の推進を図る必要がある。また、資料検索の効率化等により展示資料を適正に管理する必要がある。

#### (2)効果

来館者に快適な観覧環境を提供するとともに、収蔵資料の適切な活用と管理が図られる。

## 5 参考

### (1) 整備箇所

ア長崎奉行所復元部分の一部(木部)

南側



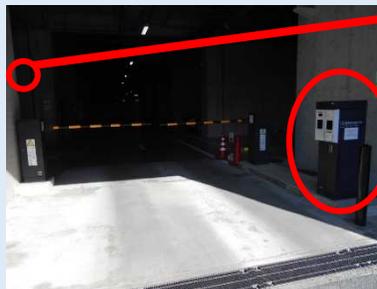
東側



屋外に露出している木部の汚れ落としや染み抜きを行う

### イ 駐車所管制設備

駐車場



事前精算機



発券機



駐車場管制信号制御盤



## 5 参考

### エ 防災複合盤内中継器



防災複合盤



中継器

### オ 衛生ポンプ



水中ポンプ



水中ポンプ制御盤

## 5 参考

### カ 博物館客数情報システム設備



客数情報システム



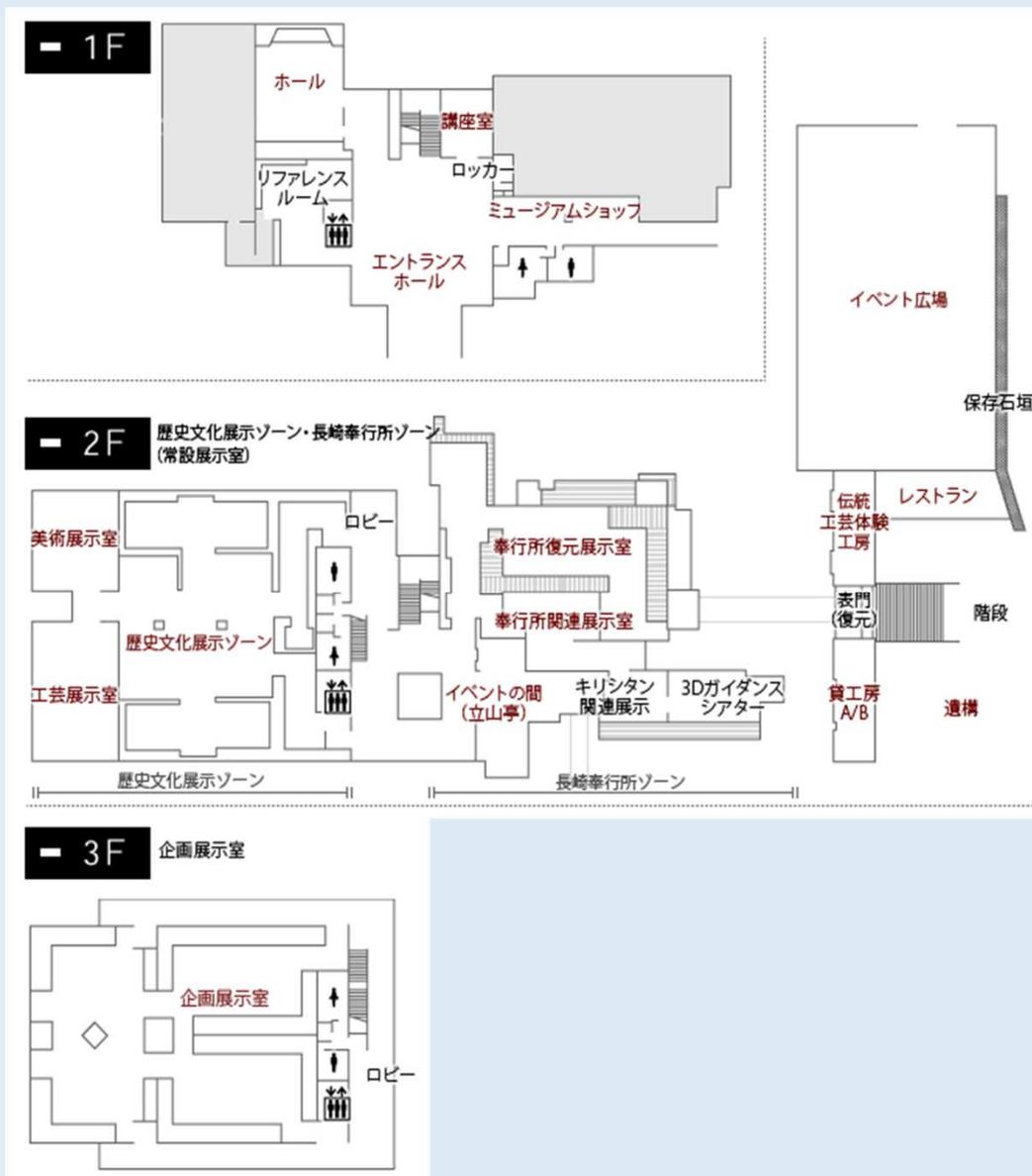
### キ、ク 展示室照明・ケース



3階展示室・展示ケース

## 5 参考

### (2) 施設平面図



予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
236~237	7 商工費	1 商工費	4 観光費	9-4	【単独】観光施設整備事業費 稲佐山山頂魅力向上整備	千円 23,300

## 1 事業概要

稲佐山山頂電波塔のライトアップは、平成28年度に設置後、季節やイベントの開催に合わせて演出を実施しているほか、社会的な啓発などを目的にライトアップを行っており、長崎の夜景のランドマークとしての役割を担っている設備である。

当該ライトアップ設備は、稲佐山山頂電波塔という設置環境から、設置以降雷被害が発生しており、その対策として、令和2年度に避雷器（SPD）を設置し、被害が軽減されるなど一定の効果がみられたが、引続き雷被害は発生しているため、雷対策専門メーカー、電波塔管理者及び長崎市の3者で共同し、調査・研究を行ったところ、誘導雷による被害の可能性があることが判明し、現対策と別の誘導雷対策が必要との調査結果を受けたため実施するもの。

## 2 事業内容及び事業費

- (1) 稲佐山山頂電波塔ライトアップ設備雷保護対策工事（23,300千円）
- (2) 施工期間 契約日から約6か月
- (3) 施工内容
  - ア. 誘導雷対策
    - ・電源回路に変圧器（耐雷トランス）設置【6台（照明器具10台×6系統）】
    - ・ライトアップ照明器具と架台の絶縁【照明器具60台分】
    - ・劣化した避雷器（SPD）の交換【17台（内訳 NHK塔：9台、FM塔：6台、制御盤：2台）】

### 3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他	一般財源
千円 23,300	千円 —	千円 —	千円 20,900	千円 —	千円 2,400

※1 地域活性化事業債 充当率90%（交付税措置率：30%）

### 4 スケジュール

時期	摘要
3月中旬～4月上旬	公告準備⇒公告
4月中旬～5月中旬	開札⇒契約⇒事前準備
5月中旬～6月中旬	電波塔所有者との調整及び現況調査等
7月～	故障照明機器撤去運搬⇒修理⇒再設置施工等
～10月	竣工

## 5 参考(誘導雷対策イメージ図)

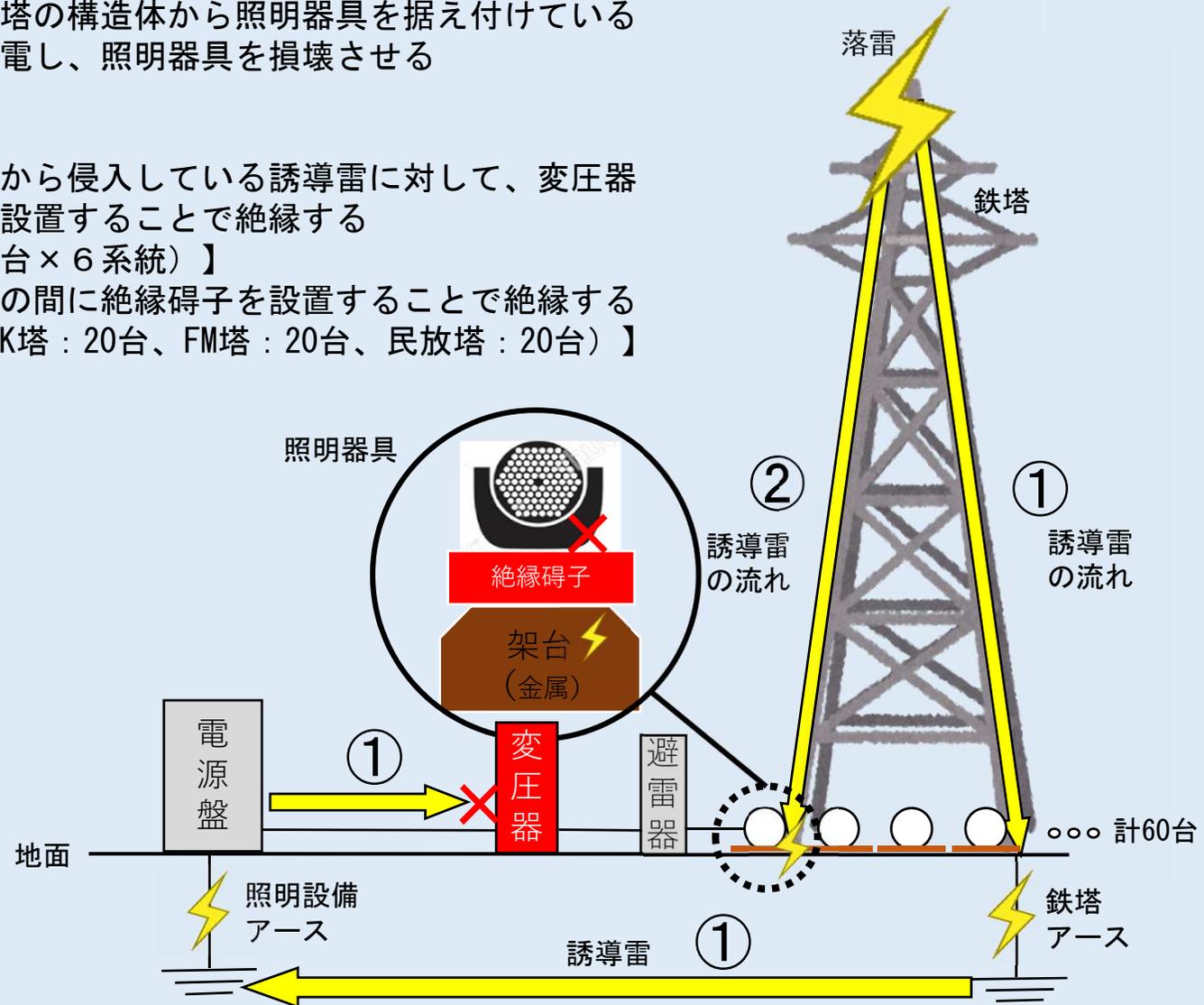
### 誘導雷の生じる被害

- ①鉄塔に落雷し、鉄塔のアースから地中へ伝わった誘導雷が照明設備のアースへ侵入し、照明器具を損壊させる
- ②鉄塔に落雷し、鉄塔の構造体から照明器具を据え付けている架台（金属）へ導電し、照明器具を損壊させる

### 対策について

- ①照明設備のアースから侵入している誘導雷に対して、変圧器（耐雷トランス）を設置することで絶縁する  
【6台（照明器具10台×6系統）】
- ②照明器具と架台との間に絶縁碍子を設置することで絶縁する  
【照明器具60台（NHK塔：20台、FM塔：20台、民放塔：20台）】

### 【イメージ図】



5 参考(画像)

照明器具設置状況



避雷器設置状況



予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
					宿泊税の活用について	325,216 千円

## 1 概要

都市の魅力を高め、国内外の人々の来訪及び交流を促進するとともに、観光の振興を図る施策に要する費用に充てることを目的とし、令和5年4月1日から宿泊税を導入。

### ア 制度概要

#### (ア) 課税客体(税金のかかる対象)

長崎市内の宿泊施設への宿泊行為

#### (イ) 納税義務者

長崎市内の旅館・ホテル、簡易宿所、住宅宿泊事業に係る施設への宿泊者

#### (ウ) 税額 宿泊者1人1泊あたり次のとおり

宿泊料金	税額
1万円未満	100円
1万円以上2万円未満	200円
2万円以上	500円

#### (エ) 課税免除

a 修学旅行等の宿泊を伴う学校行事に参加する児童、生徒並びに引率者

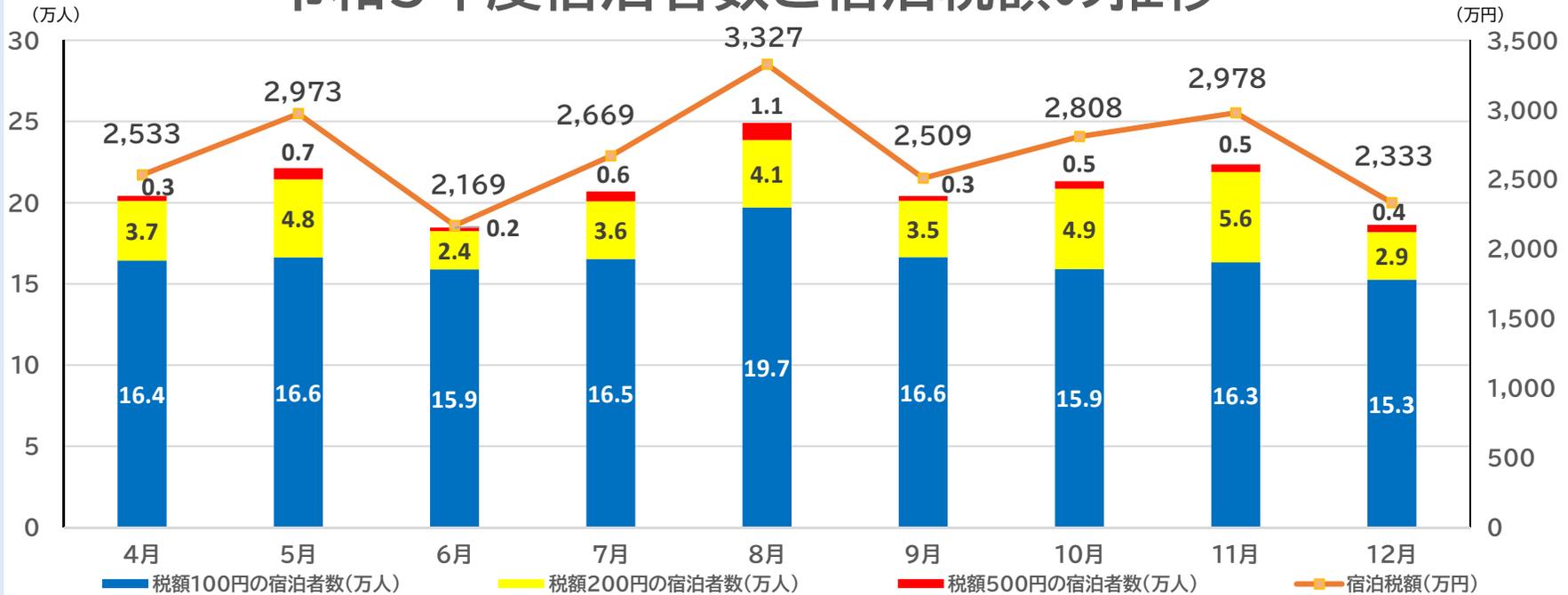
b 宿泊を伴うスポーツ大会・文化大会に参加する児童、生徒並びに引率者

#### (オ) 導入時期 令和5年4月1日

## 2 令和6年度当初予算額

### 令和5年度宿泊者数と宿泊税額の推移

※実績はR6.2現在  
宿泊者数は課税対象外を除く



#### 令和5年4月～12月合計と令和5年度予算の比較

	宿泊者数	宿泊税額
4～12月合計(A) (実績)	189万人	2億4,299万円
【参考】R5予算(見込み) 9か月分相当(B)	181万人	3億 464万円
(A)-(B)	8万人	▲6,165万円

#### 令和6年度当初予算

**宿泊者数 247万人**  
**予算額 3億2,521万6千円**

宿泊料金	税額	R6宿泊者数	R6予算額
1万円未満	100円	192万人	1億9,158万8千円
1万円以上 2万円未満	200円	48万人	9,593万3千円
2万円以上	500円	7万人	3,769万5千円
	合計	247万人	3億2,521万6千円

### 3 使途の考え方

「訪問客への還元」を方針とし、

- ① 「利便性」の向上につながる事業
- ② 「満足度」の向上につながる事業
- ③ 「再訪意欲」の向上につながる事業

に活用する。

使途の分類である「5つの柱」(宿泊税賦課費を除く)に基づき、

①から⑤の順位で充当する。

- ① サービス向上・消費拡大
- ② 情報提供
- ③ 受入環境整備
- ④ 資源磨き
- ⑤ 緊急時の対応

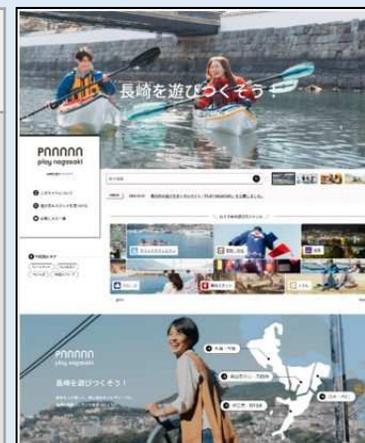
#### 4 使途の分類と充当事業

# ① サービス向上・消費拡大

サービス向上により、訪問客の滞在時間や消費機会が拡大することで満足度の向上につながる事業として、長崎ならではの朝型・夜型の体験コンテンツの充実などに取り組む。

宿泊税充当額 51,417 千円（事業費 91,556千円）

<p>○観光地域づくり推進費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サステナブルツーリズムの推進</li> <li>・ 体験商品・長崎グルメ情報の提供</li> <li>・ クチコミ対策、食の多様化への対応支援</li> <li>・ ガイドの育成</li> </ul>	<p>43,464 (44,729)</p> <p>10,436</p> <p>17,632</p> <p>12,976</p> <p>2,420</p>
<p>○長崎さるく推進費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長崎さるくの情報発信、ガイド研修</li> </ul>	<p>4,453 (38,371)</p>
<p>○MICE推進費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ MICE開催に向けた機運醸成や、長崎が持つ地域資源・ユニークベニユーを活用したレセプション等の実施</li> </ul>	<p>3,500 (8,456)</p>



#### 4 使途の分類と充当事業

## ②情報提供

ICTなどを活用し、訪問客が求める情報を適時提供し満足度の向上に繋げる事業として、主にワンストップの情報提供に取り組む。

宿泊税充当額 155,548千円（事業費 228,544千円）

<p>○観光地域づくり推進費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光ワンストップサイトにおける情報提供</li> <li>・デジタル広告等による訴求プロモーション</li> <li>・MICE参加者市内回遊促進施策</li> </ul>	<p>141,001 (171,332)</p> <p>20,482</p> <p>116,203</p> <p>4,316</p>
<p>○観光客誘致推進費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長崎市を舞台とした映画、ドラマ等の作品や出演する著名人を活用したPR</li> </ul>	<p>3,000 (10,727)</p>
<p>○さしみシティ推進事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドブック作成等による、誘客および訪問客への情報提供</li> </ul>	<p>5,647 (25,464)</p>



#### 4 使途の分類と充当事業

## ②情報提供

ICTなどを活用し、訪問客が求める情報を適時提供し満足度の向上に繋げる事業として、主にワンストップの情報提供に取り組む。

<p>○世界・日本新三大夜景推進費 ・日本新三大夜景の情報発信</p>	500 (10,221)	
<p>○インバウンド誘致広域連携事業費 ・万博を契機とした他都市との連携 プロモーション、海外デジタル ノマド誘客</p>	5,400 (10,800)	

#### 4 使途の分類と充当事業

### ③ 受入環境整備

施設等の受入れ環境を整え、訪問客の利便性や満足度の向上に繋がる事業として、「観光案内所運営」や「無線LAN」などの整備に取り組む。

宿泊税充当額 55,560千円（事業費 131,770千円）

#### ○観光地域づくり推進費

- ・ 市民及び市内事業者のおもてなし機運醸成

42,945 (85,134)



#### ○観光産業人材育成事業費

- ・ 将来の観光産業を支える人材の育成のための、小中学校における「観光教育出前授業」の実施

476 (476)



#### ○総合観光案内所運営費

- ・ 訪問客の利便性向上のための情報展示や多言語による案内の実施（令和4年度に新設）

8,740 (30,980)



#### ○観光客受入環境整備費

- ・ Wi-Fi新設（長崎駅東口広場）、多言語案内板整備、オーバーツーリズム対策警備実施

3,399 (15,180)



#### 4 使途の分類と充当事業

### ④ 資源磨き

資源の磨き上げや施設の利活用により、訪問客の満足度を向上させる事業として、主に観光施設のライトアップ整備やユニークベニューの利活用支援事業に取り組む。

### ⑤ 緊急時の対応等

基金を積み立て、その基金を国内外の人々の交流を促進し、観光需要の回復及び喚起を図るための事業(観光キャンペーン等)に充当する。

○観光交流基金積立金

宿泊税充当額 50,000千円

### ● 宿泊税賦課費

宿泊税賦課業務に係る費用及び宿泊税特別徴収事務報償金に充当する。

○宿泊税賦課費

宿泊税充当額 12,691千円 (事業費 12,694千円)



予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
290～291	10 教育費	6 社会教育費	3 文化財保護費	1-11	洋館活用手法等検討費	千円 20,000

### 1 事業目的

東山手・南山手伝統的建造物群保存地区に位置する市所有の洋館等10件について、来訪者等にとって魅力的な活用がなされておらず、地域住民などからも民間活力を導入して各物件の個性と魅力を最大限に活かした活用を望む声がある。

官民連携による洋館等の活用にあたり適切な事業手法等の検討を行う。

### 2 事業内容

市所有の洋館等について、官民連携による魅力的な活用を行うために、適切な事業手法等について、導入可能性調査を行う。

#### 【調査内容】

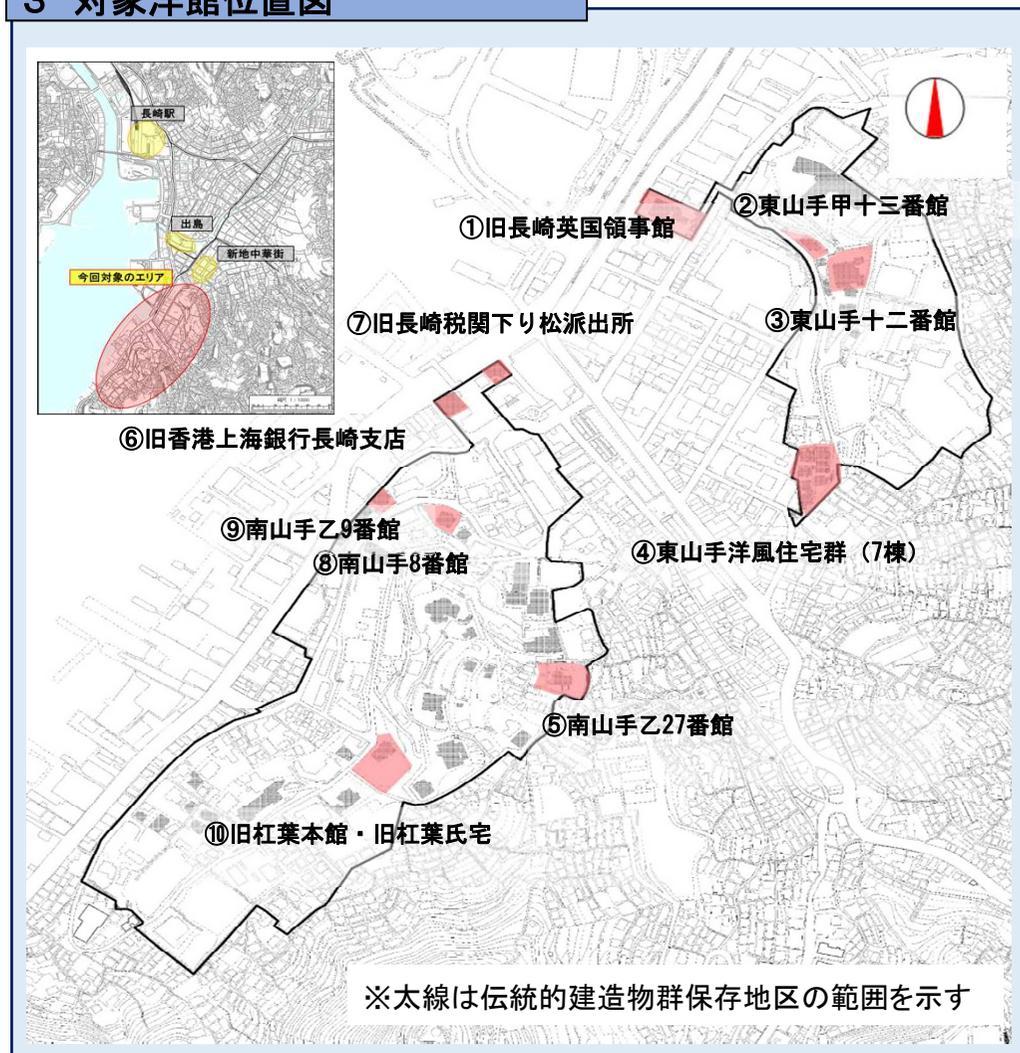
- 市有洋館に関する民間活力の導入可能性調査
- ・想定される事業手法、及びその契約手法の整理や比較
- ・官民リスク分担比較等の実施
- ・民間事業者の参入可能性の検証ほか

#### 【対象建物】

- ①旧長崎英国領事館
- ②東山手甲十三番館
- ③東山手十二番館
- ④東山手洋風住宅群（7棟）
- ⑤南山手乙27番館
- ⑥旧香港上海銀行長崎支店
- ⑦旧長崎税関下り松派出所
- ⑧南山手8番館
- ⑨南山手乙9番館
- ⑩旧杠葉本館・旧杠葉氏宅

【事業期間】 令和6年度

### 3 対象洋館位置図



## 4 洋館活用の検討の経過等について

### 長崎市歴史的風致維持向上計画（令和2年3月認定）

方針：歴史・伝統を守り、磨き、生かすことで、営みと賑わいが共生できるまち

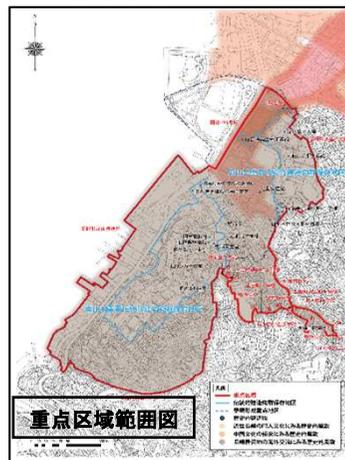
「歴史まちづくり法に基づき策定」

歴史的風致 5地区（うち重点区域 1地区）

- ①近世長崎の町人文化にみる歴史的風致（寺町ほか）
- ②中国文化の伝来にみる歴史的風致（館内町ほか）
- ③長崎居留地の海外交流にみる歴史的風致（東山手・南山手町ほか）※重点区域
- ④外海の石積文化にみる歴史的風致（西出津町ほか）
- ⑤被爆継承と平和の祈りにみる歴史的風致（松山町ほか）

重点区域とは？

2つの世界文化遺産の構成や重要文化財等の価値の高い歴史的建造物が集積し、かつ歴史的資産を生かしたまちづくりの取組みを速やかに図るべき区域



#### 重点区域の文化財に関する取組方針

文化財の保存・活用

文化財の修理（整備）

文化財の周辺環境の保全

文化財の防災

文化財の保存及び活用の普及・啓発

文化財の保存・活用の体制と今後ほか

### 重点区域歴史まちづくり計画（長崎居留地歴まちグランドデザイン）（令和年3月11日 官民協働で策定）

将来像「営みとつながりが創る新しい居留地物語～居留地から居住地へ～」

#### 将来像の実現に向けた4つのタスク（課題）

暮らし環境の充実

活動・営みの活潑化と持続性の担保

地域ブランディング

**地域資源の価値向上**  
歴史的資源の維持・保存、民間活力により現代のニーズに対応した活用を行うことで持続的に維持・継承が必要。

#### 将来像の実現するための対応方針

時代のニーズに対応した暮らしの実現と快適性・利便性の向上

まちづくり活動や地域経済活動の活発化

地域ブランディングの推進

**歴史的資源や景観資産の保全と活用**

- ・歴史的建造物の用途の見直し
- ・民間活力の導入促進

#### ○歴史的建造物の用途の見直し（イメージ）（施設の統廃合等）「令和4年～5年度実施」

・「重点区域歴史まちづくり計画」と民間事業者に活用したい洋館と用途について意見を頂いたサウンディング調査の結果をもとに、歴史的建造物の用途の見直し（イメージ）の作成を行った。⇒資料1

#### ○民間活力の導入促進「令和6年度予定」

・歴史的建造物の用途の見直し（イメージ）をもとに洋館活用事業手法等検討事業（民間活力の導入可能性調査）を本予算で実施予定

## 5 スケジュール(案)

年度	R 5			R 6			R 7			R 8		
月	4	8	12	4	8	12	4	8	12	4	8	12
導入可能性調査	補助金交付決定 R6年4月 ●			業務委託 期間: R6年6月～R7年2月末								
調査後の活用事業実施等	サウンディング調査結果を踏まえた公募条件の整理: サウンディング調査終了後～R7年7月末						事業実施					

## 6 財源内訳

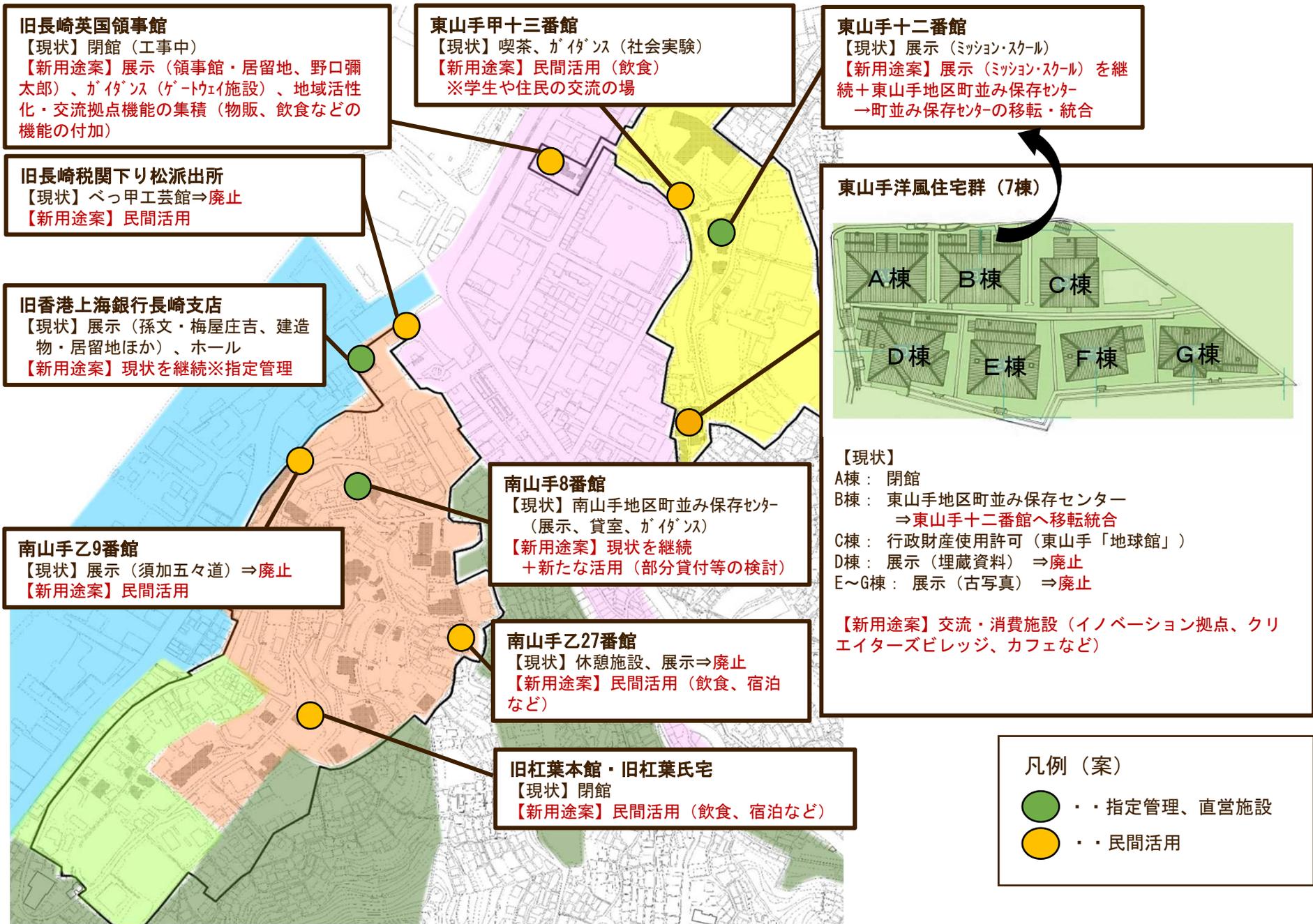
事業費	財源内訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 20,000	千円 20,000	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —

※ 先導的官民連携支援事業補助金 補助率10/10 (国土交通省)

●「先導的官民連携支援事業」は、官民連携事業の案件形成を目的にして、地方公共団体等に対して調査委託費を助成するもの

# 歴史的建造物の用途の見直し（イメージ）（施設の統廃合等）

資料 1



### 1 計画の概要

#### 計画の対象範囲

本計画の対象は、長崎市歴史的風致維持向上計画の重点区域の範囲（東山手・南山手区域）とします。

#### 計画の目的

本計画は、重点区域において歴史的資源を生かしたまちづくり（歴史まちづくり）に官民協働で取り組み、地域の歴史的風致の維持向上を図ることで持続可能な地域を実現するため、将来像とその実現のための基本的な方向性を示すことを目的とします。

### 2 地域の現状

#### 「地域資源の価値」に関する現状

- 歴史的建造物の活用方法が限定され、市民や来訪者のニーズと合致していない
- 歴史的建造物の維持・管理コストの増加 ほか

### 3 目指す将来像

#### 将来像の実現に向けた4つのタスク

- 地域資源の価値向上**  
洋館等の歴史的資源・眺望や町並み等の景観資産の活用
- 暮らしの環境の充実
- 活動・営みの活発化との持続性の担保
- 地域ブランディング

### 4 将来を実現するための対応方針

#### 歴史的建造物等の魅力的な活用による保存

歴史的建造物の用途の見直しや民間活力の導入を促進し、賑わいと経済波及効果を生み出すことで、歴史的建造物の持続的な保全を目指します。

- 取組みの具体例
- 市有の歴史的建造物を活用した交流・消費スポットの整備
  - 民間活力による来訪者や市民のニーズに合致した活用の推進
  - 長崎駅や出島メッセ長崎等の新たな集客施設と連携したユニークベニューやイベントの活用の推進
  - 長崎居留地まつり等の地域イベントにおける歴史的建造物の積極的な活用実験とその検証
  - 耐震改修や外壁改修等による計画的な保存整備と長寿命化 ほか

#### 総合的で細やかな景観形成

各種規制や支援制度が連携した総合的な景観形成や、具体的な視点場を設定した細やかな景観形成を推進し、資産としての価値を高めます。

- 取組みの具体例
- 世界遺産のバッファゾーンの適切な保全
  - 洋館や港を望む眺望スポットの整備 ほか

### 5 各ゾーンの取組み（具体例）

#### ① 旧長崎英国領事館

- ・観光案内やガイドの拠点などの来訪者のゲートウェイ機能
- ・重要文化財建造物の魅力や歴史を伝える情報発信機能
- ・当時の領事の仕事や生活を体験できる展示機能
- ・区域全体の歴史文化や芸術等の情報発信機能
- ・魅力的な物販・飲食やワークスペース等の多様な機能が集積した地域活性化・交流拠点機能
- ・英国との国際交流の歴史を生かしたコンテンツの創出

#### ② 東山手甲十三番館

- ・飲食・物販等の消費機能の強化
- ・ゾーン内の案内・誘導機能の強化
- ・学生や住民の利用者促進のための交流機能の強化

#### ③ 東山手十二番館

- ・ミッション・スクールの活動に関する情報発信の強化 ほか

#### ④ 東山手洋風住宅群（7棟）

- ・7棟が連動する活用の検討
- ・若者やクリエイターをメインターゲットに、居留地の歴史文化を生かした創業や文化芸術等の活動拠点機能の検討
- ・活動拠点機能と連動した交流・消費機能の検討 ほか

#### ⑤ 南山手乙27番館（レストハウス）

- ・眺望景観の確保とベイウィンドウの復元
- ・眺望景観と広場を生かした交流・消費機能の検討

#### ⑥ 旧香港上海銀行長崎支店

- ・建造物・長崎華僑・長崎居留地等に関する展示機能
- ・ユニークベニューやイベントなどへの活用強化
- ・ライトアップのリニューアル

#### ⑦ 旧長崎税関下り松派出所

- ・交流・消費機能の検討
- ・ライトアップのリニューアル

#### ⑧ 南山手8番館（保存センター）⑨ 南山手乙9番館（須加五々道）

- ・交流・消費機能の検討

#### ⑩ 旧紅葉本館・旧紅葉氏宅

- ・グラバー園以南への回遊を促す拠点機能の検討
- ・物販・飲食や宿泊等が複合する交流・消費機能の検討
- ・施設利用者のための駐車場機能の確保

### 【調査の経緯】

東山手・南山手重点地区歴史まちづくり計画  
(長崎居留地歴まちグランドデザイン)の策定



地域住民(長崎居留地歴史まちづくり協議会)を中心に、施設用途を見直し、各物件の活用を望む声が挙がっている。



### サウンディング型市場調査の実施

洋館等の、より望ましい活用方針を定めるにあたり、民間事業者が使用したい洋館や活用用途などを探ることが目的。

### 【調査の概要】

- 現地見学会・説明会：令和4年9月21日(水)・22日(木)  
参加：17団体(うち県内9団体、県外8団体)
- 対話：令和4年10月31日(月)から11月7日(月)  
参加：12団体(うち県内8団体、県外4団体)  
提案数：25件

### 【調査の結果(抜粋)】

#### 1) 物件ごとの提案数

- 12件・・・東山手甲十三番館、東山手洋風住宅群
- 10件・・・旧長崎英国領事館
- 9件・・・旧杠葉本館・旧杠葉氏宅
- 8件・・・東山手十二番館、南山手乙27番館
- 6件・・・旧香港上海銀行長崎支店、旧長崎税関下り松派出所、

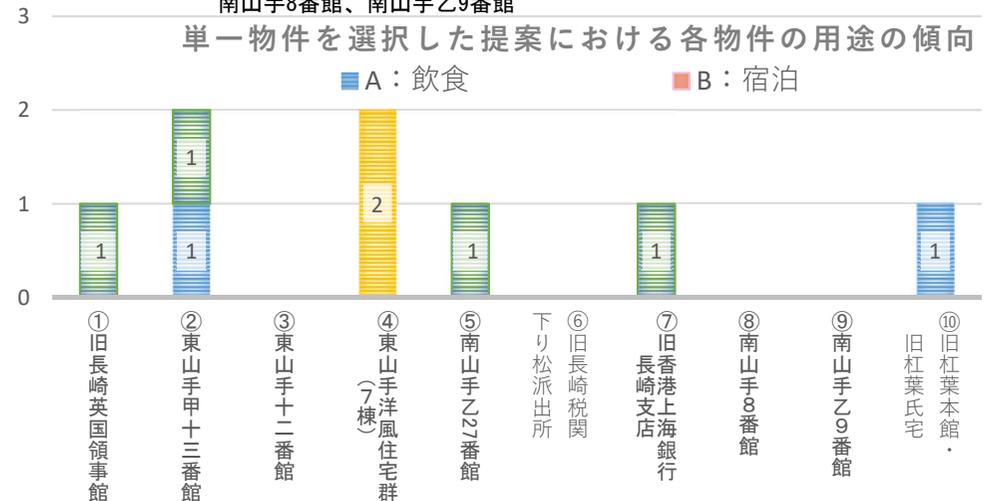
南山手8番館、南山手乙9番館

#### 2) 提案における物件の選択傾向(単一物件・複数物件の別)

- 全25件中
- ・複数物件での活用の提案は17件
- ・単一物件での活用の提案は8件

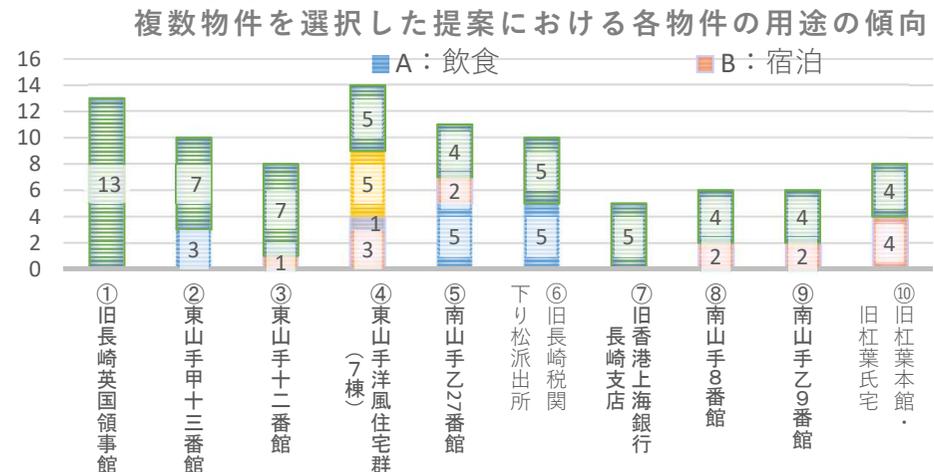
#### 3) 単一物件を選択した提案における選択物件

- 2件・・・東山手甲十三番館、東山手洋風住宅群、
- 1件・・・旧長崎英国領事館、旧杠葉本館・旧杠葉氏宅、
- 0件・・・東山手十二番館、旧長崎税関下り松派出所、南山手8番館、南山手乙9番館



#### 4) 複数物件選択の傾向

- 10件・・・全物件
- 5件・・・東山手
- 1件・・・東山手+南山手
- 1件・・・南山手



予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
290～291	10 教育費	6 社会教育費	3 文化財保護費	3-1	【補助】文化財保存整備事業費 国指定重要文化財旧長崎英国領事館	千円 362,000

## 1 概要

明治41年の建設以来、大規模な修理等がなされておらず、地盤沈下や建物の傾斜、外壁の劣化等が進行している旧長崎英国領事館について、平成27年度から令和7年度までの期間、全体にわたる本格的な保存修理及び耐震補強工事を行うもの。

## 2 事業内容

(1)建物概要

本館	煉瓦造2階建	棧瓦一部銅板葺	建築面積464.70㎡
附属屋	煉瓦造平屋建	棧瓦一部鉄板葺	建築面積109.40㎡
職員住宅	煉瓦造・木造2階建て	棧瓦一部鉄板葺	建築面積219.70㎡

(2)実施内容 保存修理工事・耐震補強工事

### ア 保存修理工事

- (ア) 本館：天井・壁左官仕上改修、塗装改修、家具・建具補修及び新調
- (イ) 職員住宅：木造棟復旧
- (ウ) 外構：石塀・煉瓦塀復旧工事

### イ 耐震補強工事

- (ア) 本館：エキスパンションジョイント設置
- (イ) 外構：煉瓦塀補強（補強材挿入補強、アラミドロッド目地置換）、石塀鉄骨補強

## 2 事業内容

(3)実施期間 平成27年度 ～ 令和7年度

(4)事業費 令和6年度 362,000千円

(5)参考 継続費年割額

(単位:円)

年 度		年割額	内 訳		
			工 事 費	設 計 監 理 費	そ の 他
一期工事	平成27年度	150,000,000	100,094,400	49,712,400	193,200
	平成28年度	500,000,000	405,864,000	93,826,080	309,920
	平成29年度	400,000,000	316,483,200	83,207,520	309,280
	平成30年度	450,000,000	357,539,400	92,345,400	115,200
二期工事	令和元年度	400,000,000	324,021,600	75,859,200	119,200
	令和2年度	400,000,000	324,021,600	75,859,200	119,200
	令和3年度	400,000,000	324,021,600	75,859,200	119,200
	令和4年度	300,000,000	242,060,400	57,828,600	111,000
	令和5年度	300,000,000	242,060,400	57,828,600	111,000
	令和6年度	362,000,000	292,828,260	69,060,740	111,000
	令和7年度	350,500,000	274,449,420	75,940,460	110,120
総 額		4,012,500,000	3,203,444,280	807,327,400	1,728,320

### 3 財源内訳

(単位:千円)

区分	事業費	財源内訳			
		国庫支出金※1	県支出金 ※2	地方債※3	一般財源
保存修理	362,000	181,000	9,100	171,900	-

※1 国宝重要文化財等保存整備費補助金 補助率:50%(補助対象経費 362,000千円)

※2 指定文化財保存整備事業補助金 補助率:国庫支出金を除く市の真水負担の2/5 (下記\*参照)

※3 合併特例事業債 充当率:95%(交付税措置率 70%)

\* 指定文化財保存整備事業補助金の詳細

〈年度事業費が1億円以上の場合〉

年度事業費①					
国庫支出金② 1/2 (50%)	市負担				
	地方債③ ① - ② × 95% (47.5%)				一般財源 5% (2.5%)
	交付税措置 ③ × 70% (33.25%)		真水負担④ ③ × 30% (14.25%)		
	市負担 3/5 (8.55%)		県支出金 2/5 (5.7%)	市負担 3/5 (1.5%)	県支出金 2/5 (1%)

#### 4 事業実施の必要性とその効果

##### (1) 必要性

旧長崎英国領事館においては、創建以来、本格的な保存修理が行われておらず、劣化した本館、附属屋、職員住宅などの建造物及び石塀等の工作物を含む全体の保存修理、耐震補強工事等を行い、その保存と活用を図る必要がある。

##### (2) 効果

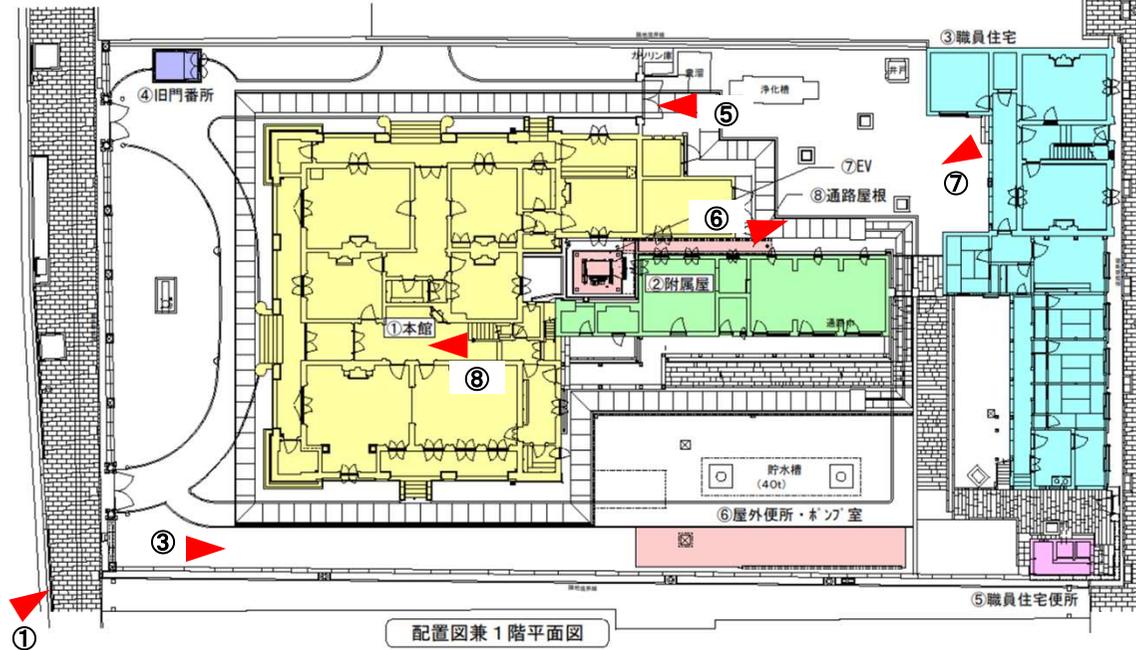
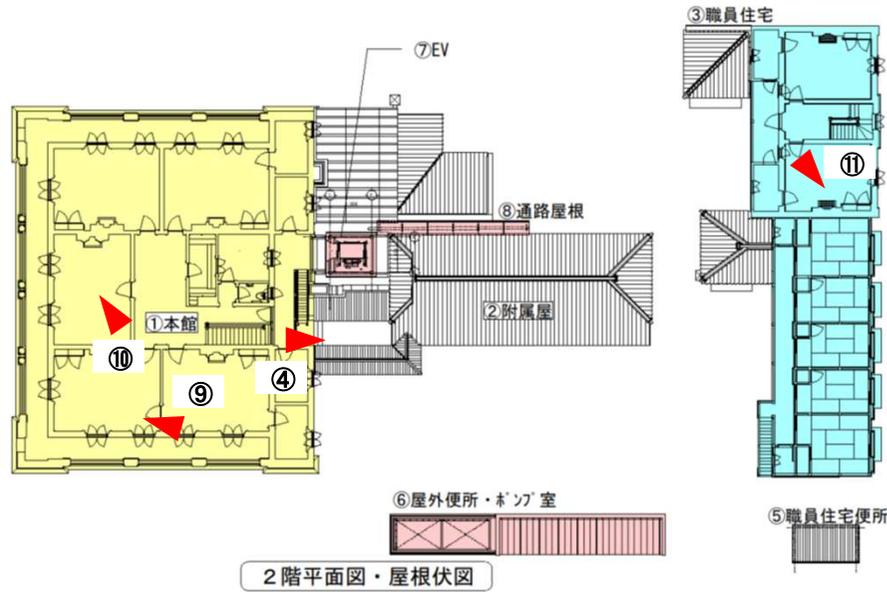
長崎港に面する重要伝統的建造物群保存地区内にある重要文化財で、景観の主軸となる建造物等の適切な維持管理が図られ、国民の財産として後世に継承することができる。

#### 5 スケジュール



【凡例】  
 → . . . 施工中、未施工  
 . . . → . . . 既施工

## 6 配置図・平面図



番号	建物名称	階数	構造	建築面積	延べ面積
①	本館	2	煉瓦造	465.20㎡	868.00㎡
②	附属屋	1	煉瓦造	111.10㎡	111.10㎡
③	職員住宅	2	煉瓦造 木造	218.80㎡	437.60㎡
④	旧門番所	1	木造	5.70㎡	5.70㎡
⑤	職員住宅便所	1	煉瓦造	8.70㎡	8.70㎡
⑥	屋外便所・ ポンプ室 (新築予定)	1	鉄骨造	25.68㎡	25.68㎡
⑦	EV (増築予定)	2	鉄骨造	8.74㎡	17.48㎡
⑧	通路屋根 (増築予定)	1	鉄骨造	6.65㎡	0.00㎡

※ ➤ . . . 次ページ以降の撮影方向

7 現在の状況

全景写真(国道499号線側)①



全景写真(オランダ通り側)②



敷地西側③



敷地南側④



敷地東側⑤



職員住宅煉瓦棟⑥



附属屋⑦



本館1階ホール⑧



本館2階寢室⑨



本館2階書斎⑩



職員住宅煉瓦棟2階寢室⑪



本館地下免震ピット



## 8 沿革

明治41年	旧長崎英国領事館現在地に竣工
昭和17年頃	英国領事館閉鎖
昭和30年	長崎市買収
昭和32年	長崎市立児童科学館設置
平成元年3月31日	長崎県有形文化財指定
平成2年3月19日	国重要文化財に指定(県指定有形文化財解除)
平成元年度～平成2年度	職員住宅保存修理工事実施
平成3年度～平成4年度	美術館として活用するため保存整備工事実施
平成5年4月	長崎市野口彌太郎記念美術館として開館
平成19年3月	長崎市野口彌太郎記念美術館を移転し閉館
平成23～平成24年度	保存修理事業(建造物の破損調査及び構造補強方針策定)
平成26～平成30年度	保存修理第1期工事実施
平成31年3月	保存修理第2期工事に着手
令和元年9月	保存活用計画策定に着手
令和3年3月	保存活用計画策定
令和4年3月	防災・活用工事に伴う実施設計
令和6年3月	展示等整備に伴う基本設計

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
290～291	10 教育費	6 社会教育費	3 文化財保護費	3-2	【補助】文化財保存整備事業費 国指定重要文化財旧オルト住宅	千円 241,400

## 1 概要

前回の保存修理工事から約40年が経過し、建物各所で経年劣化が進行している旧オルト住宅について、令和4年度から令和7年度までの期間、全体にわたる本格的な保存修理及び耐震補強工事を行うもの。

## 2 事業内容

- (1)建物概要 主屋 木造及び石造平屋建 棧瓦葺 建築面積504.1㎡  
 付属屋 煉瓦造平屋建 棧瓦葺 建築面積108.1㎡  
 倉庫 煉瓦造平屋建 棧瓦葺 建築面積12.5㎡

### (2)実施内容 保存修理・耐震補強工事

#### ア 保存修理工事(主屋・付属屋・倉庫)

- (ア) 屋根瓦の葺き替え
- (イ) 外部:石・煉瓦の補修、建具等の塗装改修
- (ウ) 内部:漆喰改修、天井及び壁の紙貼改修、建具等の塗装改修、床板改修

#### イ 耐震補強工事(主屋・付属屋)

- (ア) 煉瓦煙突の補強(鉄筋挿入)
- (イ) 外部石壁補強(石積み頂部を内部軸組へ緊結)
- (ウ) 煉瓦躯体の補強(鉄骨補強・アラミドロッド目地置換)

## 2 事業内容

(3)実施期間 令和4年度～令和7年度

(4)事業費 令和6年度 241,400千円

工事費 224,202千円

委託費 15,510千円

その他 88千円

委員会費等 1,600千円(委員旅費等)

(5)参考 継続費年割額

(単位:円)

年度	年割額	内訳		
		工事費	設計監理費	その他
令和4年度	10,700,000	6,402,000	4,169,000	129,000
令和5年度	205,600,000	185,559,000	19,800,000	241,000
令和6年度	239,800,000	224,202,000	15,510,000	88,000
令和7年度	143,900,000	131,436,800	12,375,000	88,200
計	600,000,000	547,599,800	51,854,000	546,200

### 3 財源内訳

事業費	財源内訳			
	国庫支出金 ※1	県支出金 ※2	地方債 ※3	一般財源
千円 241,400	千円 119,900	千円 12,000	千円 107,900	千円 1,600

※1 国宝重要文化財等保存整備費補助金 補助率: 1/2 (補助対象経費 239,800千円)

※2 指定文化財保存整備事業補助金 補助率: 国庫支出金を除く市の真水負担の2/5 (下記 \* 参照)

※3 一般補助施設整備等補助事業債 充当率: 90% (交付税措置率: 30%)

\* 指定文化財保存整備事業補助金の詳細

〈年度事業費が1億円以上の場合〉

年度事業費①					
国庫支出金② 1/2 (50%)	市負担				
	地方債③ ① - ② × 90% (45%)			一般財源 (5%)	
	真水負担④ ③ × 70% (31.5%)				
	交付税措置 ③ × 30% (13.5%)	市負担 3/5 (18.9%)	県支出金 2/5 (12.6%)	市負担 (3%)	県支出金 2/5 (2%)

#### 4 事業実施の必要性とその効果

##### (1) 必要性

以前の保存修理(昭和54年終了)から約40年が経過し、建物の劣化が進んでいる状況の中、平成26年度には保存活用計画を策定しており、旧オルト住宅の適切な保存管理と公開活用を図るため、同計画に基づく本格的な保存修理及び耐震補強工事を行う必要がある。特に、多くの観光客等が来訪する施設であり、安全性確保のうえで早急な事業実施が求められる。

##### (2) 効果

文化財建造物の適切な維持管理が図られ、国民の財産として後世に継承することができる。

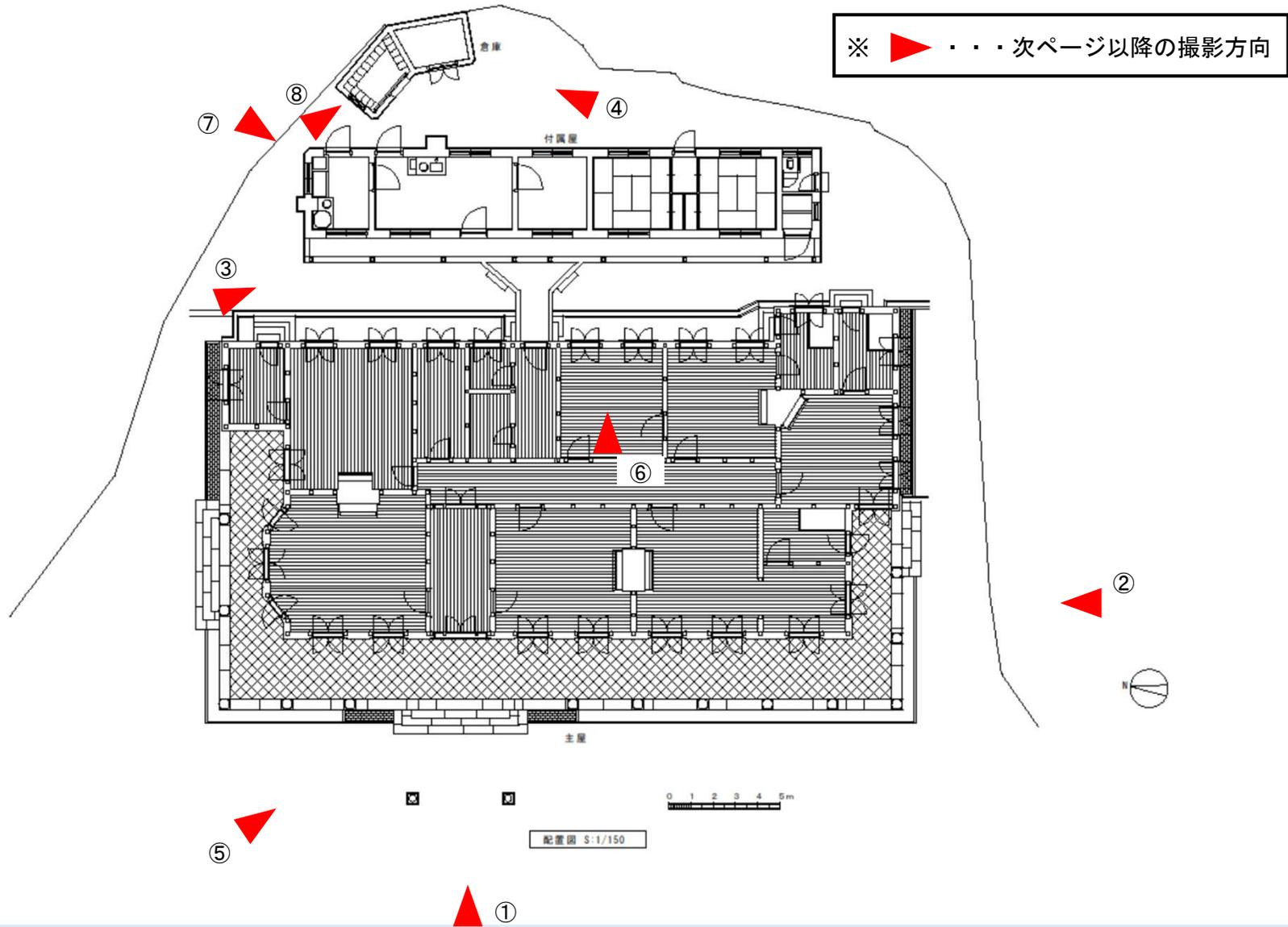
#### 5 スケジュール

##### <旧オルト住宅保存修理事業>

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
事業内容	<p>.....▶ 保存活用計画策定 (H25. 7. 30~H27. 3. 31)</p>						<p>.....▶ 耐震診断 (R元. 12. 3~R3. 3. 22)</p> <p>————▶ 設計・工事監理業務 (R4. 5. 11~R8. 2. 27)</p> <p>————▶ 保存修理・耐震補強工事 (R4. 12. 9~R7. 11. 28)</p>						

【凡例】 ———▶ . . . 施工中  
 .....▶ . . . 既施工

6 配置図・平面図



## 7 建物外観(着工前)



主屋（西側）①



主屋（南側）②



付属屋③



倉庫④

## 8 現在の状況



主屋（西側屋根）⑤



主屋（客室）⑥



付属屋（北東側屋根）⑦



倉庫（屋根）⑧

## 9 沿革

文久3年 (1863)	オルト商会社員シムソンとベッドウェルが南山手14番地を借地
慶応元年～明治元年 (1865～1868)	オルト一家が居住
明治36年～昭和16年	リンガーが購入し、長男フレデリック・E・Eリンガー一家が居住
昭和45年	長崎市が取得
昭和47年	重要文化財の指定を受ける
昭和49年	グラバー園オープン
昭和52年～54年	保存修理事業（半解体工事）
平成25年～26年	保存活用計画策定
令和元年～令和2年	耐震診断実施

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
290～291	10 教育費	6 社会教育費	3 文化財保護費	4-1	【補助】文化財活用・防災整備事業費 国指定重要文化財旧長崎英国領事館	千円 481,900

## 1 概要

明治41年の建設以来、大規模な修理等がなされておらず、地盤沈下や建物の傾斜、外壁の劣化等が進行していたため、全体にわたる本格的な保存修理及び耐震補強工事の実施に伴い、公開活用に必要な展示整備やエレベーター、屋外便所の設置及び防災施設等の整備を行うもの。

## 2 事業内容

- (1)建物概要
- |      |            |         |             |
|------|------------|---------|-------------|
| 本館   | 煉瓦造2階建     | 棧瓦一部銅板葺 | 建築面積464.70㎡ |
| 附属屋  | 煉瓦造平屋建     | 棧瓦一部鉄板葺 | 建築面積109.40㎡ |
| 職員住宅 | 煉瓦造・木造2階建て | 棧瓦一部鉄板葺 | 建築面積219.70㎡ |

### (2)実施内容

#### ア 活用施設整備

事業期間：令和3年度～令和7年度

令和6年度：391,684千円

#### ① 展示等整備

業務内容：展示の実施設計及び展示等整備を行うもの。

なお、展示等整備については、令和7年度にまたがるため、別途債務負担行為を設定するもの。

委託料：展示実施設計(15,000千円)…令和6年度実施

展示等整備(282,000千円:令和7年度債務負担分)

## 2 事業内容

### ② 活用工事

業務内容：EV・通路屋根設置、屋外便所新築、内部便所改修、収蔵庫改修等の工事を行うもの。

なお、令和6年度で施工完了予定。

総工事費：376,684千円

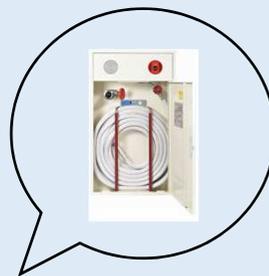
### イ 防災施設整備

事業期間：令和3年度～令和6年度

令和6年度：90,216千円

業務内容：防火水槽、屋内・屋外消火設備、監視カメラ、炎検知器等の整備を行うもの。

令和6年度完了予定。



### 3 財源内訳

(単位:千円)

区分	事業費	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	一般財源
活用施設整備	391,684	※1 50,000	-	※4 307,500	34,184
防災施設整備	90,216	※2 37,108	※3 14,843	※4 34,400	3,865
計	481,900	87,108	14,843	341,900	38,049

※1 観光拠点整備事業(高付加価値化された文化財への改修・整備促進事業)

補助率:55%(上限 5,000万円)

※2 防災施設整備事業 補助率:50%(補助対象経費 74,216千円)

※3 指定文化財保存整備事業補助金 補助率:国庫支出金を除く2/5

※4 一般補助施設整備等事業債 充当率:90%(交付税措置率:30%)

### 4 事業実施の必要性とその効果

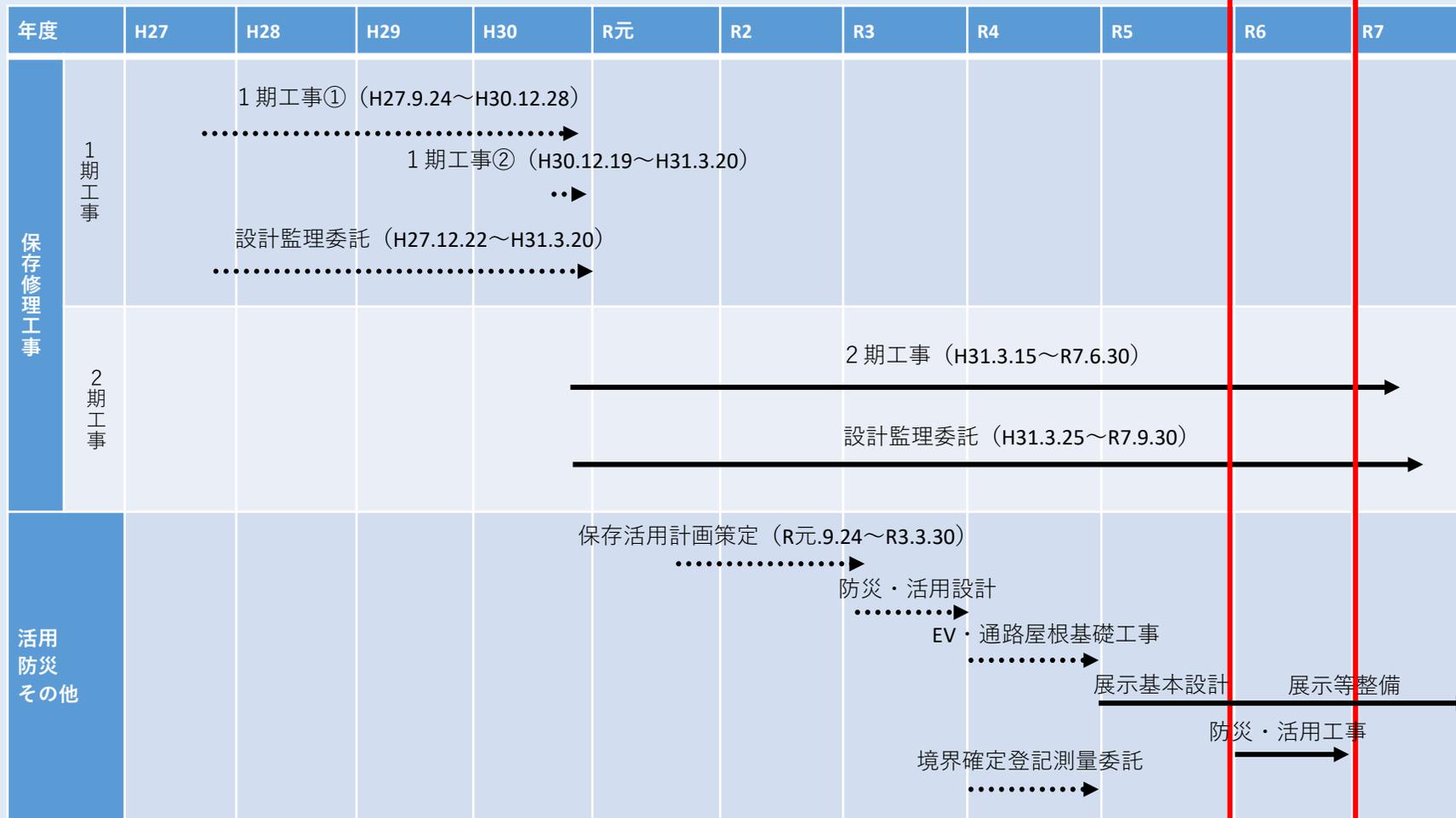
#### (1)必要性

旧長崎英国領事館においては、劣化した本館、附属屋、職員住宅などの建造物及び石塀等の工作物を含む全体の保存修理、耐震補強工事等を行い、公開活用に必要な展示整備や防災設備等の整備を行う必要がある。

#### (2)効果

長崎港に面する重要伝統的建造物群保存地区内にある重要文化財で、景観の主軸となる建造物等の適切な維持管理が図られ、国民の財産として後世に継承することができる。

# 5 スケジュール



【凡例】 ——— 施工中、未施工  
 ..... 既施工

## 6 展示計画

### (1) 前提となる計画、事業の方向性

前提計画/事業の方向性

重要文化財 旧長崎英国領事館展示基本設計業務委託 01

#### 前提となる計画

##### 長崎居留地歴まち グランドデザイン(重点区域歴史まちづくり計画)

○旧長崎英国領事館の属するゾーンの位置づけ

「暮らし・賑わいゾーン」

商業地域の特性を活かし生活関連機能の集積を図りながら  
商業・暮らし・交流が融合したまちづくりを推進する。

・「旧長崎英国領事館」(歴のゲート)

観光案内や情報発信・展示機能、物販・飲食等の多様な機能が  
集積した地域活性化・交流機能を持つ拠点として用います。

○旧長崎英国領事館に関する対応方針

- ・歴史的建造物等の魅力的な活用による保存
- ・観光案内やガイドの拠点などの来訪者のゲートウェイ機能
- ・重要文化財建造物の魅力や歴史を伝える情報発信機能
- ・当時の領事の仕事や生活を体験できる展示機能
- ・区域全体の歴史文化や芸術等の情報発信機能
- ・魅力的な物販・飲食やワークスペース等の多様な機能が集積した  
地域活性化・交流拠点機能
- ・英国との国際交流の歴史を生かしたコンテンツの創出



##### 重要文化財 旧長崎英国領事館保存活用計画

基本方針1:重要文化財建造物としての価値や歴史を適切に伝える。

明治後半の洋風建築としての価値や、近代日本外交史の一環を示す旧領事館の歴史的な価値、背景としての旧外国人居留地の歴史や意義を適切に伝える展示を行う。  
また、保存修理事業によって新たに得られた知見なども展示に活かす。展示を行う際には建造物の理解を妨げないよう配慮するなど、旧領事館の重要文化財建造物としての価値を正しく伝達できるよう情報発信を行う。

基本方針2:領事の仕事や生活を体験できるような展示及び活用を行う。

領事館時代の姿に復元された旧長崎英国領事館において、当時の領事の仕事や生活がどのようなものであったかを理解できるような情報発信を行う。  
領事の仕事や生活を体験できるような体験型の活用展示を行うことで、旧領事館の歴史や建物の役割についても正しく伝達できるよう情報発信を行う。

基本方針3:芸術の発信地、人々の交流拠点として活用する。

来館者が長崎ゆかりの文化芸術に親しめるよう、長崎を愛し、幾年まで旧外国人居留地を訪れ作品を残した画家、野口彌太郎に関する展示などを行うとともに、芸術・アートを活用した交流の機会を創出する。  
また、旧長崎英国領事館は、長崎港を正面に臨み、旧外国人居留地の東山手町、南山手町などへのアクセスも容易であるため、旧外国人居留地観光のゲートウェイとしての役割を担うとともに長崎を行き交う人々の交流拠点として活用を図り、地域活性化に寄与する。

#### 本設計事業の方向性

本整備で目指すのは、旧長崎英国領事館の価値向上と、旧居留地エリア全体の魅力創出。  
そのために旧領事館を「温故知新の交流がはじまる地」として、施設計画・展示計画を立案。  
旧居留地エリア・長崎市のブランド価値の向上と賑わい創出への貢献を目指します。

旧外国人居留地エリアの  
新たな魅力の創出拠点

旧領事館を旧居留地エリアの集客拠点としながら、エリア回遊への送り出しと、  
日常使いの地域交流の場づくりを図る

観光発信  
サポート

地元と来訪者の  
交流・憩い



アート・文化  
の活用促進



旧領事館の  
生活文化体感

長崎と英国のつながりを伝える  
歴史文化の発信拠点

明治日本と世界を繋ぐ  
結節点であった旧領事館  
「場」の価値とストーリーを後世に伝える

文化財の  
価値発見

国際交流史の  
魅力実感

# 6 展示計画

## (2) 1階 展示イメージ

ソニーング図 1階

重要文化財 旧長崎英国領事館展示基本設計業務委託 02

本館 1階平面図

● 有料ゾーン (旧領事館展示)  
 ● 有料ゾーン (新口運太郎美術館)  
 □ 有人受付  
 ● 休憩・交流エリア (演説館)  
 ● 休憩・交流エリア (議談住宅)  
 ● バックヤード

※敷地内の植栽・透視展示・サイン計画は別途検討中。

### A ホール 記憶をたどる旅の始まり

領事館・居留地コンシェルジュテーブル

● 坂を感じるジオラママップ  
旧領事館の敷地内や居留地エリア全体の見どころを俯瞰する立体マップ、古地図など町の変遷も併せて紹介します。

● AIコンシェルジュガイド  
「関心ジャンル」「今の気分」など質問に答えて、おススメルートを提供。マイガイドマップとして印刷やQRで持ち出し、散歩を助けます。

### B 書記室 日本と英国、世界がつながる96年を知る

英国領事館クロニクルシアター

● 領事館を舞台に繰り広げられた日英交流史シアター  
妙行寺での取立から戦後の閉館に至るまでのあゆみやエピソードを3つの映像で紹介。

● 長崎開港と領事館が数々の事件 ● 居留地の日英交流 ● 戦争と領事館の破壊

### C 領事事務室 日本と世界をつなぐ領事館の仕事を知る

● 領事の仕事場再現展示  
空間再現の中に展示された書きのあるコンテンツや実物展示を楽しみながら、英国領事館の役割や日本や世界の英国領事館との関係性を紹介。

● 動く肖像画  
旧領事館の肖像画をデジタル化し、タッチパネルで操作可能にします。

● 英国Network Map  
英国領事館を通じた人々の交流のネットワークを地図上で紹介。

### D アシスタント室 建築的価値や見どころを知る

● 建築から紐解く、重要文化財長崎旧英国領事館  
建築の全体構造や特筆的価値を建築模型や実物資料で紹介。

● 建築のイメージ  
- 1階と2階の柱の配置や傾斜  
- 窓の配置やデザイン  
- コーポラスの建築的価値

● 空間のイメージ  
- 1階と2階の柱の配置や傾斜  
- 窓の配置やデザイン  
- コーポラスの建築的価値

### E 応接間・食堂 領事館のくらしと英国文化を知る

● 領事館の生活文化再現  
展示を併せるAR/VR体験  
当時の敷地を再現したタイムスリップ空間で、英国の生活文化を紹介。

● AR/VR体験  
AR/VR体験を通して、当時の生活文化を知ることができます。

## 6 展示計画

### (3) 2階 展示イメージ

重要文化財 野口彌太郎常設展示基本設計業務委託 03

ソニーニング図 2階

本館 2階平面図

- 有料ゾーン (野口彌太郎展示)
- 有料ゾーン (野口彌太郎美術館)
- 有人受付
- 体験・交流エリア (附属屋)
- 体験・交流エリア (職員住宅)
- バックヤード

**F 書斎** 野口彌太郎記念美術館常設展示室/  
文化芸術を楽しむくつろぎ空間

▶ 居心地タイムスリップ書斎

美術展示のほか、復元館や居心地の仕向の姿を誇る古写真アルバムや居心地を取り上げた小説やエッセイなどの文字作品を展示。モアートを鑑賞し物販ショップなど関心惹きつける活用機能の導入も検討。

海への眺望を楽しむベランダ

ナガサキプレスアーカイブモニタ

**体験・交流エリア(附属屋・職員住宅含む)**

複合的な事業展開可能な施設運営を想定し、3棟の機能分担を考慮したエリア動線・活用条件整理を行っていきます。

多様な人々が  
交流する

大学や大卒館と連携した  
留学セミナーやレセプション  
アートやセゾづくりを楽しむ  
まち歩きガイドの拠点機能

職員住宅

いつもの  
場所になる

コミュニケーションの場をさらに  
広げ、みんなで楽しむ場づくり

職員住宅

英国文化を  
五感で楽しむ

英国文化を体験できる  
飲食体験型展示  
イベント空間

附属屋

**G 東側個室**

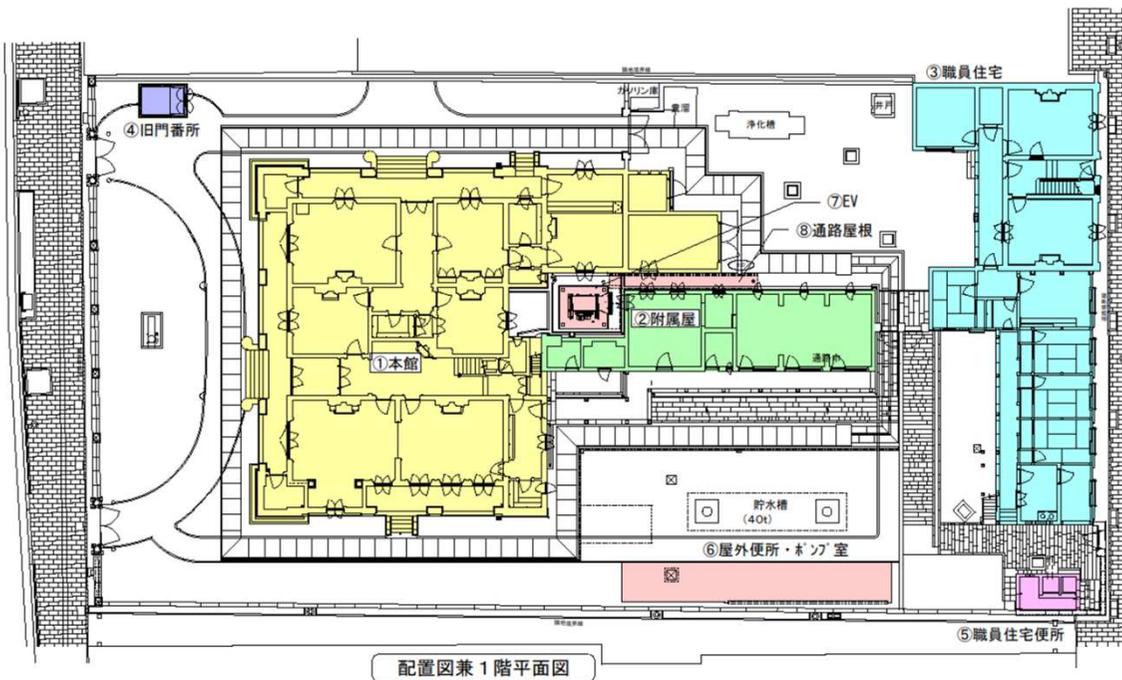
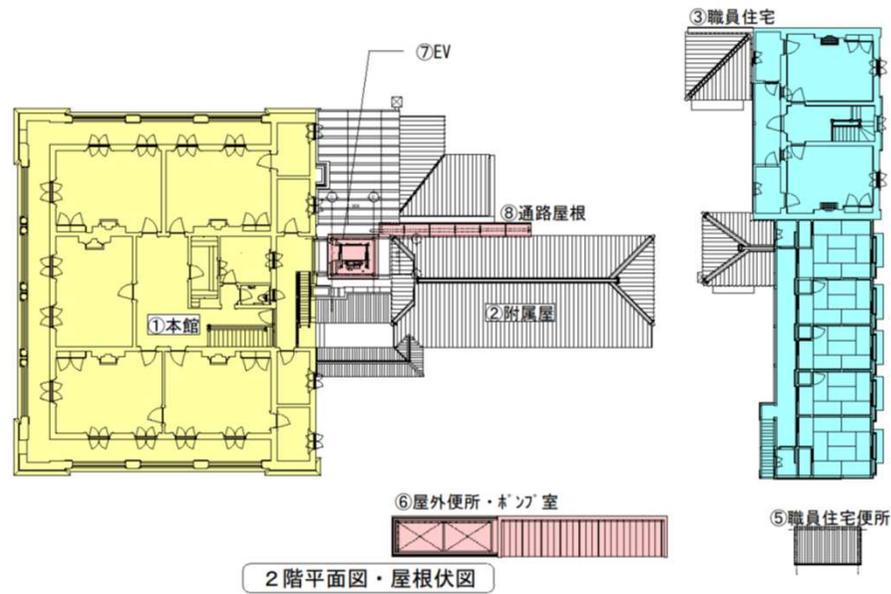
野口彌太郎記念美術館  
常設展示室

体験・交流を備った自立  
型展示システムで作品展示  
を行います。

また、作品を自由に観覧でき  
るデジタルアーカイブの設  
置も検討します。

**H 西側個室** 企画展示室

## 7 参考図面



番号	建物名称	階数	構造	建築面積	延べ面積
①	本館	2	煉瓦造	465.20㎡	868.00㎡
②	附属屋	1	煉瓦造	111.10㎡	111.10㎡
③	職員住宅	2	煉瓦造 木造	218.80㎡	437.60㎡
④	旧門番所	1	木造	5.70㎡	5.70㎡
⑤	職員住宅便所	1	煉瓦造	8.70㎡	8.70㎡
⑥	屋外便所・ ポンプ室 (新築予定)	1	鉄骨造	25.68㎡	25.68㎡
⑦	EV (増築予定)	2	鉄骨造	8.74㎡	17.48㎡
⑧	通路屋根 (増築予定)	1	鉄骨造	6.65㎡	0.00㎡

債務負担行為		期 間	限度額 (設定額)
ページ	事 項		
338～339	旧長崎英国領事館展示等整備事業	令和7年度	282,000 千円

## 1 概要

重要文化財 旧長崎英国領事館修理工事が令和7年6月に完了することに伴い、「重要文化財 旧長崎英国領事館保存活用計画」及び「重点区域歴史まちづくり計画」に基づき、展示等の実施設計及び整備を行うもの。

令和7年度の国指定重要文化財旧長崎英国領事館保存整備事業費のうち、展示等の整備にかかる事業費(282,000千円)について、債務負担行為の設定を行うもの。

## 2 事業計画

展示基本設計【令和5年度実施中】

展示実施設計【令和6年度実施予定】

展示等整備【令和7年度実施予定】



## 3 事業内容

### 対象建物及び機能

- (1) 本館1階: 英国領事館、居留地に関する展示など
- (2) 本館2階: 野口彌太郎に関する展示など
- (3) 附属屋: 飲食物販機能(予定)
- (4) 職員住宅: ガイド拠点機能、コワーキングスペースほか(予定)

### 主な業務内容

- (1) 展示実施設計(令和6年度)

ア 展示内容の情報整理、素材収集(詳細調査)、確定

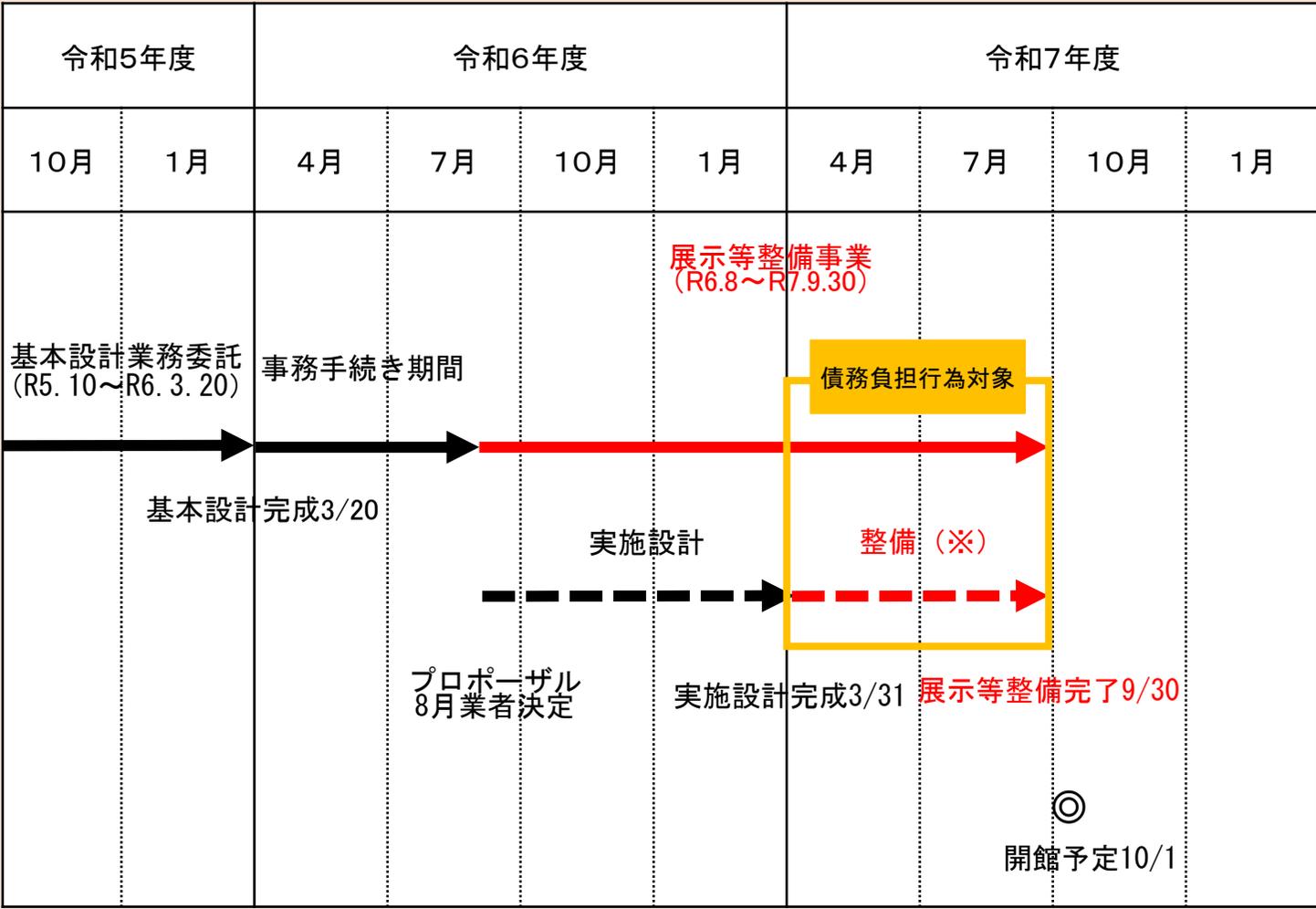
イ 意匠図(平面図、立面図、断面図)、展示構成表、実施設計図等の作成

ウ 展示等整備に係る事業費の算出

- (2) 展示等整備(令和7年度)

ア 展示整備、外構サイン設置ほか

4 スケジュール(案)



※ 展示等整備完了の時期については、実施設計による詳細な製作物の内容次第で、変更になる可能性有り。

## 5 事業費の内訳

### 全体事業費の年度内訳

令和6年度	令和7年度	合計
15,000千円	282,000千円	297,000千円



### 債務負担行為限度額の財源内訳

年度	事業費	財源内訳				
		国庫支出金※1	県支出金※2	地方債※3	その他※4	一般財源
令和7年度	千円 282,000	千円 50,000	千円 -	千円 208,800	千円 -	千円 23,200

※1 観光拠点整備事業(文化観光充実のための国指定等文化財磨き上げ事業) 補助率:55%(上限50,000千円)

※2 一般補助施設整備等事業債 充当率:90%(交付税措置率 30%)

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
290～291	10 教育費	6 社会教育費	3 文化財保護費	5-1	【補助】文化財保存整備事業費補助金 伝統的建造物群保存地区	千円 23,677

## 1 概要

国選定重要伝統的建造物群保存地区における伝統的建造物の保存修理等事業に対し、長崎市伝統的建造物群保存地区保存条例第11条の規定に基づき、事業費の一部について補助を行うもの。

## 2 事業内容

伝統的建造物群保存地区内の特定された伝統的建造物の保存修理等事業に対する補助(2件)。

(伝統的建造物 補助率:対象事業費の2/3を補助するもの)



マリア園<建物> 煉瓦造3階建、寄棟、棧瓦葺

(ア)事業期間(予定) 平成30年度～令和6年度

(イ)令和6年度整備内容 外構工事ほか(石畳復旧)

(ウ)令和6年度事業費 29,150千円 補助額 19,433千円



A氏宅<建物> 木造2階建、寄棟、棧瓦葺

(ア)事業期間(予定) 令和6年度

(イ)整備内容 外壁及び樋の修理ほか

(ウ)事業費 6,366千円 補助額 4,244千円

### 3 対象事業

#### (1) マリア園(南山手):伝統的建造物の保存修理・耐震補強工事

建築年月日 明治31(1898)年  
 特定年月日 平成2年10月23日(伝統的建造物)

年度	工事内容	補助金 (総事業費)	備考
平成30年度	耐震診断・設計	25,855千円 (38,783千円)	
令和元年度	耐震設計・工事	37,567千円 (56,351千円)	
令和2年度	保存修理・ 耐震補強工事	30,182千円 (45,274千円)	(繰越:令和3年2月補正)
令和3年度	保存修理・ 耐震補強工事	91,948千円 (137,922千円)	(繰越:令和3年11月補正)
令和4年度	保存修理・ 耐震補強工事	86,066千円 (129,100千円)	
令和5年度	保存修理・ 耐震補強工事	341,823千円 (512,734千円)	(繰越:令和6年2月補正)
令和6年度	保存修理・ 耐震補強工事	19,433千円 (29,150千円)	令和6年度10月 完了予定
全体事業費		632,874千円 (949,314千円)	

### 事業完了後の活用

#### ◆『ホテルインディゴ 長崎グラバーストリート』概要

森トラスト株式会社(本社:東京都港区 代表取締役社長:伊達美和子)は、IHG ホテルズ & リゾーツが展開するライフスタイル・ブティックホテルブランド『ホテルインディゴ』を誘致し、『ホテルインディゴ長崎グラバーストリート』の開業を2024年冬頃に目指している。



「ホテルインディゴ長崎グラバーストリート」外観

#### 事業スケジュール

年度	H30			R元			R2			R3			R4			R5			R6				
区分	月	7	11	3	7	11	3	7	11	3	7	11	3	7	11	3	7	11	3	7	11	3	
耐震診断・設計				→																			
外壁修理工事							→																
耐震補強工事							文化庁協議・発注準備等																
																							●

(2)A氏宅(南山手):伝統的建造物の保存修理工事

建築年月日 明治中期

特定年月日 平成2年10月23日(伝統的建造物)

R6年度 保存修理工事 4,244千円(事業費 6,366千円)

4 財源内訳

(単位:千円)

補助対象	総事業費 ①	予算計上額 ②	財源内訳			事業者 (主) 負担額 ①-②
			国庫支出金 (5/10) ※2	県支出金 (2/10) ※3	一般財源 (3/10)	
マリア園	29,150	※1 (2/3) 19,433	9,716	3,886	5,831	9,716
A氏宅	6,366	※1 (2/3) 4,244	2,122	848	1,274	2,122
計	35,516	23,677	11,838	4,734	7,105	11,838

※1 伝統的建造物群保存地区保存整備事業費補助金 補助率 2/3

※2 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 補助率 5/10  
(重要伝統的建造物群保存地区保存事業)

※3 指定文化財保存整備事業補助金 補助率 2/10

## 5 事業実施の必要性とその効果

### (1) 必要性

- ・東山手・南山手伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物は幕末から大正時代に建設されたものであり、定期的な維持補修や、建物の活用状況に伴う耐震対策等が必要である。
- ・伝統的建造物群保存地区を後世に継承するために、民間所有の伝統的建造物の適切な修理や整備を行ううえで、費用の助成が必要である。

### (2) 効果

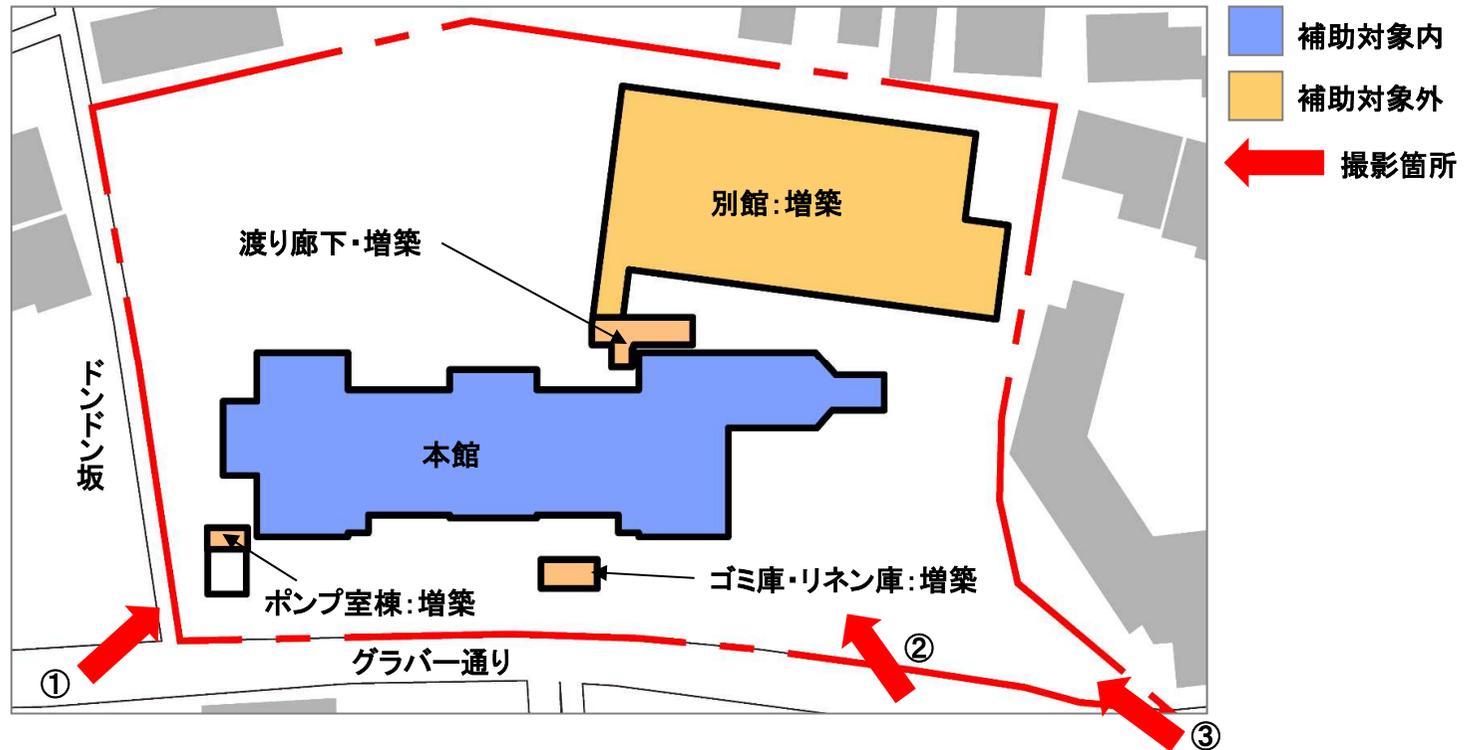
国選定重要伝統的建造物群保存地区の長崎市東山手・南山手伝統的建造物群保存地区における建造物等を保存整備することで、後世に継承することができる。また、修理費用の補助や技術的支援などにより、所有者の理解と協力を得ることができる。



7 参考

(1) マリア園

敷地配置図



現状写真



①ドンドン坂方向より撮影



②グラバー通り方向より撮影



③敷地入口方向より撮影

(2) A氏宅

外壁及び通し柱の劣化がみられる

現状写真



予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
290～291	10 教育費	6 社会教育費	3 文化財保護費	6-1	【単独】文化財保存整備事業費 深堀貝塚資料館	千円 40,500

## 1 概要

深堀地区で出土した縄文、弥生、古墳時代等の土器や石器を展示している深堀貝塚資料館について、白蟻被害を受けている部分の内装改修等を行うもの。

## 2 事業内容

- (1) 内装改修工事 37,824千円  
白蟻被害を受けている建物内部の階段、扉枠等の内装改修工事(既存内装材全撤去後に復旧)を行う。  
改修面積:約160㎡
- (2) 展示ケース購入 2,104千円  
白蟻被害を受けている展示ケースの入替を行う。
- (3) 展示物移送 572千円  
内装改修工事に伴い、既存の展示物及び備品類を一時的に別の場所に移送を行う。

### 3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 40,500	千円 -	千円 -	千円 36,400	千円 -	千円 4,100

※ 地域活性化事業債 充当率 90%(交付税措置率30%)

### 4 事業実施の必要性とその効果

#### (1) 必要性

深堀地区の貴重な歴史を学ぶことができる資料館を適切に維持管理するため、白蟻被害部分の改修を行う必要がある。

#### (2) 効果

深堀地区の貴重な資料の保存・活用を適切に行えらるとともに、来館者の安全性を確保することができる。

### 5 スケジュール

令和6年5月～6月	入札・契約
令和6年7月～11月	内装改修工事(既存内装材全撤去後に復旧)
令和6年12月～令和7年3月	展示替え

5 参考(白蟻被害状況)

階段



階段



扉枠



展示ケース



予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
290～291	10 教育費	6 社会教育費	3 文化財保護費	7-1	【単独】文化財保存整備事業費補助金 各種文化財	千円 38,443

## 1 概要

国指定文化財、長崎県指定文化財、または長崎市指定文化財の民間所有者が実施する保存整備事業（修理）に対し、事業費の一部を補助するもの。

## 2 事業内容

国指定文化財等の保存整備事業（修理）に対する補助（7件）

### (1) 国宝 大浦天主堂

- ア 事業期間（予定） 令和6年度
- イ 令和6年度整備内容 屋根及び建具の修理
- ウ 事業費 2,970千円 市補助額 371千円

### (2) 国指定重要文化財 聖福寺4棟（大雄宝殿・天王殿・鐘楼・山門）

- ア 事業期間（予定） 令和2～11年度
- イ 令和6年度整備内容 大雄宝殿：部材加工・組立工事 山門：組立工事 鐘楼：仮設工事・調査・解体
- ウ 事業費 254,027千円 市補助額 9,526千円

### (3) 国指定史跡 小菅修船場跡

- ア 事業期間（予定） 令和4～6年度
- イ 令和6年度整備内容 曳揚げ機小屋の耐震補強等工事
- ウ 事業費 26,021千円 市補助額 3,252千円

## 2 事業内容

### (4) 県指定有形文化財 皓台寺仁王門

- ア 事業期間(予定) 令和4～8年度
- イ 令和6年度整備内容 保存修理工事(解体・格納・調査)
- ウ 事業費 87,000千円 市補助額 21,750千円

### (5) 県指定天然記念物 大徳寺の大クス

- ア 事業期間(予定) 令和6年度
- イ 令和6年度整備内容 クスノキの育成環境整備
- ウ 事業費 5,208千円 市補助額 1,302千円

### (6) 市指定天然記念物 松森神社のクスノキ群

- ア 事業期間(予定) 令和3～8年度
- イ 令和6年度整備内容 クスノキ(1本)の剪定
- ウ 事業費 1,485千円 市補助額 742千円

### (7) 市指定有形文化財 諏訪町傘鉾垂及び下絵

- ア 事業期間(予定) 令和6年度
- イ 令和6年度整備内容 垂劣化箇所の修復
- ウ 事業費 3,000千円 市補助額 1,500千円

### 3 財源内訳

(単位:千円)

補助対象	① 総事業費	② (※1) 国庫支出金	③ (※2) 県支出金	④ (※3) 市予算額		事業者(主) 負担額 ①-②-③-④
					一般財源	
(1) 大浦天主堂	2,970	1,485 (1/2)	495 (1/6)	371 (1/8)	371	619
(2) 聖福寺4棟	254,027	215,922 * (17/20)	12,701 (1/20)	9,526 (3/80)	9,526	15,878
(3) 小菅修船場跡	26,021	13,010 (1/2)	4,337 (1/6)	3,252 (1/8)	3,252	5,422
(4) 皓台寺仁王門	87,000	—	43,500 (1/2)	21,750 (1/4)	21,750	21,750
(5) 大徳寺の大クス	5,208	—	2,604 (1/2)	1,302 (1/4)	1,302	1,302
(6) 松森神社のクスノキ群	1,485	—	—	742 (1/2)	742	743
(7) 諏訪町傘鉾垂及び下絵	3,000	—	—	1,500 (1/2)	1,500	1,500
合 計	379,711	230,417	63,637	38,443	38,443	47,214

※1 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 補助率 1/2 \* 事業者の事業規模指数に応じ補助率の加算(加算率35%)

※2 指定文化財保存整備事業補助金 補助率 1/2(国庫補助対象事業は対象事業費から国庫補助額を減じた額の1/3以内)

※3 市指定文化財等保存整備事業補助金 補助率1/2以内(国庫補助対象事業は対象事業費から国庫補助額を減じた額の1/4以内)

#### 4 事業実施の必要性とその効果

##### (1) 必要性

民間所有の指定文化財を後世に継承するため、適切な保存修理、整備を行う必要がある。

##### (2) 効果

長崎市の貴重な文化遺産の保存・活用が適切に行われる。

#### 5 現況等

##### (1) 国宝 大浦天主堂



屋根修理箇所



ステンドグラスパテ劣化状況

5 現況等

(2) 国指定重要文化財 聖福寺4棟(建造物の劣化・破損)



大雄宝殿（正面全景）



天王殿（背面全景）



鐘楼（北側面全景）



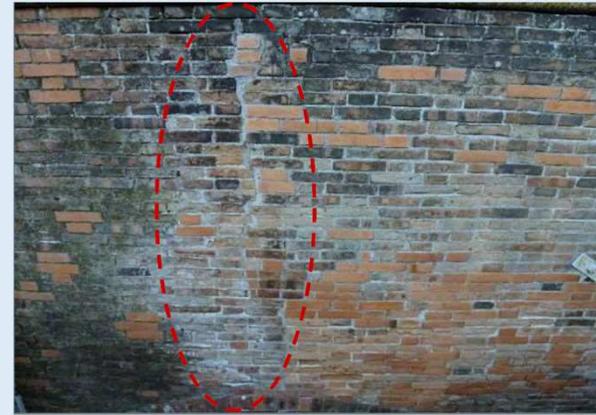
山門（正面全景）

5 現況等

(3) 国指定史跡 小菅修船場跡



史跡内曳き揚げ機小屋（正面）素屋根



煉瓦壁面のクラック

(4) 県指定有形文化財 皓台寺仁王門(蟻害による建造物の傾斜)



正面全景



側面全景

## 5 現況等

### (5) 県指定天然記念物 大徳寺の大クス

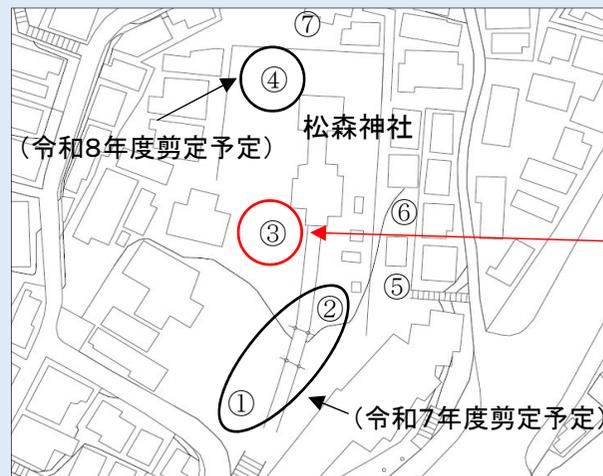


全景写真



石垣孕み状況

### (6) 市指定天然記念物 松森神社のクスノキ群



対象樹木

令和6年度剪定予定



現況写真

5 現況等

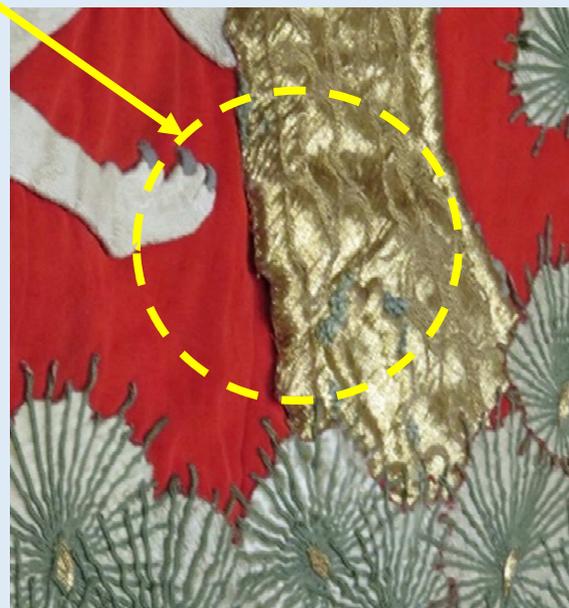
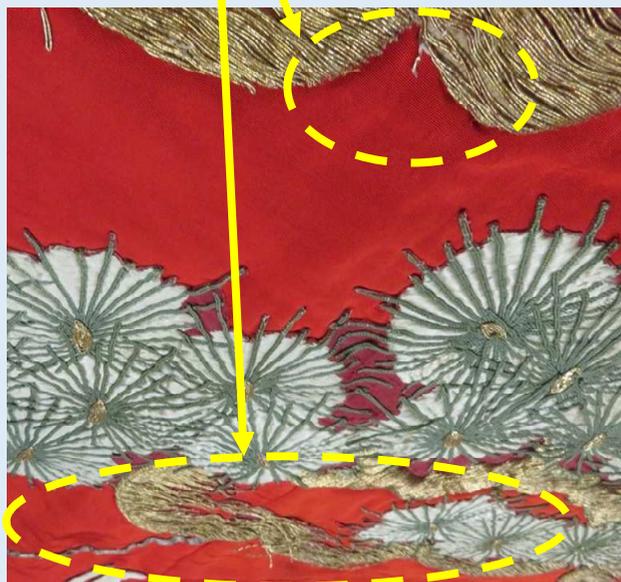
(7)市指定有形文化財 諏訪町傘鉾垂及び下絵

諏訪町傘鉾垂



(拡大図)

刺繍綻び状況



予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
292～293	10 教育費	6 社会教育費	4 出島復元費	1-2	建造物復元基本設計費	10,773 千円

## 1 概要

国指定史跡 出島和蘭商館跡(以下「出島」という。)は、昭和26年から史跡の公有化及び復元整備事業を進めており、復元整備事業については、平成8年に策定した『史跡「出島和蘭商館跡」復元整備計画書』に基づいて、19世紀初頭の出島の街並みを復元することを目的として復元整備事業を進めている。

第Ⅲ期復元整備事業までに完了した16棟の復元建造物の整備に引き続き第Ⅳ期復元整備事業を実施し、出島町人部屋1棟を復元して出島町人らの役割を紹介する展示パネル、情景再現を行うことで、出島に新たな歴史及び文化に親しむ場を生み、出島の魅力を高め、出島に関する情報を効果的に発信し、来場者の満足度向上、交流人口の増加につなげる。

※これまでに実施した復元整備事業

時期	内容	詳細
平成12年3月 (2000年)	第Ⅰ期復元整備事業完成 (5棟復元)	一番船船頭部屋、一番蔵、二番蔵、へトル部屋、料理部屋
平成18年3月 (2006年)	第Ⅱ期復元整備事業完成 (5棟復元)	三番蔵、拝礼筆者蘭人部屋、カピタン部屋、乙名部屋、水門
平成28年10月 (2016年)	第Ⅲ期復元整備事業完成 (6棟復元)	十六番蔵、筆者蘭人部屋、十四番蔵、乙名詰所、組頭部屋、銅蔵

## 2 事業内容

整備計画に基づき、復元建造物の復元及び外構整備(庭園、表示、高圧受電源装置(キュービクル))を行う。当初、十五番蔵、番所、出島町人部屋の3棟を復元整備することと計画していたが、これまでの発掘調査の結果、遺構等が検出されなかったこと及び長崎市出島史跡整備審議会における審議を経て、出島町人部屋1棟の復元を行い、十五番蔵、番所については、位置を示す表示のみとした外構整備を行う。

第Ⅳ期復元整備事業は、令和5年度から着手し、令和9年度までの5ヵ年計画となる。令和6年度は、令和5年度債務負担を設定した事業期間2か年の基本設計を行う。

### (1) 整備内容

#### ア 出島町人部屋1棟復元

(規模) 間口5間×奥行3間

(規格) 木造2階建て

#### イ 外構整備

・庭園

・遺構の表面表示

・高圧受電源装置(キュービクル)の入替

### (2) 事業費 10,773千円

ア 建造物復元基本設計費 10,773千円

### (3) スケジュール

事業内容	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
ア 出島町人部屋跡の再発掘調査	→				
イ 建造物復元基本設計	→	→			
ウ 建造物復元実施設計			→		
エ 建造物復元工事、展示業務等				→	→

第IV期復元整備対象建築物



建築物復元

- ①出島町人部屋 ……(往時の用途)出島町人の詰め所  
(規模)間口5間×奥行3間

外構整備

- ②番所……………(往時の用途)番人の詰め所  
(規模)9尺四方
- ③十五番蔵……………(往時の用途)輸入品の砂糖などを保管  
(規模)間口3間×奥行10間



第Ⅲ・Ⅳ期復元建築物完成予想図  
※復元は①のみ

### 3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※1	県支出金※2	地方債	その他	一般財源
千円 10,773	千円 5,386	千円 538	千円 -	千円 -	千円 4,849

※1 歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業費国庫補助(上限:50%、内示率50%)

※2 指定文化財保存整備事業費補助金(補助率:対象経費から国庫補助額を減じた額の2/5以内)

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
310～311	11 災害復旧費	4 市有施設等 災害復旧費	1 市有施設等 災害復旧費	1-2	【単独】市有施設災害復旧費 過年度災害分	千円 30,400

## 1 事業概要

稲佐山山頂電波塔ライトアップ設備は、平成28年度設置後、長崎の夜景のランドマークとしての役割を担っている設備であるが、令和4年度及び令和5年度に発生した落雷により照明器具等が故障していることが判明していた。  
しかし、例年雷被害が発生していることから雷対策専門メーカーによる雷被害対策調査及び雷対策を施工をしたのち、当該設備の復旧を行うこととしており、令和6年度に別途雷対策を行う予定であることから、当該復旧を行うもの。

## 2 事業内容及び事業費

- (1) 稲佐山山頂電波塔ライトアップ設備修繕 (30,400千円)
- (2) 施工期間 契約日から約6か月
- (3) 現状  
照明器具

(単位：台)

摘要		NHK塔	FM塔	民放塔 〔民放4社共同〕	合計
修繕対象	故障(全損)	3	4	5	12
	故障(一部)	14	8	8	30
	故障なし	3	8	7	18
合計		20	20	20	60

音響・制御

(単位：式)

修繕対象	音響機器	1
------	------	---

### 3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他※2	一般財源
千円 30,400	千円 —	千円 —	千円 3,000	千円 27,360	千円 40

※1：災害復旧事業債 充当率100%（交付税措置率：47.5%）

※2：全国市有物件災害共済

### 4 主な経過

時期	摘要
令和4年7月～9月, 3月	落雷発生
令和5年9月10日	落雷発生
令和5年9月14日	落雷発生
令和5年9月19日	稲佐山山頂電波塔ライトアップ設備雷被害保守点検業務委託実施
令和5年12月18日～21日	稲佐山山頂電波塔ライトアップ設備雷保護対策コンサルティング業務委託実施

### 5 スケジュール

時期	摘要
5月中旬～6月上旬	公告準備⇒公告
6月中旬～7月中旬	開札⇒契約⇒事前準備
7月中旬～8月中旬	電波塔所有者との調整及び現況調査等
9月～	故障照明機器撤去運搬⇒修理⇒再設置施工等
～12月	竣工

## 6 落雷対策

稲佐山山頂電波塔ライトアップ設備は、稲佐山山頂電波塔という設置環境から、設置以降落雷被害が発生しており、その対策として令和2年度に避雷器（SPD）を設置した。

右表のとおり、避雷器の設置後は全損被害が大幅に減少するなど雷対策として一定の効果がみられたが、引続き雷被害は発生しているため、さらなる雷対策を講じる必要があり、令和5年12月に当該ライトアップ設備雷保護対策コンサルティング業務委託を実施したところ、建物接地間の電位差等により雷被害を受けている可能性があることが判明したため、その対策を別途実施する。

（単位：台）

年度	全損	部分	計
R1	22	11	33
R2	13	6	19
R3	0	12	12
R4	7	16	23
R5	12	30	42

## 7 参考画像

基本照明点灯時	故障機器	故障機器
		
<p>日没から午後10時まで（毎日点灯） ※毎時00分と30分にテーマに応じた演出によるライトアップを行う。</p>	<p>一部不点灯となっているもの。</p>	<p>点灯するものの色彩の制御ができないもの。</p>